CASIO

取扱説明書

カシオ電子レジスター **TK-2800**



このたびは、カシオ電子レジスターをご採用いただきまして、まことにありがとうございます。ご使用の前に、本書をひととおりお読みください。特に「安全上のご注意」をご熟読の上、正しくお使いください。本書は、取り出しやすいところに大切に保管してください。最新サポート情報(Q&A など)は下記ホームページをご覧ください。

http://casio.jp/support/ecr/



無機抗菌剤・練込 置数キー・キーキャップ

SIAAマークはISO22196法により評価された結果に基づき、抗菌製品技術協議会ガイドラインで品質管理・情報公開された製品に表示されています。

初めてレジスターをお使いになるときは、

設置手順

(17ページ)と

用語集

(140ページ) をご覧ください。

特長

● インターネットで情報センタに接続し 売上分析を受けることができます。(別 途契約が必要です)



● インターネットで情報センタに接続し、クレジットカード / iD のリアルタイム決済ができます。(KT-10 および契約が必要です)



(KT-10: マルチ決済端末)

● 税率は変更することができます。予約機能を使うと、指定した日から自動で税率が更新されます。

8% **※** % % 消費税率を自動更新

「消費税率について」(19ページ) 「税率改定の予約機能を設定する」(72ページ)を参照してください。 ● 別売の電子店名スタンプを使うと、レシート上の店名ロゴスタンプや領収書上の社名ロゴ、住所を毎回設定せずに印字できます。



(RAC-13:オレンジ色のスティック)

● 消費税の計算は、「内税方式」「外税方式」「非課税方式」「複数税率」に対応しています。 内税、外税、非課税が混在した運用も可能です。また、消費税額の円未満の端数処理(四 捨五入、切上げ、切捨て)を設定することができます。さらに請求額の端数を切り捨てて請求(5円丸め、10円丸め)するといった、さまざまな設定が可能です。



「おサイフケータイ」「iD」および「iD」ロゴは株式会社 NTT ドコモの登録商標または商標です。

もくじ

ご使用前に		スキャニング PLU の自動学習機能	40
安全上のご注意	6	スキャニング PLU 商品を売り上げる	4.7
スエニッこ 左巡		(新規登録:未学習)	41
知りたいことは?		スキャーフグ PLO 岡田を元り上げる (既存:学習済み)	41
各部のなまえと働き		コード印字(不加算印字)の使い方	
		- 不加算印字キーを使う	
各部のなまえ モードスイッチの切り替え		万円キー/レシート発行キーの使い方	
キーボード			
本体表示窓/客用表示窓の見方 本体表示窓/客用表示窓の見方		日時の表示/担当者の指定と解除	
客用表示窓の向きを変える		日付と時刻を表示する 担当者を指定/解除する	
タッチキーシートを取り替える			
お使いになる前の準備	17	入金キー/出金キーの使い方	
設置の手順① (情報センタ接続作業前)	17	入金キーを使う	
設置の手順② (情報センタへの接続作業の内容)		出金キーを使う	
設置の手順② (情報センタへの接続作業の内容)	18	値引きをする	
消費税率について	19	合計金額から — で値引きをする	
課税方式について		割引きをする	
一日の仕事の流れ		商品ごとに割引きをする	
レシート/ジャーナル/領収書の見方	21	合計金額から割引きをする	
		さかのぼり訂正の使い方	
使い方		登録中に何行か前のまちがいを訂正する	
基本的な操作	22	10 円丸め・5 円丸めの使い方	. 49
レジスターを開設する		10 円丸めする(合計の 10 円未満の端数を丸める)	
商品 1 つを売上登録する		商品券/クレジットの売上	. 50
商品3つを売上登録する		商品券で売り上げる	
同じ商品を複数売り上げる(リピート)		クレジットカードまたは iD で売り上げる	
同じ商品を複数売り上げる(乗算登録)		混在する支払い方法の売上	
両替などでドロアーを開ける		一部を商品券・残り現金で売り上げる	51
領収書を発行する		奉仕料を徴収する	. 52
領収書を発行する		奉仕料を含めた計算をする	52
金額指定の領収書を発行する		在高申告をする	. 53
操作をまちがえたとき		在高を申告する	53
部門・取引キーを押す前に訂正する		飲食店向け機能の使い方	. 54
部門キーを押した直後に訂正する		新しく伝票を登録する	54
登録途中の商品すべてを取り消す		伝票に追加登録する	
返品処理とレシート発行後の訂正		別々会計(伝票分割)をする	
取引約の後の返品		売上の点検と精算	
取引中の返品		レポート名称と内容	
閉店後の操作〜精算		レポートとキー操作	
一日の売上を打ら出り	33	売上/在高の点検	
Enter		スキャニング PLU 個別の点検 部門個別の点検	
便利な使い方		可 ∫ 回 が ○ 点 快	
部門キー/フラット PLU キーの便利な使い方	36	グループ別 PLU の点検	
単価設定した部門キーで商品を売り上げる		日計明細の点検・精算	
単価×数量の順番で商品を売り上げる(部門キーのみ)		担当者の点検・精算	
PLU の便利な使い方		 月間日別集計の点検・精算	
PLU について		電卓機能の使い方	. 62
PLU を使って登録する		税抜き金額・税額を計算する	
品番 PLU 機能とは?		[∞] - [∞] + を使って計算する	
品番 PLU を使って登録する		呼び出し機能を使って計算する	
スキャニング PLU の使い方		消費税改定による新単価を計算する	64
スキャニング PLU について	40		

もくじ

野刺および日付の設定 102 103 104 105	設定の仕方		領収書の内容を設定する	
時間を設定する	時刻および日付の設定	65		
日付を設定する				
商品単価の設定				
商品単価をPIU(スキャニングPLU)に設定する 66				. 104
高品単価をPLU(スキャニングPLU)に設定する。67 割引き車、ドルレート等をそれぞれのギーに設定する。67 5日丸めまたは10円丸めを設定する。68 レシートの背景を印字する。68 レシートの背景を印字する。68 財死方式(内苑/外税/権数税率/非課税)の設定。69 財死方式(内苑/外税/権数税率/非課税)の設定。69 財死方式の内苑と建設性がある。70 消費税率の設定 71 現在の単名を確認する。71 現在の単名を確認する。71 現在の単名を確認する。71 現在の単名を確認する。71 税率改定の予約機能を設定する。72 投験政策への対応。73 税率改定の予約機能を設定する。73 財産がよの分が機能を設定する。74 投験対策への対応。73 税等の対応、74 税等の対応。75 配品名やメリセーンの設定。77 の商品名やメリセーンの設定。77 の商品名やメリセーンの設定。77 の商品名やメリセーンの設定。77 の商品名やメリセーンの設定。77 の商品名やメリセーンの設定。77 の商品名やメリセーンの設定。77 の商品名やメリセーンの設定。77 の商品名やストから選択して影響のは、110 の商品名をリストから選択して設定する。77 アレノの商品をもリストから選択して設定する。77 アレノの商品をもリストから選択して設定する。77 アレノの商品ををリストから選択して設定する。77 アレノの商品ををリストから選択して設定する。77 アレノの商品をもリストから選択して設定する。77 アレンの商品ををリストから選択して設定する。77 アレンの商品ををリストから選択して設定する。77 アレンの市の方法・110 の方法・110 の方法・1				
日番組 レート、丸めの設定 105 割引き率、ドルレート等をそれぞれのキーに設定する。67 別の表表は 10円丸めを設定する。67 個し書き、年号、メッセージ印字などを設定する。68 似の書の背景を印字する。68 領収書の背景を印字する。68 領収書の背景を印字する。68 領収書の背景を印字する。69 課税方式(内核)外税/を数税率/非課税)の設定。69 課税方式の設定 70 別責税率の設定 70 別責税率の設定 71 消費税率の設定 71 消費税率の設定 71 消費税率の設定 71 消費税率の設定 71 消費税率の設定 71 減率の非産を確認する。71 前身を確認する。71 前身を確認する。71 前身を確認する。71 前身をを確認する。71 対策の次の手が機能を設定する 72 投表数率への対応 72 投表数率への対応 72 投表数率への対応 73 半値の予約機能を設定する 73 半値の予約機能を設定する 74 投票の対の対した 75 対域の日末法の対域を設定する 116 上上・上が成してが表がまる。117 対域の日末法の対域を設定する 75 投票の対した 77 に高品名リストから選択して設定する 76 成別の日末法の対域を設定する 77 に対していたいたの対域を設定する 77 に対していたいたの対域を設定する 77 に対していたいたのは、11 対域の日末法の対域を対していたいたのは、11 対域の日末法の政定値認 119 対域の日末法の政定値認 119 対域の日末法の政定値認 119 対域の日末法の政定値認 120 レンートに印字する 86 レジ担よるの名を部門キーに設定する 81 は 文子入力の方法 81 は 文子人力の方法 81 は 文子との対して要字を持てる 86 レジ担よるの表でする 86 レジートとの配めのカーマングを設定する 86 レジートとの配めのカーマングを設定する 122 は カード・レの正の表の変する 86 レジートに任所やは高音号を設定する 96 は 27 りが表の改定値認 122 は 27 以下でいたいたしたを設定する 96 は 27 りが表の改定値認 122 は 27 以下では 27 以下のが関かな と思ったら 125 性別様の対して 27 が 18 の表と能 27 以下のが関かな とな 27 が成率 の設定値認 124 と 12 を 12				. 104
回り下、下ルレート等をそれぞれのキーに設定する。67				105
割り19-4、下ルレートできを代えていますに数なり。 105 5円丸のまたは10円丸のを設定する。 68 銀化方式(内税・外税・複数税率/非課税)の設定。 68 銀化方式(内税・外税・複数税率/非課税)の設定。 68 銀化方式(内税・外税・複数税率/非課税)の設定。 69 現代方式(内税・外税・複数税率/非課税)の設定。 109 費税率の設定	各種レート、丸めの設定	. 67		. 105
5 円入のまたは 10 円入のを設定する 68 しシートの背景を印字する 68 に	割引き率、ドルレート等をそれぞれのキーに設定する。	67		105
世し書き、年等、メッセージレ学などを設定する。 688	5円丸めまたは 10 円丸めを設定する	67		. 105
しシートの音景を印字する 68 機収素の音像を印字する 68 膜収素の音像を印字する 68 別で不の商品を非課税扱いとする 69 別といての商品を非課税扱いとする 69 別といてイナス単位とハッシュ品目を設定する 108 課税方式の一括設定 71 別意校本の設定 71 別意校本の設定 71 別意校本の設定 71 別意校本を譲むする 71 別意校本を譲むする 71 別意校本を譲むする 71 別意校本の設定 71 別意校本を譲むする 71 別意校本の設定 71 別意校本を譲むする 71 別意校本の設定 71 別意校本を譲むする 71 別意校本の設定 71 別意校本を襲する 71 別意校本の設定 71 別意校本を襲する 71 別意校本を要する 71 税率改定の予約機能を設定する 72 投表検定の予約機能を設定する 72 投表検定の予約機能を設定する 72 投表検の力がら 73 非価の予り機能を設定する 73 非価の予り機能を設定する 74 投表検率の対応 73 非価の予り機能を設定する 74 投表検率の対応 75 別語のおりを設定する 75 別記のの中未満の端数処理方法を設定する 74 レジートのの日本を設定する 77 「ルフレーの局品名を選択して 77 「高品名もソスト」から画品名を選択して 77 「「商品名りスト」から画品名を選択して 77 「「の品名りスト」から画品名を選択して 77 「「の品名りスト」から画品名を選択して 77 「「の品名りスト」から選択して設定する 77 「レンートと印字する 80 「文字オン入力して漢字変換する 81 文字入力の方法 81 大学人力の方法 81 大学・インカの方法 81 大学・インカの方法 81 大学・インカの方法 81 大学・インカの方法 82 レジートとが見てきるその他の項目 92 カートと呼や電話を発定する 86 ケルーフレボート上の商品グレーブの名前を設定する 86 レジーと同様の記定する 86 レジートとが同るの記定確認 122 対当を中文学を設定する 86 レジートとがしてきる記でする 94 レジ番号を設定する 94 レジ番号を設定する 94 レジ番号を設定する 94 レジ番号を設定する 94 レジ番号を設定する 94 ロ手頂目を設定する 125 大が数率を必可の予算設定確認 124 大が数率を必可の予算設定確認 124 大が数率を必可の予算設定確認 124 大が数率を必可の予算設定確認 124 大が数率を必可の予算設定確認 125 エークを設定する 125 大が数率を必可のなりを設定する 125 大が数率を必可の予算数を対する 125 大が数率を必可の予算数定確認 126 大が数率を必可の予算数定確認 122 エークを設定する 125 大能を対する 110 対象をする 110 対象を対する 110 対象を対する 110 対象を対する 110 対象を対する 110 対象をする 110 対象を対象を対象を対象を対象を対象をする 110 対象をする 11	但し書き、年号、メッセージ印字などを設定する	68		106
議院方式の院外・株人・複数税率/非課税)の設定。68 以表方式の協品を非談税扱いとする 69 PLU に出番PLU を設定する 108 現代方式の設定 70	レシートの背景を印字する	68		
課税方式 (内税/外税/複数報率/非課税) の設定 69 すべての商品を非課稅扱いとする 69 消費稅率の設定 70 消費稅率の設定 71 課稅方式の一括設定 71 調費稅率の設定 71 現在の稅率を確認する 71 税率改定の予約機能を設定する 71 税率改定の予約機能を設定する 72 投数数率へ対が 73 課稅方式の予約機能を設定する 73 課稅方式の予約機能を設定する 74 投予約項目の設定 75 総額の円未満の端数処理方法を設定する 74 投予約項目の設定 75 総額の円未満の端数処理方法を設定する 76 耐品名やメッセージの設定 77 同商品名をソストから選択して設定する 76 耐品名をリストから選択して設定する 77 ドリムの商品名を選択して 87 部門キーに設定する 81 文字入力の方法 81 文字入力の方法 81 文字入力の方法 81 文字が入力の方法 81 文字・入力の方法 81 文字・入力の方法 81 文字・大力の方法 82 政引・中の印字文字を設定する 84 成力・治中で文字を訂正する 84 成力・治中で文字を訂正する 84 成力・治中で文字を訂正する 84 以シートに住所や電話音号を設定する 85 以シートに住所や電話音号を設定する 95 直を計解の項目名やレポートタイトルを設定する 95 直を計解の項目名やレポートタイトルを設定する 94 人が名を登定する 94 レジ番号を設定する 94 レジ番号を設定する 94 レジ番号を設定する 94 レジ番号を設定する 95 は機様やレボートの内容を設定する 95 に機様算レボートの内容を設定する 96 点検/精算レボートの内容を設定する 96 点検/精算レボートの内容を設定する 96 点検/精算レボートの内容を設定する 96 点検/精算レボートの内容を設定する 96 に機様ないなと思ったとき 125 環外体でと密いてときには 126 とかなと思ったときには 126 とんなときには 126	領収書の背景を印字する	68		
すべての商品を非課税扱いとする 69 PLU に召番 PLU を設定する 108 課税方式の設定 70 円間	課税方式(内税/外税/複数税率/非課税)の設定	. 69		
課税方式の設定				
消費税率の設定 71				
課税方式の一括設定 71				
#消費税率の設定 71				
現在の税率を確認する 71				
# 学 (に				
(税率改定の予約機能を設定する 72 税率改定の予約機能を無効にする 73 単価の予約機能を設定する 74 投務税率への対応 73 単価の予約機能を設定する 74 税務の円未満の端数処理方法を設定する 76 商品名やメッセージの設定 77 「商品名リスト」から商品名を選択して 77 ドレーニングを始める/トレーニングを終わる 118 トレーニングを始める/トレーニングを終わる 119 設定内容の確認 119 設定内容の確認 119 部門キーに設定する 17 ドレットに印字する 80 ユンシートに印字する 81 南品名や分類名を部門キーに設定する 81 本力力の方法 81 商品名や分類名を部門キーに設定する 84 商品名や分類名を部門キーに設定する 85 取引キーの印字文字を設定する 86 グループレポートとの商品グループの名前を設定する 86 グループレポートとの商品グルーフの名前を設定する 86 グループレポートとの商品グルーフの名前を設定する 86 グループレポートとの商品グルーフの名前を設定する 86 グループレポートとの商品グルーフの名前を設定する 86 グループレポートとの商品グルーフの名前を設定する 86 グループレポートとの商品グルーフの名前を設定する 86 グループルに提定はた商品名の確認 120 グループとの設定確認 121 グループとの設定確認 122 ガループのの設定確認 122 担当者の設定確認 122 担当者の設定確認 122 担当者の設定確認 122 担当者の設定確認 122 担当者の設定確認 122 担当者の設定確認 122 担当者の設定確認 123 地当中の設定確認 123 担当者の設定確認 122 担当者の設定確認 123 担当者の設定確認 122 担当者の設定確認 123 担当者の設定確認 123 担当者の設定確認 123 担当者の設定確認 122 担当者の設定確認 122 担当者の設定確認 123 担当者の設定確認 122 担当者の設定確認 123 担当者の設定確認 124 一ル番号を設定する 96 知行が率の設定確認 124 予約税率の設定確認 124 予約税率の設定確認 124 予約税率の設定確認 124 予約税率の設定確認 124 予約税率の設定確認 124 アキの種類と位置の確認 123 そ体設定確認 124 アキの経定を認 124 アキの経定を認 124 アキの設定確認 124 アキの経理と必じ置の確認 124 アキの経理と必じ置の確認 124 アキの経理と必じ置の確認 124 アキの経定を認 124 アキの経定を認 124 アキの経定を認 124 アキの経理と必じ置い 125 大体ときは な障かなと思ったとき 125 は障かなと思ったとき 125 は障かなと思ったとき 125 に一音)が鳴ったとき 125 は障かなと思ったとき 125 に一音)が鳴ったとき 125 に一音 い鳴ったとき 125 に一音 い鳴ったとき 125 に一音 い鳴ったとき 125 に一音 い鳴ったとき 125 に一音 17 を 17 を 17 を 18 を 18 を 17 を 17 を 18 を 18 を 18 を 19 を 18 を 19 を 18 を 18 を 19 を 18 を 19 を 19				
世当者番号を設定する 114 クタリカ 115 クタリカ 116 クタリカ 116 クタリカ 116 クタリカ 116 クタリカ 117 クラリカ 117 クラリカ 118 クラリカ 118 クラリカ 118 クラリカ 118 クラリカ 118 クラリカ 119 の 1				
複数税字への対応			The state of the s	
#価の予約機能を設定する 73 キー配列を変更する 116 単価の予約機能を設定する 74 レジ操作の練習 118				
##の一手約機能を設定する 74 税予約項目の設定 75 税籍の円未満の端数処理方法を設定する 76 概題の円未満の端数処理方法を設定する 76 で 75 税籍の円未満の端数処理方法を設定する 76 で 76 で 77 で 77 で 77 で 78 の 88 の 119 の 88 の 120 の 1 文字すつ入力して漢字変換する 81 の 120 の 1 文字すつ入力して漢字変換する 81 の 122 の 1 文字すつ入力して漢字変換する 81 の 122 の 1 文字すつ入力して漢字変換する 81 の 1 次字すつ入力して漢字変換する 81 の 1 次字すつ入力して漢字変換する 81 の 1 次字すの力が法 81 の 1 の 88 の 1 の 88 の 1 の 98 の 1 0 の				
税予約項目の設定 75 トレーニングを始める/トレーニングを終わる 118 税額の円未満の端数処理方法を設定する 76 レジ設定内容の確認 119 「商品名リスト」から商品名を選択して 19 PLU の商品名を選択して 19 PLU の商品名をリストから選択して設定する 77 ドメッセージリントトに印字する 80 1 文字ずつ入力して漢字変換する 81 でシートに印字する 81 内治を中で文字を訂正する 84 商品名や分類名を部門キーに設定する 85 レジ担当者の名前を設定する 86 レジ担当者の名前を設定する 86 レジ担当者の名前を設定する 86 レジ担当者の名前を設定する 86 レジートメッセージを設定する 86 レジートメッセージを設定する 86 レジートメッセージを設定する 86 レジートメッセージを設定する 87 レシートメッセージを設定する 86 レジートメッセージを設定する 87 レシートメッセージを設定する 87 レシートメッセージを設定する 87 レシートに住所や電話番号を設定する 90 文字設定できるその他の項目 92 関定合計器の項目名やレポートタイトルを設定する 92 取引シンボル (固定全すの項目 92 対策・対策・と部門の予約設定確認 123 大力・企業を設定する 94 レジ番号を設定する 94 レジ番号を設定する 94 ロ字項目を設定する 94 ロ字項目を設定する 95 強制機能や演算方式を設定する 95 対策・と部門の予約設定確認 124 大事得を設定する 94 ロ字項目を設定する 95 対策・と部門の予約設定確認 124 大事得を設定する 94 ロ字項目を設定する 95 対策・と部門の予約設定確認 124 大事税率と部門の予約設定確認 124 大事税率と部門の予約設定確認 124 大事税率と部門の予約設定確認 124 大事税率と部門の予約設定確認 124 大事税率と部門の予約設定確認 124 大事税率と部門の予約設定確認 125 大能なと思ったら 125 「中一が開かなくなったとき 125 大事税等と正の予約 が鳴ったとき 125 レシートの印字内容を設定する 96 に一音)が鳴ったとき 125 大中でが開かなくなったとき 125 大中での字内容を設定する 96 に一音 が鳴ったとき 125 大中での字内容を設定する 99 たりでしています。 125 大力をときには 126 ためときには 126				
税額の円未満の端数処理方法を設定する				
商品名やメッセージの設定 77 設定内容を確認する 119 「商品名リスト」から商品名を選択して 6月3き金額、割引き率等の設定確認 119 部門キーに設定する 77			トレーニングを始める/トレーニングを終わる	.118
「商品名リスト」から商品名を選択して 値引き金額、割引き率等の設定確認 119 部門キーに設定する 77 PLU の商品名をリストから選択して設定する 77 PLU の商品名をリストから選択して			レジ設定内容の確認	.119
部門キーに設定する	商品名やメッセージの設定	. 77	設定内容を確認する	.119
PLUの商品名をリストから選択して設定する 77 「メッセージリスト」からメッセージを選択して レシートに印字する 80 1文字ずつ入力して漢字変換する 81 文字入力の方法 81 商品名や分類名を部門キーに設定する 83 水力途中で文字を訂正する 84 商品名や分類名を PLU に設定する 85 取引キーの印字文字を設定する 86 レジ担当者の名前を設定する 86 グループレポート上の商品グループの名前を設定する 87 レシートに住所や電話番号を設定する 88 レシートに住所や電話番号を設定する 90 文字設定できるその他の項目 92 園定合計器の項目名やレポートタイトルを設定する 92 取引シンボル (固定キャラクタ)を設定する 94 レジ番号を設定する 94 中連番号を設定する 95 強制機能や演算方式を設定する 96 大戸価・ 125 大の他の設定 125 大の他の設定 125 大の他の設定 126 アンイン・ 126	「商品名リスト」から商品名を選択して		値引き金額、割引き率等の設定確認	.119
「メッセージリスト」からメッセージを選択して レシートに印字する	部門キーに設定する	77	部門の単価と課税方法の設定確認	.119
レシートに印字する 80 1 20 1 文字ずつ入力して漢字変換する 81 文字入力の方法 81 商品名や分類名を部門キーに設定する 83 入力途中で文字を訂正する 84 商品名や分類名をPLUに設定する 85 取引キーの印字文字を設定する 86 レジ担当者の名前を設定する 86 レシートメッセージを設定する 86 グループレポート上の商品グループの名前を設定する 87 レシートメッセージを設定する 88 レシートに住所や電話番号を設定する 90 文字設定できるその他の項目 92 固定合計器の項目名やレポートタイトルを設定する 92 取引シンボル (固定キャラクタ)を設定する 93 その他の設定 94 レジ番号を設定する 94 小連番号を設定する 94 中連番号を設定する 94 中連番号を設定する 94 中連番号を設定する 94 中連番号を設定する 94 中連番号を設定する 94 中連番号を設定する 95 高検/精算レポートの内容を設定する 96 高検/精算レポートの内容を設定する 97 高検/精算レポートの内容を設定する 97 高検/精算レポートの内容を設定する 99 レシートの印字内容を設定する 99 こんなときは 125 操作ガイドで	PLU の商品名をリストから選択して設定する	77	PLU の単価と課税方法の設定確認	.120
1 文字ずつ入力して漢字変換する			PLU に設定した商品名の確認	.120
文字入力の方法			担当者名の設定確認	.120
文字入力の方法 商品名や分類名を部門キーに設定する 入力途中で文字を訂正する 商品名や分類名を PLU に設定する 取引キーの印字文字を設定する レジ担当者の名前を設定する レシートメッセージを設定する レシートメッセージを設定する レシートメッセージを設定する レシートメッセージを設定する レシートは住所や電話番号を設定する 文字設定できるその他の項目 団定合計器の項目名やレポートタイトルを設定する 取引シンボル(固定キャラクタ)を設定する 取引シンボル(固定キャラクタ)を設定する 中連番号を設定する 知学項目を設定する 強制機能や演算方式を設定する 強制機能や演算方式を設定する 会検/精算レポートの内容を設定する 1/2 会検/精算レポートの内容を設定する 2/2 会検/精算レポートの内容を設定する 会人人力によい 第日を設定する 会人人体ときは121 グループ名の設定確認 担当者の設定確認 現行が率の設定確認 男人の他の設定 中上しの予約設定確認 男との他の設定 とから表別では認 アシートの内容を設定する 会人人体ときは とかったとき 会人なときには とかったの印字内容を設定する 会人なときには とかったの中字内容を設定する 会人なときには 会人なときに 会人なときに 会人なときに 会人なときに 会人なときに 会人なときに 会人なときに 会人なときに 会人なときに 会人なときに 会人なときに 会人なときに 会人なときに 会人なときに 会人など表しな 会人なときに 会人なときに 会人など表しな 会人など表しな 会人なときに 会人など表しな 会人など表しな 会人など表しな 会人など表しな 会人など表しな 会人など表しな 会人など表しな 会人など表しな 会人など表しな 会人など表しな 会人など表しな 会人ないの表しな 会人など表しな 会人など表しな 会人など表しな 会人など表しな 会人など表しな 会人など表しな 会人など表しな 会人など表しな 会人などの表しな 会人などの表しな 会人などのよりでは 会人などの表しな 会人などのよりでは 会人などのよりでは 会人などのよりでは 会人などのよりでは 会人などのよりでは 会人などのよりでは 会人などのよりでは 会人などのよりでは 会人などのよりでは 会人などのよりでは 会人などのよりでは 会人などのよりでは 会人などのよりでは 会人などのよりでは 会人などのよりでは 会人などのよりでは 会社などのよりでは 会社などのよりでは 会社などのよりでは 会社などのよりでは 会社などのよりでは 会社などのよりでは 会社などのよりでは 会社などのよりでは 会社などのよりでは 会社など	1 文字ずつ入力して漢字変換する	81	部門名の設定確認	.121
入力途中で文字を訂正する84N つ石の設定確認121商品名や分類名を PLU に設定する85PLU プログラムの設定確認122取引キーの印字文字を設定する86PLU プログラムの設定確認122レジ担当者の名前を設定する87123グループレポート上の商品グループの名前を設定する874 一の種製と位置の確認123レシートに住所や電話番号を設定する90銀行税率の設定確認123文字設定できるその他の項目92予約税率の設定確認124財引シンボル(固定キャラクタ)を設定する93124その他の設定94PLU の予約設定確認124レジ番号を設定する94中運番号を設定する94中事目を設定する94中享項目を設定する94中達番号を設定する95強制機能や演算方式を設定する96上後/精算レポートの内容を設定する 1/297点検/精算レポートの内容を設定する 2/298レシートの印字内容を設定する99こんなときには125実施/精算レポートの内容を設定する99こんなときには125実施/精算レポートの内容を設定する99			レシートメッセージの設定確認	.121
入力途中で文字を訂正する84取引キープログラムの設定確認121商品名や分類名を PLU に設定する86レジ担当者の名前を設定する122取引キーの印字文字を設定する86ポ門プログラムの設定確認122レジ担当者の名前を設定する87担当者の設定確認123レシートメッセージを設定する88セルシートに住所や電話番号を設定する90文字設定できるその他の項目92現行税率の設定確認124固定合計器の項目名やレポートタイトルを設定する92現行税率の設定確認124をの他の設定94ア約税率と部門の予約設定確認124レジ番号を設定する94アリンボル(固定キャラクタ)を設定する94中連番号を設定する94アリンの予約設定確認124大力等の設定する94アルーンの予約設定確認124大力等の設定する94アルーンの予約設定確認125工事号を設定する95対障かなと思ったら125塩制機能や演算方式を設定する96エラー音(ピー音)が鳴ったとき125点検/精算レポートの内容を設定する97ドロアーが開かなくなったとき125点検/精算レポートの内容を設定する98操作ガイドで調べる125レシートの印字内容を設定する99こんなときには126			グループ名の設定確認	.121
取引キーの印字文字を設定する 86 レジ担当者の名前を設定する 86 グループレポート上の商品グループの名前を設定する 87 レシートメッセージを設定する 88 レシートに住所や電話番号を設定する 90 文字設定できるその他の項目 92 固定合計器の項目名やレポートタイトルを設定する 92 取引シンボル(固定キャラクタ)を設定する 93 その他の設定 94 レジ番号を設定する 94 中運番号を設定する 94 中享項目を設定する 94 印字項目を設定する 94 印字項目を設定する 94 自機能や冷漠算方式を設定する 95 点検/精算レポートの内容を設定する 1/2 97 点検/精算レポートの内容を設定する 2/2 98 レシートの印字内容を設定する 99 こんなときは 125 以一・トの印字内容を設定する 125 ストンシートの印字内容を設定する 99				
取引キーの印字文字を設定する			PLU プログラムの設定確認	.122
グループレポート上の商品グループの名前を設定する…87 123 レシートメッセージを設定する…90 88 レシートに住所や電話番号を設定する…92 90 文字設定できるその他の項目…92 92 固定合計器の項目名やレポートタイトルを設定する…92 93 マの他の設定…94 94 レジ番号を設定する…94 94 中連番号を設定する…95 94 中連番号を設定する…95 94 市空項目を設定する…95 94 自定合計器の項目名やレポートタイトルを設定する…94 94 レジ番号を設定する…95 94 一連番号を設定する…95 94 市連番号を設定する…95 95 強制機能や演算方式を設定する…96 95 点検/精算レポートの内容を設定する 1/2…97 97 点検/精算レポートの内容を設定する 2/2…98 98 レシートの印字内容を設定する 2/2…98 2んなときには…125 レシートの印字内容を設定する 2/2…99 2んなときには…126			部門プログラムの設定確認	.122
グループレポート上の商品グループの名前を設定する…87 レシートメッセージを設定する…88 レシートに住所や電話番号を設定する…90 文字設定できるその他の項目…92 固定合計器の項目名やレポートタイトルを設定する…92 取引シンボル(固定キャラクタ)を設定する…92 レジ番号を設定する…94 レジ番号を設定する…94 「連番号を設定する…94 「連番号を設定する…94 「連番号を設定する…95 強制機能や演算方式を設定する…95 強制機能や演算方式を設定する…96 は検/精算レポートの内容を設定する 1/2 97 は検/精算レポートの内容を設定する 2/2 98 レシートの印字内容を設定する…99 こんなときには…125 操作ガイドで調べる。125 操作ガイドで調べる。125 操作ガイドで調べる…125			担当者の設定確認	.123
レシートメッセージを設定する88全体設定の確認123レシートに住所や電話番号を設定する90現行税率の設定確認124文字設定できるその他の項目92予約税率の設定確認124固定合計器の項目名やレポートタイトルを設定する932取引シンボル(固定キャラクタ)を設定する93124その他の設定94上ジ番号を設定する94中連番号を設定する942印字項目を設定する95本体ときは強制機能や演算方式を設定する96エラー音(ピー音)が鳴ったとき125点検/精算レポートの内容を設定する 1/297ドロアーが開かなくなったとき125点検/精算レポートの内容を設定する98操作ガイドで調べる125レシートの印字内容を設定する99こんなときには125	グループレポート上の商品グループの名前を設定する。	87		
レシートに住所や電話番号を設定する90現行税率の設定確認124文字設定できるその他の項目92予約税率の設定確認124固定合計器の項目名やレポートタイトルを設定する9379取引シンボル(固定キャラクタ)を設定する94124レジ番号を設定する94124一連番号を設定する9420印字項目を設定する9520強制機能や演算方式を設定する96125点検/精算レポートの内容を設定する 1/297ドロアーが開かなくなったとき125点検/精算レポートの内容を設定する 2/298操作ガイドで調べる125レシートの印字内容を設定する99こんなときには125こんなときには126	レシートメッセージを設定する	88		
文字設定できるその他の項目92予約税率の設定確認124固定合計器の項目名やレポートタイトルを設定する93PLU の予約設定確認124取引シンボル(固定キャラクタ)を設定する94PLU の予約設定確認124レジ番号を設定する94こんなときは中連番号を設定する95故障かなと思ったら125強制機能や演算方式を設定する96エラー音(ピー音)が鳴ったとき125点検/精算レポートの内容を設定する 1/297ドロアーが開かなくなったとき125点検/精算レポートの内容を設定する 2/298操作ガイドで調べる125レシートの印字内容を設定する99こんなときには126	レシートに住所や電話番号を設定する	90		
固定合計器の項目名やレポートタイトルを設定する	文字設定できるその他の項目	92		
取引シンボル(固定キャラクタ)を設定する	固定合計器の項目名やレポートタイトルを設定する	92		
その他の設定	取引シンボル(固定キャラクタ)を設定する	93		
レジ番号を設定する94一連番号を設定する95強制機能や演算方式を設定する96点検/精算レポートの内容を設定する 1/297点検/精算レポートの内容を設定する 2/298レシートの印字内容を設定する99 こんなときは故障かなと思ったら125ボラー音(ピー音)が鳴ったとき125操作ガイドで調べる125こんなときには125	その他の設定	. 94		
一連番号を設定する94印字項目を設定する95故障かなと思ったら125強制機能や演算方式を設定する96エラー音(ピー音)が鳴ったとき125点検/精算レポートの内容を設定する 1/297ドロアーが開かなくなったとき125点検/精算レポートの内容を設定する 2/298操作ガイドで調べる125レシートの印字内容を設定する99こんなときには126			フノかし七山	
印字項目を設定する				
強制機能や演算方式を設定する			故障かなと思ったら	.125
点検/精算レポートの内容を設定する 1 / 2			エラー音(ピー音)が鳴ったとき	.125
点検/精算レポートの内容を設定する 2 / 2				
レシートの印字内容を設定する99 こんなときには				

もくじ

部門キーなどに商品名を記入する	129
消耗品のセットと交換	130
ロールペーパーをセットする(ジャーナル)	130
ロールペーパーをセットする(レシート)	131
ロールペーパーを交換する(ジャーナル)	132
ロールペーパーを交換する(レシート)	133
電子店名スタンプの取り付け	134
電子店名スタンプを取り付ける	134
スキャナーとレジスターの接続	135
スキャナーとレジスターの接続	135
レジスターの設定	
ドロアーを分離して設置する	136
仕様	137
保証規定	138
付録	139
日計明細の設定内容の変更と操作	
用語集	140
さくいん	144

安全上のご注意

で使用の前にこの「安全上ので注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。

製品を安全に正しくお使いいただき、人々への危害や機器の損傷を未然に防ぐため、以下の記号を使って注意を喚起しています。

△ 警告・△ 注意と、本書中の「絵表示」の意味は以下のとおりです。

⚠ 警告

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、<u>人が死亡または重傷を負う恐れがある</u>内容を示しています。

企 注意

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、<u>人が傷害を負ったり、物的損害が発生する恐れがある</u> 内容を示しています。



記号は「気をつけるべきこと = 注意」を意味しています。左の例は「手挟み注意」です。



記号は「してはいけないこと = 禁止」を意味しています。左の例は「分解禁止」です。



記号は「しなければならないこと = 指示」を意味しています。左の例は「電源プラグをコンセントから抜くこと」です。なお、「絵に表わしにくい指示」は **①** で表わします。

⚠ 警告

電源コードや電源プラグについて



- ・電源コードは、ねじったり、引っぱったり、加熱したり、加工したり、上に重い物を載せないでください。 電源コードが破損して、火災や感電の原因になります。また、本製品の下を通る配線はしないでください。
- ・電源コードを巻いたり、束ねたりしたまま使用しないでください。



- ・電源コードが傷んだら(芯線の露出/断線など)、ご購入の販売店またはカシオレジスターお客様相談センターにご連絡ください。そのまま使用すると、火災や感電の原因となります。
- ・ぬれた手で電源プラグに触れないでください。感電のおそれがあります。

内部に異物や水などを入れないでください



・本製品の開口部から内部に、金属類や燃えやすい物などの異物を差し込んだり、落とさないでください。 また、花瓶の水やコーヒー・ジュースなどの液体を本製品の内部にこぼさないでください。火災や感電の 原因となります。



・異物や水などが本製品の内部に入ったときは、<u>電源プラグをコンセントから抜いて</u>、ご購入の販売店また はカシオレジスターお客様相談センターにご連絡ください。そのまま使用すると、火災や感電の原因とな ります。

分解・改造しないでください



本製品を分解・改造しないでください。内部には電圧の高い部分や鋭くとがった部分があります。触って感電したり、ケガをする恐れがあります。また、故障や火災の原因となります。

異常状態で使用しないでください



発熱、煙が出ている、変な臭いがするなどの異常状態のまま使用すると、火災や感電の原因となります。すぐに電源プラグをコンセントから抜き、ご購入の販売店またはカシオレジスターお客様相談センターにご連絡ください。

本製品を落としたり、破損したときは



本製品を落としたり、キャビネットを破損した場合は、<u>電源プラグをコンセントから抜いて</u>、お買い上げの 販売店またはカシオレジスターお客様相談センターにご連絡ください。そのまま使用すると、火災や感電の 原因となることがあります。

電源・電圧について



- ・表示された電源電圧(交流 100V)以外の電圧で使用しないでください。また、タコ足配線をしないでください。火災や感電の原因となります。
- ・電源プラグは根元まで確実に差し込んでください。

安全上のご注意

△ 注意

設置場所について



- ・ぐらついた台の上や傾いたところなど不安定な場所に置かないでください。落下してケガの原因となります。
- ・湿気やホコリの多い場所に置かないでください。火災や感電の原因となります。
- ・調理台や加湿器のそばなど、油煙や湯気が当たる場所に置かないでください。火災や感電の原因となります。
- ・ストーブやヒーターなどの発熱器具の近くや、温風が直接当たる場所には置かないでください。火災の原 因になります。
- ・電源コンセントは、本機の電源コードが簡単に届き、また電源プラグの抜き差しが容易である場所を選ん でください。
- ・電源コードを製品や壁や棚の間にはさみ込んだり、電源コードの上に重い物を載せないでください。

移動する場合は



本製品の移動前に、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。電源コードを引っぱると、コードが傷つき、火災や感電の原因となります。

本製品の上には物を置かないでください



- ・花瓶や植木鉢、コップや液体の入った容器、金属の物などを置かないでください。
- |・タバコなど高温の物を置かないでください。
- 重い物を置かないでください。

電源プラグはいつもきれいに



電源プラグは年一回以上コンセントから抜いてプラグの刃と刃の周辺部分を乾いた布で掃除してください。 ホコリがたまると、火災の原因になります。電源プラグの清掃には、洗剤を使用しないでください。

電源プラグを抜くときは



電源プラグを抜くときは、電源コードを引っぱらないでください。コードが傷つき、火災や感電の原因となります。

長期間使用しないときは



連休などで長期間本製品を使用しないときは、安全のために電源プラグをコンセントから抜いてください。

ドロアー(引き出し)の注意



- ・ドロアー(引き出し)を開くときは、お子様の顔などに当たらないよう注意してください。
- ・ドロアー(引き出し)が開いているときに、ドロアーに寄りかからないでください。落下してケガの原因 となります。

消耗品交換時の注意

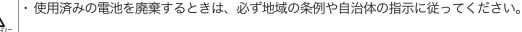


- ・記録紙の交換時に、プリンターのギアに髪の毛やスカーフなどが巻き込まれないよう注意してください。
- |・記録紙の交換時に手を挟まれないよう注意してください。また、指のケガにも注意してください。

・プリンターのヘッド部分には触れないでください。ケガ、やけどの原因となります。

ないよう注意







本体表示画面の取り扱いについて



- ・液晶表示を強く押したり、強い衝撃を与えないでください。液晶表示のガラスが割れてケガの原因となり ます。
- ・液晶表示が割れたときは内部の液体に絶対触れないでください。皮膚の炎症の原因となります。
- ・表示内部の液体が口に入ったときは、すぐにうがいをして医師に相談してください。
- ・表示内部の液体が目に入ったり皮膚に付着したときは、清浄な流水で最低 15 分以上洗浄した後、医師に相談してください。

お手入れについて



お手入れの際は、安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。

モード鍵とドロアー鍵



モード鍵やドロアー鍵は、小さなお子様の手の届かない所へ置いてください。鍵を飲み込む恐れがあります。

安全上のご注意

お願い(必ず守ってください)

- ・温度が高くなる所や、水がかかる所には置かないでください。
- ・ぬれた手で操作するお店では、防水カバーをお買い求めください。
- ・清掃にシンナー、ベンジン、化粧品などの揮発性の薬剤を使用しないでください。本製品が汚れたと きは、乾いたやわらかい布で拭いてください。布で強く擦ると表示部に傷がつく場合があります。
- ・1日の終わりには、精算をしてドロアー(引き出し)内をカラにし、開けたままでお帰りください。 ドロアーは金庫ではありません。

設置場所について

高温になる場所、ホコリの多い場所、油煙や水がかかる場所に置かないでください。 以下の場所では絶対に保管・放置しないでください。メモリ内容が消えるなど本装置の故障、ケースの 変形などの原因となります。

- ・0℃以下の低温下
- ・夏季の車内
- ・冷暖房装置の近く
- ・直射日光の当たる場所
- ・その他 40℃以上の高温になる場所

以下の場所では本製品の使用を避けてください。

- ・屋外
- ・レンジ、電熱器などの高温になる機器の近く
- ・水気や水蒸気のかかる可能性のある場所
- ・温度、湿度などの環境の変化が激しい場所
- ・腐食性のガスや塩分の発生する場所
- ・塵やホコリが発生する場所
- ・振動のある場所
- ・静電気が発生しやすい場所

あらかじめご承知いただきたいこと

- ・本書の内容は、製品の改良や仕様変更などにより予告なく変更することがあります。
- ・本製品の使用、故障・修理などによりデータが消えたり、変化に起因して生じた損害、遺失利益、第 三者からのいかなる請求につきましては、弊社は責任を負いかねますのでご了承ください。
- ・本書の著作権、および本書に記載のソフトウェアに関するすべての権利は、カシオ計算機株式会社が 所有しています。弊社の書面による同意なしに本書およびソフトウェアの一部または全部を無断転載 することを禁止します。
- ・本書の内容は万全を期して作成致しましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなど、お気づきの点がありましたらご連絡ください。
- ・本書に記載の画面、レシート、ジャーナル、領収書や本体のイラストは、実際の製品とは異なること があります。キー、アイコンは簡略化して記載しています。
- ・ウエルドラインについて 外観にスジのように見える箇所がありますが、これは樹脂成形上の"ウエルドライン"と呼ばれるも ので、ヒビやキズではありません。ご使用にはまったく支障ありません。

電波障害自主規制

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスA情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には、使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。 VCCI-A

高調波電流規格

この装置は、「高調波電流規格 JIS C 61000-3-2 適合品」です。

知りたいことは?

知りたい項目の参照ページをご確認ください。

●レジスターを設置する 17ページを参照してください。



● レジスターを情報センタに接続する 18 ページを参照してください。



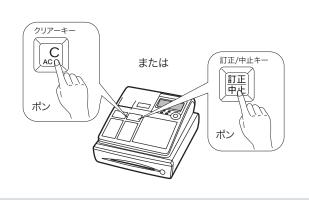
●基本的な操作とは?22ページを参照してください。



● クレジット決済をする?50 ページを参照してください。



◆ キー操作をまちがえた29 ページを参照してください。



● 返品があった31 ページを参照してください。

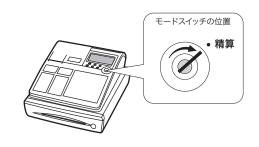


知りたいことは?

売上を確認する56ページを参照してください。



● 閉店後の操作は?33ページを参照してください。



● 消費税を設定する69 ページ以降を参照してください。



● ロールペーパーがなくなった132 ページを参照してください。



●電子店名スタンプが届いた 134ページを参照してください。



■ エラーが出た126 ページを参照してください。



- ●レシートの内容は?
- ●値引きや割引きをする
- ●単価・割引き率・丸めの設定をする
- ●レシートにメッセージを印字する
- レシートに分類や商品名を印字する

21 ページを参照してください。

46~47ページを参照してください。

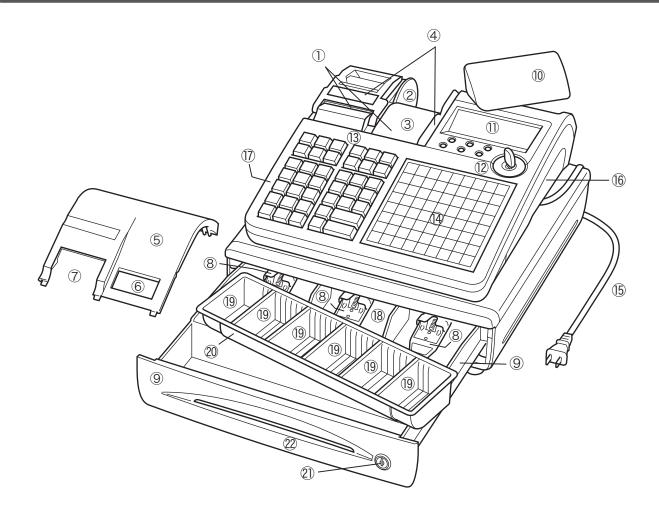
66~67ページを参照してください。

88~91ページを参照してください。

77、83ページを参照してください。

各部のなまえ

各部のなまえと働き



- レシート、ジャーナル用紙 (122、123ページ参照)
- ② ジャーナル巻き取りホルダ
- ③ ジャーナル 売上記録としてお店で保管します。
- ④ 紙押さえ確実にロックされるまできちんと閉じてください。完全に閉じていないとレジスターが動きません。
- ⑤ プリンタカバー
- ⑥ ジャーナル印字確認窓 印字内容の確認と用紙への書き込みができます。この窓 に用紙の赤い線が見えてきたらペーパーの交換をしてく ださい。
- ⑦ レシート発行窓
- ⑧ 札押さえ
- ⑨ ドロアー (引き出し)
- ② 客用表示窓 お客様用の表示です。見やすい角度に回してください(16 ページ参照)。

- ① 本体表示窓
- ② モードスイッチ
- ③ キーボード
- (4) タッチキーボード
- 15 電源プラグ/電源コード
- (⑥ コネクタカバー この中のコネクタにマルチ決済端末や磁気カードリーダ を接続します。
- ① RAC スロットカバー この中に電子店名スタンプを差し込みます。
- (18) 紙幣入れ
- ⑲ 硬貨入れ(6カ所)
- ② コイントレー 仕切り板は、取り外したり、位置を移動することができます。
- ② ドロアーロック錠 ドロアー鍵でロックできます。
- ② ドロアースリット部 小切手や商品券を、ドロアーを開けずに入れることができます。

本書での 記載例⇒ 登鉛



本書では、ページの右上にモードスイッチの位置を絵表示で掲載しています。この絵表示は、そのページで説明している操作をするときのモードスイッチの位置を示しています。 右上の例では、モードスイッチの位置を「登録」にしてから操作することを意味しています。

モードスイッチの切り替え

モードスイッチの位置を切り替えると、レジスターの働きが変わります。位置を切り替えるにはモード 鍵を使います。

モードスイッチ

レジスターには以下の7つのモードがあります。



モードの名称	モードの機能
精算	売上げの精算を行なうとき
点検	売上げの点検を行なうとき
電卓	電卓計算を行なうとき
登録	売上げの登録を行なうとき
OFF	レジを使用しないとき
戻	返品(戻し)を行なうとき
設定	お店に合わせたいろいろな設定を行なうとき

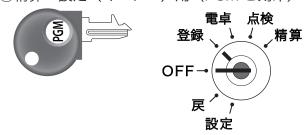
モード鍵

モード鍵には以下の2種類があります。

①オペレータ用(OPと刻印)



②精算・設定(オーナー)用(PGM と刻印)



回せる範囲

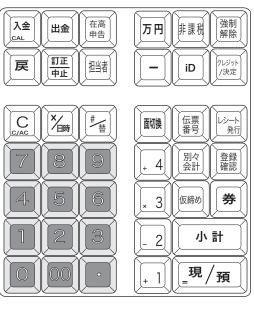
回せる範囲

濃い字で示したモードにまわすことができます。 さらに OFF と登録モードで、モード鍵をレジスターに付けたり外したりできます。

キーボード







8	16	24	32	40	48	56	64	72
7	15	23	31	39	47	55	63	71
6	14	22	30	38	46	54	62	70
5	13	21	29	37	45	53	61	69
4	12	20	28	36	44	52	60	68
3	11	19	27	35	43	51	59	67
2	10	18	26	34	42	50	58	66
1	9	17	25	33	41	49	57	65

レシート 発行/停止

レシート発行/停止 レシートを発行、止めるスイッチです。登録と戻のモードで使 スイッチ 用します。クレジット伝票はこのスイッチの状態にかかわらず 常に発行します。

キー上部のランプが消えているときは、レシートを常に「発行」します。このときにスイッ チを押すと、赤いランプが点灯してレシートを発行しなくなります。スイッチを押すたび「レ シートを発行する」→「レシートを発行しない」→「レシートを発行する」という状態を繰 り返します。お客様にレシートを要求された場合は、����を押してください。

接続キー 接続

レジスターを開設するときに押します。(情報センタ接続時に 使用)(22ページ)

操 作 ガイド

操作ガイドキー

操作方法や設定方法を知りたいときに押します。直接押すとメ ニュー項目を印字します。知りたいメニュー番号を入力しても

う一度押します。(125ページ)

送り

レシート送りキー

レシート用紙を空送りするときに押します。

ジャーナル送りキー ジャーナル用紙を空送りするときに押します。(132 ページ)

領収書 発行

領収書を発行します。(27ページ) 領収書発行キー

CAL

入金のときに押します。(45ページ)電卓機能とレジ機能の間 入金キー

で、「答」などのやり取りにも使います。(63 ページ)

出金

出金キー

出金のときに押します。(45ページ)

在高申告

在高申告キー

在高申告を始めるときと終わるときに押します。(53ページ)

戻

戻しキー

返品があったときに押します。(32ページ)

訂正

訂正/中止キー

直前訂正(30ページ)または取引中止(30ページ)のときに

押します。

担当者を指定するときに押します。(44ページ) 担当者キー 担当者 クリアキー 数字を入れまちがえたときに押します。(29ページ) 電卓機能 のときは、2回続けて押すと「オールクリア」(ゴハサン)の 働きになります。 乗算登録(26ページ)または時刻・日付を表示するときに押 乗算/日時キー [×/_{日時}] します。(44ページ) 不加算印字+-/ 不加算印字(42 ページ)、両替(26 ページ) のときに押します。 #/替 両替キー 置数キー 数値を入れるときに押します。 001 万円キー 万円札を預かったときに押します。(43ページ) 万円 非課税キー 非課税商品を登録するときに押します。 非課税 強制解除キー エラー解除のため、取引を強制的に解除します。(2回続けて 強制解除 押します)(125ページ) 値引きのときに押します。(46ページ) マイナスキー iD での売上のときに押します(KT-10 の接続が必要です)。(50 iDキー iD クレジット /決定 クレジットカードでの売上のときに押します。(50 ページ) クレジット /決定 タッチキー面を切り替えるとき押します。(24ページ) 面切替キー 面切替 伝票番号キー 伝票番号を指定するときに押します。(54ページ) 伝票番号 後レシートを発行します。(43ページ) レシート レシート発行キー 発行 個々の商品を登録するときに押します。(23ページ)電卓機能 部門キー + 1 | ~ | ÷ 4 のときは、「+ 1) ~ [+ 4] は「+」「-」「x」「÷」の計算命令キー になります。 別々計 別々会計キー 別々会計のとき押します。(55ページ) 登録確認 登録確認キー 別々会計で登録内容を分けるとき押します。(55 ページ) 取引を仮締めするとき押します。(54ページ) 仮締めキー 仮締め 商品券での売上のとき押します。(50ページ) 券売りキー 券 登録金額の合計(中間合計)を見るときに押します。(23ページ) 小計キー 小計 現金売り/預かり金 登録の完了(現金での売上)、および預かり金のときに押します。 現/預 (23ページ) 電卓機能のときは「=」です。(62ページ) キー フラット PLU キー タッチキー部分 (13 ページ) のキーです。個々の商品を登録 172 するときに押します。(24ページ)

本体表示窓/客用表示窓の見方

本体表示窓



客用表示窓



キャラクタ(文字)表示

登録した品物の名前などを、文字で表示します。半角文字で最大 16 文字 x2 行、全角文字で最大 8 文字 x2 行を表示します。

数値・金額表示

金額や数量などを表示します。電卓機能のときは、計算数値を表示します。

決済、接続状態表示

マルチ決済端末が接続しているか、インターネットに接続しているかをシンボル (■) で表示します。 決済:マルチ決済端末が接続しているときに点灯します。つないでいるのに点灯しない場合、電源が 入っているか、レジスターと決済端末が確実に接続されているかを確認します。

接続:インターネットに接続しているときに点灯します。つないでいるのに点灯しない場合、外部接続機器(ルータやモデム)などの電源が入っているか、レジスターと確実に接続されているかを確認します。

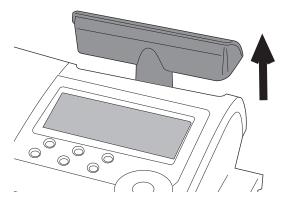
リピート回数表示

リピート登録(25ページ)のとき、その回数の下1桁を表示します。

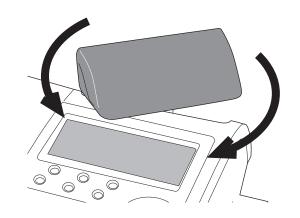
▲注意 表示例はイメージです。実際の表示と行間・字間・書体が異なります。

客用表示窓の向きを変える

₹ 客用表示窓全体を止まるまで、上に持ち上げます。



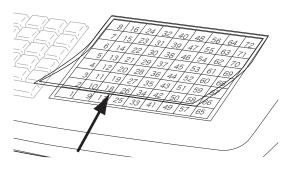
2 見やすい方向に回します。



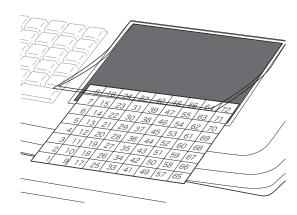
真正面には向きません。 真背面にすると、レジスターの中に格納されます。

タッチキーシートを取り替える

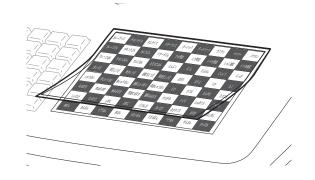
¶
タッチキーのカバーの矢印部分を持ち上げます。



2 タッチキーシートを取り出します。



3新しいタッチキーシートを入れ、タッチキーのカバーを戻します。

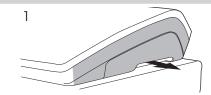


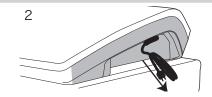
お買い上げいただいたレジスターは、以下の手順で設置してください。

設置の手順①(情報センタ接続作業前)

お買い上げ直後は、以下の手順に沿って設置してください。

- **1** 梱包箱の中から、本機と付属品を取り出します。袋の中から付属品を取り出し、すべてそろっているかを確認します。
- 2 本機を平らな設置場所に置きます。
- **3** ロールペーパー(印字用ロール紙)をセットします。 「ロールペーパーをセットする」(130~131ページ)を参照してください。
- ▲ レジスター右側面のコネクタカバーを開け、下記の手順で電源コードを取り出します。





5 電源プラグをコンセントに差し込みます。



6 モード鍵をモードスイッチに差し込み、モードスイッチの位置を「登録」にします。



7 日付と時刻を設定します。 「時刻と日付を表示する」(44ページ)・「時刻や日付をセットする」(65ページ)を参照してください。

必要に応じて、以下を設定します。

「消費税率について」(19ページ)「単価・割引率・丸めの設定」(66、67ページ) 「商品名とメッセージの設定」(77ページ~)「その他の設定」(94ページ~)

レジスターをご使用いただけます。

8 情報センタに接続します。マルチ決済端末を使用する場合は次ページに進みます。 電子店名スタンプ(RAC-13)が到着したら取り付けます。(134ページ)

設置の手順②(情報センタへの接続作業の内容)

情報センタへの接続やマルチ決済端末の接続作業は専門業者が行ないます。(以下に概略を示します)

- レジスターとマルチ決済端末を接続します。バーコードスキャナがあれば、それも接続します。
- 2 レジスターに、磁気カードリーダを取り付けます。
- 3 レジスターをインターネット回線に接続します。
- 4 インターネット接続キー(RAC-12)を装着します。
- 5 レジスターの電源プラグ、インターネット回線機器の AC アダプタの電源プラグを家庭用 100V コンセントに差し込みます。
- **6** レジスター、インターネット回線機器の電源を ON にして動作を確認します。

設置の手順②(情報センタへの接続作業の内容)

情報センタ接続作業後は、以下の手順に沿って設置してください。

- 1 レジスターを開設します。
 - 必要に応じて、以下を設定します。 「音量の設定」(KT-10 取扱説明書)
- ネットワークレジスターをご使用いただけます。情報センタに接続し、サービスを受けることができます。(別途契約が必要なサービスもあります。)

A注意

- ・電源は必ず指定された電源・電圧のコンセントを使用し、電源プラグは根元まで確実に差し込んでください。
- ・電源コンセントは、本機の電源コードが簡単に届き、また電源プラグの抜き差しが容易である場所を 選んでください。
- ・長期間本機を使用しないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。火災 や感電の原因となります。

消費税率について

ご購入時、税率は、「8%」に、税額の円未満の処理は「四捨五入」に設定されています。税率の設定については、「消費税率の設定」(71ページ)を、税額の円未満の処理については、「消費税額の円未満の端数処理を設定する」(76ページ)を参照してください。

課税方式について

消費税の課税方式には3つの方式があります。ご購入時は「内税方式」に設定されています。

内税方式(ご購入時)

商品金額に消費税8%が含まれているものを販売する方式

例:価格 1,000 円

本体価格 926 円 (消費税額 74 円

合 計 1,000 円 受取

外税方式

商品金額に消費税8%が含まれてい ないものを販売する方式

例:価格 1,000 円

本体価格 1,000 円 (消費税額 80 円

合 計 1,080 円 受取

非課税方式

消費税を計算しない(消費税を課税 しない)で販売する方式

例:価格 1,000円

本体価格 1,000 円 (消費税額 0円

内税方式でご使用のときは、このままご使用いただけます。

内税方式以外でご使用のときは、

- ・「課税方式の一括設定」(71ページ)
- ・「すべての商品を非課税扱いにする」(69ページ)
- ・「課税方式(内税/外税/複数税率/非課税)の設定」(70ページ)

を参照して課税方式の設定を変更してください。

複数税率に対応するときは、税1と税2の両方を設定してください。

- ・「すぐに税率を変更する」(71 ページ)
- ・「税率改定の予約機能を設定する」(72ページ)

		1		
	税率初期設定		設定後の税率	部門の課税方式初期設定
税1内税	8%	\longrightarrow	A%	部門1~4(税1内税)
税1外税	8%		A%	_
税2内税	0%	\longrightarrow	В%	_
税2外税	0%	\longrightarrow	В%	_
非課税	_	\longrightarrow	_	_

軽減税率でご使用のときは対応する部門キーなどの設定変更が必要です。「課税方式の設定」(70ページ)を参照して、課税方式の設定を税2へ変更してください。(対応する部門キーなど)混在するときは、例えば部門1を「税1内税(10%)」、部門2を「税2内税(8%)」のように設定して使いわけてご使用ください。

消費税の設定後、レジスターをお使いいただけます。

「奉仕料」の計算が必要な場合は、「奉仕料率を設定する」(115 ページ)を参照して設定してください。

一日の仕事の流れ

一日の仕事の流れについて、以下に説明します。



- √ 電源プラグがコンセントに確実に差し込まれているか確認します。
- ✓ ロールペーパーが充分にあるか確認します。ないときは交換します。◎ ロールペーパーを交換する 132 ~ 133 ページ
- √日付と時刻を確認します。
 - **時刻および日付を表示する**44ページ
- ✓ 釣銭用の小銭をドロアーに用意して入金登録します。売上に関係ない現金をドロアーに入れる 45 ページ





- √ 商品の売上を登録します。
 - ❷◎ 「基本的な操作」23ページ~
- ✓ 必要に応じて売上の確認をします。
 ⑤型プラ 「売上の点検」58ページ



閉店後

- √ 一日の売上を打ち出します。
 - ◎図』 一日の売上を精算する 33ページ
- √ ドロアー内のお金を取り出して出金登録します。
- √ モードスイッチの位置を「OFF」にします。



今日も一日お疲れ様でした。

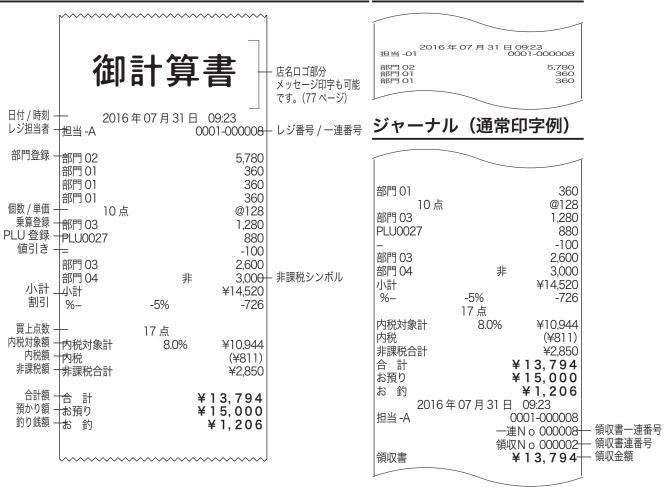
ドロアーが閉まっていると、現金が入っていると思ってレジごと持ち去る盗難が発生しています。レジがないと翌日の営業にも影響します。閉店後、現金を取り出したらドロアーを開けたままにしておくことをお勧めします。

レシート/ジャーナル/領収書の見方

レシートとジャーナルの印字内容は、ほぼ同じです。ただし、レシートには店名ロゴが印刷されます。 レシートを発行したくない場合は、レシート発行/停止スイッチを押してレシート停止にします。(10ページ)

ジャーナル用紙を節約するには、1.高さが半分の文字で印字する(下記印字例参照 73 ページ)、2. 明細を印字しない設定をする(87 ページ)という2つの方法があります。





領収書



- 1: レシートー連番号
- 2: 領収書一連番号
- 3: お客様名を書き込みます
- 4: 領収書中の税額
- 5: 但し書きを書き込みます
- 6: 店名印字スペース

収入印紙貼付欄



レジスターを開設する (情報センタをお使いになる場合は必須です)

情報センタに接続して電子決済や売上分析を行なう場合は、レジスターの開設操作を営業開始時に行な わなければなりません。開設を行なわないと、ネットワークレジスターとして使用できません。

操作例

レジスターを開設する

手順

表示例

印字例

1 [AC] を押して表示を確認します。

C/AC C

- ※「開設・接続して下さい。」と表示する 場合は次のステップに進みます。表示 していなければ以下の操作は必要あり ません。
- **7** ^{接続} を押します。

接続

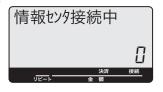






3 開設パスワードを置数し、 (接続) を押します。

※ パスワードが設定されていない場合は そのまま様のを押します。



・電子決済や情報センタでの売上分析を受ける場合は、必ずレジスターの開設をしなければなりません。 ・電士状계で旧報にファミッジエカッドを入り、2000年の、2000年のでは ・電士状계で旧報にファミッジエカッドを入り、2000年のでは ・また、日計精算を行なうとレジスターは閉設されます。日計精算後にクレジットの決済を行なうときは、 再度レジスターを開設します。

A注意

情報センタとの接続前にレジスターをお使いになっていた場合は、最初のレジ開設時は上記項目2の 代わりに

7 0 0 9 2 を置数して 接続 を押します。

0092接続と、操作してください。

開設パスワードを変更する場合、以下の操作後、ガイダンスに従って新しいパスワードを設定します。

- ①設定モードに回す
- ② 7 小計 8 5 2 0 小計 (表示されるガイダンスに従って操作してください)終了したら元のモードに戻します。

モードスイッチの位置

基本的な操作

商品1つを売上登録する

商品1つを現金でお買い上げになったときの例を示します。

部門キー/フラット PLU キー

操作例

単 価

¥1,200	1	部門 1 + 1	¥2,000	ポイント	ーを使うことができます。
単価	数量	部門キー/フラット PLU キー	預かり金	100	部門キーの代わりにフラッ

手順

表示例

印字例

1 オペレータキー(🏮 🚔)を使って、登録モードに合わせます。 (以下の節も、指定が無い限り同じです。)

2 商品の単価と部門キーを押します。

数量





預かり金

3 小計 を押します。

小計



4 預かり金額を入力して ^{現/預} を押し て取引を締め(終了し)ます。







部門キーの代わりにフラット PLU キ

本書内の説明は、「税率8%の内税方式」の消費税計算(円未満は「四捨五入」)での操作方法、お よびレシートの印字例を記載しています。

税率が変更された場合、外税・非課税が混在する場合に、操作方法は変わりませんが印字内容は異な ります。ご注意ください。



商品3つを売上登録する

商品3つを貸し売り(掛け売り)でお買い上げになったときの例を示します。

操作例

単 価	数量	部門キー/フラット PLU キー	貸し売り
¥300	1	部門 1 + 1	
¥800	1	フラット PLU01	¥2,100
¥1.000	1	フラット PLU73	



部門キーの代わりにフラット PLU キーを使うことができます。

手順

表示例

印字例

¶ 商品の単価と部門(フラット PLU) キーを押します。

商品の数だけ繰り返します。

300+1

8001

(フラット PLU0001 指定)

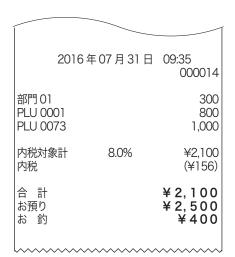
1000面切替1

(フラット PLU0073 指定)

1 点 ¥300 部門 01 **300**







2 商品をすべて入力したら 小計 を押します。

小計

3 預かり金額を入力して 源 を押します。

2 5 0 0 現/預





〜 マーマット PLU は 画 を使って下記のように指定できます。

į	操作					
面切替キー	フラット PLU キー	フラット PLU				
	1	PLU0001				
入力しない	37	PLU0037				
	72	PLU0072				
面切替	1	PLU0073				
	37	PLU0109				
	72	PLU0144				
	1	PLU0145				
面切替面切替	37	PLU0181				
	72	PLU0216				

基本的な操作



同じ商品を複数売り上げる(リピート)

同じ商品をいくつかお買い上げになったときの例を示します。たくさんお買い上げの場合は、次の節に示した乗算をお使いください。

操作例

単 価	数量	部門キー/フラット PLU キー	預かり金
¥300	3	部門 2 - 2	X3 000
¥500	2	部門 1 + 1	∓∠,000

ポイント

部門キーの代わりにフラット PLU キーを使うことができます。

手順

表示例

印字例

7 商品の単価と部門キーを押します。商品の数量分部門キーを繰り返し押します。





- 2 (2個目の登録)



__2 (3個目の登録)



リピート回数



2 商品の単価と部門キーを押します。 商品の数量分部門キーを繰り返し押します。





(2個目の登録)



3 小計 を押します。

小計



4 預かり金額を入力して 🗷 を押します。





▲注意 リピート回数は、10回以上のとき下 1 桁だけを表示します。



同じ商品を複数売り上げる(乗算登録)

同じ商品をたくさん(1ダースなど)お買い上げになったときの例を示します。

操作例

単 価	数量	部門キー/フラット PLU キー	預かり金		部門キーの代わりにフラット PLU キ
¥200	12	部門 1 + 1	¥10,000	」 ≝ポイント	ーを使うことができます。

手順 表示例 印字例

1 商品の数量、∑場、単価、部門キーの順に押します。

12次時

200+1



2 商品をすべて入力したら 小計 を押します。

小計



3 預かり金額(万円券キー)を入力して 🛂 を押します。

1 00 00 現/預



2016年07月31日 09:41 000017 12点 @200 部門 01 2,400 ¥2.400 内税対象計 8.0% 内税 (¥178) ¥2,400 合 計 ¥10,000 お預り お釣 ¥7,600

乗算登録の「数量」の範囲は「0.001 ~ 9999.999」です。「数量×単価」という入力順番を入れ替えて、「単価×数量」とすることもできます。(37、113 ページ)

両替などでドロアーを開ける

両替など「取引」以外でドロアーを開けるときの操作です。

手順 印字例

1 #/☆ を押します。ドロアーが開きます。

#/替



領収書を発行する

領収書を発行する

領収書を依頼されたときは、売上レシートを発行した後に原常を押します。なお、レシートスイッチが 「停止」の場合でも領収書が発行できます。

操作例

単 価	数量	部門キー/フラット PLU キー	預かり金
¥500	10	部門4÷4	
¥30,000	1	部門 2 - 2	¥60,000
¥25,000	1	部門 1 + 1	

部門キーの代わりにフラット PLU キ ーを使うことができます。

この登録の後で領収書を発行する

手順 印字例

10 %_時 500÷4

30000-2

25000+1

小計

6 万円 ^現/預

2 ^(領収書) を押します。

領収書 発行

A 注意

領収書には、電子店名スタンプ(134ページ)で自店専用の ロゴを印字することができます。電子店名スタンプはレジスタ ーに同梱されている電子店名スタンプ申込書にご記入の上、ご 発注ください。



領収書印字例



- 1: レシートー連番号
- 領収書中の税額
- 7: 収入印紙貼付欄

- 2: 領収書一連番号
- 但し書きを書き込みます
- お客様名を書き込みます 6: 店名印字スペース

但し書きは数種類からを選ぶことができます。(68ページ)適切なものがなければ空白を選び手書きしてください。

- ・収入印紙を貼付欄は、合計金額が50,000円以上で自動的に印字されます。
- ・収入印献で知り間間の、日日本になって、これでは、101ページ) ・印紙の必要な金額が変わりましたらその額に変更してください。(101ページ)
 - ・日計明細レポート上も、収入印紙貼付の有無の領収書の発行枚数/発行金額を分けて集計します。

領収書を発行する

金額指定の領収書を発行する

別のお客様のお買い上げ処理が終わってから前のお客様に領収書を依頼された場合は、お客様のお買い上げ金額を入力して領収書を発行します。

手順

1 領収書の額面金額を入力し (電源) を押します。

5 0 0 0 領収書 発行

領収書印字例



金額指定の領収書を発行する場合は、登録操作が完了しているときに、金額を入れて (電で) を押します。 この場合、税額は印字されません。

領収書発行時のレシート用紙のご注意

- 領収書を発行したり、ジャーナルを保存される場合は、高保存タイプのロールペーパーを使用することをお薦めします。
- 収入印紙貼付後や捺印後は、完全に乾くまでこすらないでください。
- 未使用の感熱紙(サーマル用紙)を保管したり、印字後のジャーナルを保存する場合は、光にさらしたままにしないように注意してください。
- お客様に領収書をお渡しするときは、手を汚されないように印字面を内側にして2つ折りにしてお渡しください。

操作をまちがえたとき

部門・取引キーを押す前に訂正する

部門キーや取引キーを押す前は、すべて Conc で訂正できます。

操作例

	単 価	数量	部門キー/フラット PLU キー	預かり金
1	¥120	1	部門 1 + 1	
2	¥200	5	部門 1 + 1	④ ¥3,000
3	¥105	10	部門2-2	

部門キーの代わりにフラット PLU

上記登録途中でのまちがい

操作例①

単価を押しまちがえた

手順

1 _{C/AC}C を押します。

1 2 00 c/AC C

2 正しく入力し、部門キーを押します。

120+1

操作例②

数量をまちがえて 🕍 を押した (単価を入れて 🏸 を押した)

手順

1 [c/Ac C] を押します。

200[×]/_{日時} C/AC C

2 正しく入力し、部門キーを押します。

5 % 日時 2 0 0 + 1

操作例③

乗算で単価をまちがえた

手順

1 [c/AC] を押します。

10 % 150 C/AC C

2 正しく入力し、部門キーを押します。

10%時105-2

操作例④

預かり金額をまちがえた

手順

1 [c/Ac C] を押します。

小計 5 0 0 0 c/Ac C

2 正しく入力し、 ^{週/} を押します。

小計 3 0 0 0 環/預

操作をまちがえたとき



部門キーを押した直後に訂正する

部門キーを押した直後は ➡ で訂正できます。

操作例

	単 価	数量	部門キー/フラット PLU キー	預かり金
1	¥505	1	部門 1 + 1	V2.000
2	¥230	3	部門3×3	¥ ∠,000



上記登録途中でのまちがい

印字例 手順

①単価をまちがえて入力し、部門キーを押した

5 5 0 + 1 章 中止

2 正しく入力し、部門キーを押します。

5 0 5 + 1

②乗算時、単価をまちがえて入力し、部門キーを押した

3 |×/1時 | 2 | 2 | 0 | × 3 | 訂正 | 中止

2 正しく入力し、部門キーを押します。

3 | ※ | 2 | 3 | 0 | × 3 |

3 小計を押し、預かり金を入力して 💹 を押します。

小計 2 0 0 0 現/預

	2016年	507月31日	10:35 000037
部門 01	3点		505 @230
部門 03			690
内税対象 内税	計	8.0%	¥1,195 (¥89)
合 計 お預り お 釣			¥1,195 ¥2,000 ¥805

登録途中の商品すべてを取り消す

登録をもう一度やり直す場合は、小計事で一括取消を行ない、再度登録を行ないます。

操作例

単価	数量	部門キー/フラット PLU キー	預かり金
¥350	12	部門4÷4	
¥1,280	1	部門2 [- 2]	-



印字例

部門キーの代わりにフラット PLU キーを使うことができます。

手順

7 例に示した登録をします。

1 2 | | 3 | 5 | 0 | + 4 | 1 | 2 | 8 | 0 | - 2 |

2 小計 を押したあと 事事 を押します。

小計



▲注意 小計は必ず押してください。押し忘れると最終行だけの訂正になります。

返品処理とレシート発行後の訂正



レシートが発行されたあとでまちがいに気づいた場合や、商品の返品があった場合などは《返品戻し処理》を行ないます。返品戻し処理には、《取引終了後の返品》と、《取引中の返品》の2種類があります。

取引終了後の返品

取引を終了した(レシート発行を終えた)商品の「返品戻し」は、モードスイッチの位置を「戻」に合わせ、その商品を売り上げたときと同じ操作を行ないます。

操作例

単 価	数量	部門キー/フラット PLU キー	預かり金
¥780	2	部門 1 + 1	田夕
¥1,280	1	部門3×3	現金



印字例

部門キーの代わりにフラット PLU キーを使うことができます。

手順

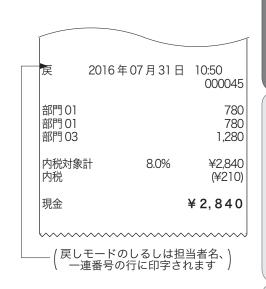
- 2 例に示した登録操作を行ないます。

780+1+1

1280 × 3

小計 現/預

- 3 登録モードに合わせます。
- **4** オーナーキーをモードスイッチから抜きます。 (必要が有れば、オペレータキーと挿し替えます)



▲注意

戻モードでの処理が終わったら、モードスイッチの位置を「登録」に戻します。オーナーキーは精算 操作や設定ができますので、普段から挿したままにしないでください。

返品処理とレシート発行後の訂正



取引中の返品

現在売り上げ処理中の商品の返品や訂正は、モードスイッチの位置を「登録」のまま 戻 を使って行な います。 場類 を押した後でその登録の誤りに気づいた場合は、前節の《取引後の返品》を行ないます。

操作例

単価	数量	部門キー/フラット PLU キー	預かり金
¥720	1	部門4÷4	
¥1,530	2	部門 2 - 2	現金
返品処理→¥720	1	部門4 [+ 4]	



部門キーの代わりにフラット がロャー・シェット PLUキーを使うことができます。

手順 印字例

7 2 0 ÷ 4 1 5 3 0 - 2 - 2

2 戻 を押して返品する商品を登録します。

戻

7 2 0 + 4

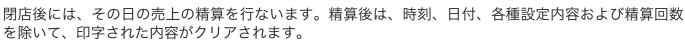
3 小計 と [型/預 を押します。

小計 現/預

			_	
	2016年	07月31	日	10:53 000048
部門 04 部門 02 部門 02 戻 部門 04				720 1,530 1,530 720
内税対象 内税	計	8.0%		¥3,060 (¥227)
現金				¥3,060
L	·····	·····	~~~	J

モードスイッチの位置

閉店後の操作~精算



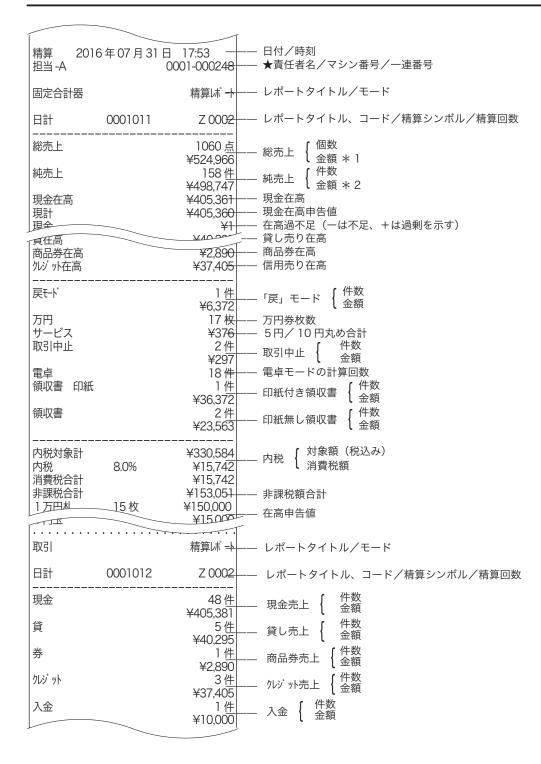
- ※このレジスターで発行できるレポートに付いては、56ページ以降にも記載されています。
- ※マルチ決済端末をご使用の場合、このレポートの前にクレジット日計明細を印字します。

一日の売上を打ち出す

手順

日計明細の精算は、オーナーキー (でモードスイッチの位置を「精算」にして 郷畑 を押します。

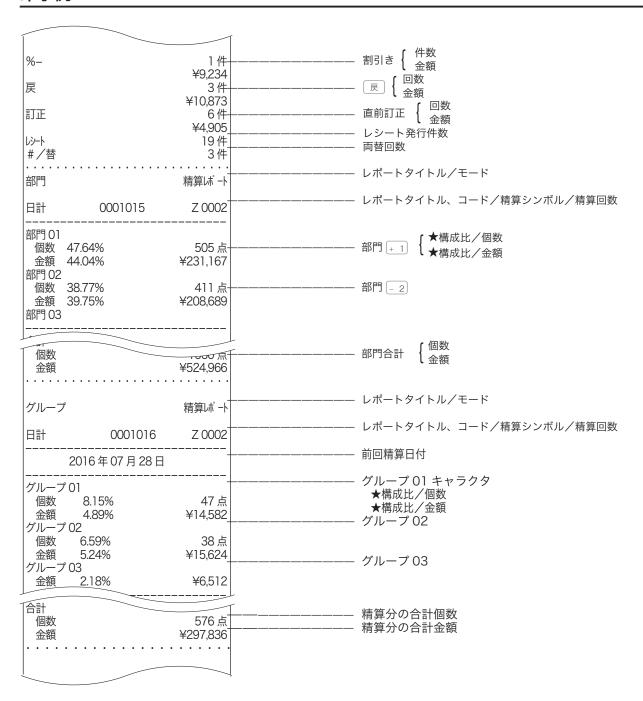
印字例



閉店後の操作~精算



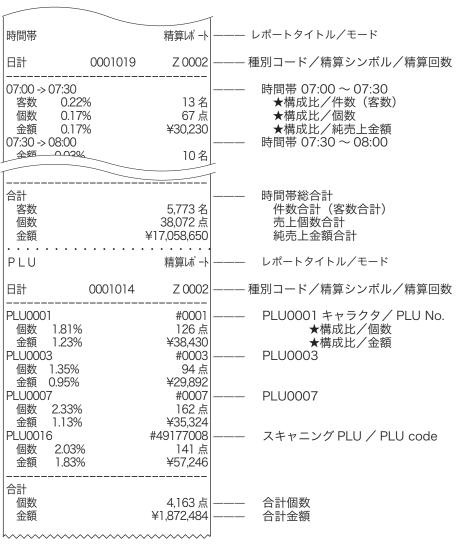
印字例



モードスイッチの位置

閉店後の操作~精算

印字例



- ★印の項目を印字するには、設定の変更(95ページ)が必要です。
- ※個数や件数、金額がすべて"O"だと、その部門や担当者は印字されません。
- ※マルチ決済端末をご利用のときは、クレジットカード取引明細をこの前に印字します。KT-10 取扱説明書を参照してください。

この印字例の中をはじめ、56ページ以降に示した点検/精算レポートで印字される各項目の間には、以下の関係式があります。

- * 総 売 上 = 部門合計+部門リンクしていない PLU 合計:個数、金額とも(部門リンク 107 ページ)
- * 純売上 = 現金売上額+貸し売上+商品券売上

2

- = 総売上-値引き-割引き-5円/10円丸め合計
- (= お客様の支払い額の総合計)
- * 現金在高 = 現金売上+入金合計-出金合計 (券売りでおつりがない場合)
- 3 = 総売上-値引き-割引き=内税対象額+外税対象額+非課税額合計

部門キー/フラット PLU キーの便利な使い方



単価設定した部門キーで商品を売り上げる

よく使われる商品金額を部門キー、フラット PLU キーに設定できます。設定された単価の商品を登録する場合は、単価の置数は不要です。直接そのキーを押してください。

操作例

単	価	数量	部門キー/フラット PLU キー	預かり金
¥800(キール	に設定済み)	1	部門 2 _ 2	
¥1,200		1	部門 2 - 2	\/= 000
¥600		1	フラット PLU15	¥5,000
¥500 (‡-1	に設定済み)	4	フラット PLU15	

手順

表示例

印字例

1 部門キーを押します。設定単価が呼び出されます。

- 2

- **2** 設定された単価と異なる場合、その 価格を入力して部門キーを押します。
 - 1200-2
- **3** フラット PLU キーも同様です。

60015

乗算登録も同様です。

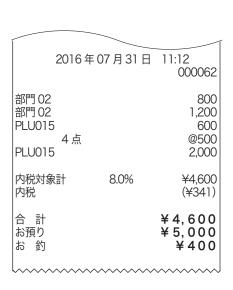
4 ×/日時 - 2

4 レシートを発行します。

小計

5 0 0 0 現/預





商品が部門キー・フラット PLU キーに設定されているものと異なる単価の場合、その価格を入力してから部門キー・フラット PLU キーを押します。この場合でも設定されている単価は消えません。

¥5,000

お預り

「商品単価を部門キーに設定する」(66ページ)を参照してください。

部門キー/フラット PLU キーの便利な使い方



単価×数量の順番で商品を売り上げる(部門キーのみ)

ご購入時の乗算登録は「数量」×「単価」の順に入力しますが、これを「単価」×「数量」の順で入力します。

操作例

単価	数量	部門キー	預かり金
¥380	8	部門 1 + 1	
¥160	5	部門 2 - 2	¥10,000
¥500 (キーに設定済み)	10	部門3×3	

手順

表示例

印字例

1 単価を入力して № を押し、数量を入力して部門キーを押します。

3 8 0 %時 8 + 1

160%時5-2

2 設定単価を使用する場合は、 % の前の単価入力は不要です。

3 レシートを発行します。

小計

万円 現/預











2016年07月31日 11:15 000065 @380 8点 部門 01 3.040 5点 @160 部門 02 800 10点 @500 部門 03 5,000 内税対象計 8.0% ¥8,840 内税 (¥655)合 計 ¥8,840 ¥10,000 お預り お釣 ¥1,160

「乗算キーの機能を設定する」(113ページ)を参照してください。

▲注意 「単価」×「数量」の順番で乗算登録できるのは、部門キーだけです。この機能を使用すると、「PLU の乗算登録」、「スキャニング PLU の乗算登録」と、「時刻・日付の表示」ができません。

PLU の便利な使い方

PLU について

設定されている商品単価や商品名を番号(品番など)を指定して呼出して登録する機能です。

部門登録: 商品単価を置数 ⇒ 該当部門キーを押すという手順で

PLU 登録: PLU 番号を置数 ⇒ PLU を押すという手順です。

PLU はプライス・ルック・アップの略で、価格(プライス)を探して(ルック)登録する(アップ)という意味があります。PLU 個々に売上金額と個数が集計されますので、商品単品の売上状況をつかむことができます。PLU はお買い上げの状態で 20,000 本あります。このうち 19,784 本をスキャニング PLU として使用します。

⚠注意 各 PLU には登録前に単価を設定しておく必要があります。

「商品単価を PLU に設定する」(66 ページ)、「PLU の商品名をリストから選んで設定する」(77 ページ)、「PLU へ商品名を設定する (85 ページ) を参照してください。

PLU を使って登録する

操作例

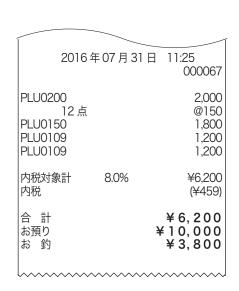
単価	数量	PLU 番号	預かり金
¥2,000	1	PLU No.200	
¥150	12	PLU No.150	¥10,000
¥1.200	2	PLU No.109	

手順 表示例 印字例

- 1 PLU 番号を入力して PLU を押します。設定単価を呼び出します。
 - 2 0 0 PLU
- 2 乗算登録は最初に個数を入力します。
 - 12 % 15 0 PLU
- 3 リピート登録は個数分 PLU を押します。
 - 1 0 9 PLU PLU
- **4** レシートを発行します。

(小計)(万円)(^現/預





PLU の便利な使い方



品番 PLU 機能とは?

⚠注意 品番 PLU 機能が必要な場合は、事前に PLU に設定してください。

「PLU に品番 PLU を設定する」(108 ページ)を参照してください。

品番 PLU を使って登録する

操作例

単価	数量	数量 PLU 番号	
¥850	2	PLU No.303(品番 PLU 設定済み)	
¥98	9	PLU No.28(品番 PLU 設定済み)	¥4,000
¥480(単価設定済み)	1	PLU No.232(品番 PLU 設定済み)	

手順 表示例 印字例

1 品番を入力し ℙ∪、単価 ⑥ を押します。

3 0 3 PLU 8 5 0 金額

3 乗算登録では、最初に個数を入力します。

9 [×]/_{旧時} 2 8 PLU 9 8 金額

4 設定単価を使う場合は単価を入力せずに 金額 を押します。

2 3 2 PLU 金額

5 レシートを発行します。

小計 4 0 0 0 環/預







スキャニング PLU の使い方

スキャニング PLU をお使いいただくためには、バーコードスキャナの準備と情報センタとの契約(「ス キャニングサービス」)が必要です。さらに「スキャニングサービス」を受けると、スキャニング PLU を自動学習したときに、その商品名称を情報センタで探して設定します。

A 注意

お取り扱いの商品の種類によっては、スキャニングサービスをご契約になっても、商品名を自動的に 設定できないことがあります。

スキャニング PLU について

商品上に貼付されたバーコードラベルをスキャナで読取り、商品登録を行ないます。本機はお買い上げ の状態で 19.784 本のスキャニング PLU を持っています。

スキャニング PLU を使うために、別売のスキャナを接続します。また、バーコードを読み取れなかっ た場合は、キーボードからバーコードラベルに書かれた数字を入れて 🖭 を押します。

扱うことのできるバーコードの種類は、JAN-8/13 PLUタイプ、EAN-8/13 PLUタイプ、UPC-A PLU タイプ、UPC-E タイプのバーコードを扱うことができます。

お買い上げの状態では、スキャニング PLU のバーコード情報はレシート、ジャーナル,レポートすべ で て印字しません。

A注意

スキャナをレジスターに接続する場合、必ず電源コードをコンセントから抜いてから作業してくださ い。スキャナは、コネクタカバー内のスキャナポートに接続します。

スキャニング PLU の自動学習機能

今までスキャニング PLU を使用する場合は、事前のスキャニング PLU マスタ登録(設定)が必要でした。 しかし本レジではマスタ登録が不要です。設定されていないスキャニング PLU アイテムをスキャンし たときは、単価と所属する部門キーを入力するだけで、その商品売上登録と同時にスキャニング PLU マスタに登録されます。

また、自動学習した商品の名前を情報センタのデータベースから探して設定します。もしデータベース 上に無い場合は部門名を印字しますので、後ほどお客様ご自身で商品名の設定をしてください。

[PLU] など、お店に必要なキーの設定は 116 ページを参照してください。



- ・設定されているスキャニング PLU の単価、または、部門を変更することもできます。(66 ページ)
- しく登録されたスキャニング PLU に置き換えられます。

A 注意

設定されていないスキャニング PLU アイテムをスキャンした場合、ѾѺ を押さずに単価やリンク部門 を入力してください。

スキャニング PLU の使い方

スキャニング PLU 商品を売り上げる(新規登録:未学習)

操作例

単 価	数量	部門キー	預かり金
¥570	1	商品 A(未設定、部門 3)	VE 000
¥760	4	商品 B(未設定、部門 3)	¥5,000

手順

表示例

印字例

1 商品 A のバーコードをスキャニング します。

(スキャニング)

2 ガイダンスに従い、単価を入れて 登録したい部門キーを押します。

5 7 0 × 3

4 ×/日時

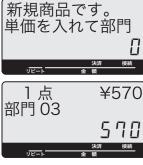
(スキャニング)

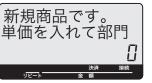
4 ガイダンスに従い、単価を入れて部門 キーを押します。

7 6 0 × 3

5 レシートを発行します。

小計 5 0 0 0 環/預









		_
2016年0	07月31日	11:40 000074
部門 03 4 点		570 @760
部門 03		3,040
内税対象計 内税	8.0%	¥3,610 (¥267)
合 計 お預り お 釣		¥3,610 ¥5,000 ¥1,390

スキャニング PLU 商品を売り上げる(既存:学習済み)

操作例 印字例

単 価	数量	スキャニング登録	預かり金
¥760	1	商品 B(設定済み、部門 3)	
¥850	2	商品 C(設定済み、部門 4) コード番号 4905360102547	¥3,000

手順

- スキャニングすると登録が行なわれます。 (スキャニング)
- **2** スキャナで読めない場合、バーコードを入力し PLU を押します。 4 9 0 5 3 6 0 1 0 2 5 4 7 PLU
- **3** リピート登録は個数分、PLU を押します。
- **4** レシートを発行します。

小計 4 0 0 0 環/預

1		
2016	年07月31日	11:40 000075
部門 03 部門 04 部門 04		760 850 850
内税対象計 内税	8.0%	¥2,460 (¥182)
合 計 お預り お 釣		¥2,460 ¥3,000 ¥540
	^^^^	

コード印字(不加算印字)の使い方



不加算印字キーを使う

お買い上げ金額に関係のない伝票番号、商品コード、お客様番号、クレジット番号などの数値を印字したい場合、その数値を入れたあとで #/* を押します。これを《不加算印字》と言います。(数値は最大 16 桁まで印字できます)

操作例

お客様番号 <1001> に下記の商品を売る

単価	数量	部門キー	預かり金
¥1,230	1	部門 1 + 1	
¥3,500	1	部門3 ҳ ₃	¥20,000
¥8,800 (商品コード 53344830)	1	部門2-2	

部門キーの代わりにフラット PLU ゚キーを使うことができます。

手順印字例

1 お客様の番号を不加算印字で登録します。続いて商品を登録します。

1001#/樹

1 2 3 0 + 1

3 5 0 0 × 3

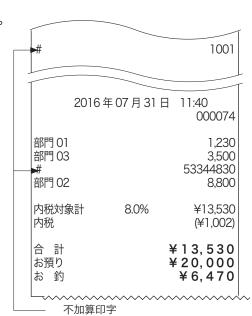
2 商品コードを不加算印字で登録します。続いて商品を登録します。

5 3 3 4 4 8 3 0 #/替

8800-2

3 レシートを発行します。

小計 2 00 00 現/預



万円キー/レシート発行キーの使い方



万円キーを使う

厉刑は、1万円札のお預かりがあったときに使用します。何枚か1万円札を受け取った場合、その枚数 を (万円) の前に入力します。また、1万円未満の金額は (万円) に続いて入力します。

操作例

単価	数量	部門キー	預かり金] ,
¥10,000	1	部門3 ҳ ₃	¥30,600] -(
¥20,550	1	部門4 🗐 4	+ 30,600	



部門キーの代わりにフラット PLU ディント キーを使うことができます。

手順 印字例

7 商品登録を行います。

1 00 00 × 3

20550 + 4

2 預かり金を入力します。

小計 3 万円 6 0 0 環/預

ドロアー内にあるべき1万円札の枚数を、点検/精算レポート上 ・ トロノードリにのも、こ・ハール・ ボイント の万券枚数で示します。 万円 を商品登録にも使用できます。

「キー配列を変更する」(116ページ)を参照してください。

12:44 000176
10,000 20,550
¥30,550 (¥2,263)
¥30,550 ¥30,600 ¥50

レシート発行キーを使う

お客様からレシートを要求されたときだけ、レシートを発行したい場合は、レシートスイッチを「停止」 にしておき、要求されたときに「火命」を押してレシートを発行します。

操作例

レシートスイッチ「停止」で、下記の登録後にレシートを発行する。

単価	数量	部門キー	預かり金
¥150	5	部門2-2	¥1.500
¥550	1	部門4 🚎 4	¥1,500

デポイント

部門キーの代わりにフラット PLU キーを使うことができます。

手順 印字例

¶ 商品登録を行い、取引を終了します。

5 %時 1 5 0 - 2

5 5 0 ± 4

小計 1 5 0 0 環/預

2 | | を押して後レシートを発行します。

レシート 発 行

お買い上げの状態では、レシートを発行した取引の後レシートは **A**注意 発行できません。

			_
	2016	年07月31日	12:47 000178
	5 点 部門 02 部門 04		@150 750 550
	内税対象計 内税	8.0%	¥1,300 (¥96)
t	合 計 お預り お 釣		¥1,300 ¥1,500 ¥200
	1		

日時の表示/担当者の指定と解除

日付と時刻を表示する

冷 を押すと時刻と日付を表示します。(登録や戻モードでレシートを発行した状態のときに可能です) 時刻や日付を表示していて他の操作を始める場合は、まず 🚾 を押して時刻/日付の表示を消します。

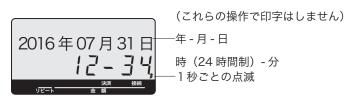
手順 表示例 印字例

₹ 日付・時刻を確認します。

[X/_{日時}]

フ日付・時刻表示を解除します。

C/AC C





「時刻・日付の設定」(65ページ)を参照してください。

担当者を指定/解除する

お買い上げの状態では、担当者の指定をする必要はありません。しかし、レシート上に担当者名を印字 したい/担当者別売上をとりたい、などの要望がある場合は「担当者を使用する」設定をしてください。 この設定をすると、登録時に担当者の指定をしなければなりません。

操作例

- ①担当 -A を指定(サインオン)する。
- ②担当 -A を解除(サインオフ) する。
- ③担当-Bを指定(サインオン)する。

印字例 手順 表示例

1 担当者 -A の番号(お買い上げ時は 0001)を

入力し、圏圏を押します。 【 ○ 【 ○ 【 ○ 【 1 【 担当者

2 "0" を入力し、_{胆竭} を押します。

担当者

3 担当者 -B の番号(お買い上げ時は 0002)を

担当 -A

(これらの操作では印字しません)

サインオンすると、表示窓に担当者名を表 示し、商品登録ができるようになります。



サインオフすると、担当者の指定が解除さ れて商品登録できなくなります。

入力し、理論を押します。 担当-B

10 0 0 2 担当者



別の担当者をサインオンする前に、サイン オンされていた担当者をサインオフします。

- ・担当者を使用する(96ページ) ・担当日を区パン・ ・担当日を区パン・ ・担当日を変更する (114ページ)

 - ・担当者名を変更する(86ページ)

表示窓に出てくる担当者番号を表示したくない場合は、担当者番号入力の前に 🕮 を押します。

入金キー/出金キーの使い方



入金キーを使う

貸し売り代金の受取や釣銭用小銭の補充などで、売上ではない現金の入金(現金をドロアーに入れること)があった場合に、 ② で登録します。

操作例

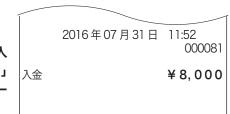
釣り銭準備として、8000円をドロアーに入れる

手順

印字例

80000 (AL

貸し売り代金の受取や、釣銭用小銭の補充など、売上ではない入金で「現金をドロアーに入れるとき」には、その金額を「入金」として処理します。これにより、「点検・精算」時に、ドロアー内の現金の在高を正確に把握することができます。



出金キーを使う

集金や、ドロアーが一杯になったときなど、売上(お釣りや両替)とは関係のない現金の出金(現金をドロアーから出すこと)があった場合に、 (当金) で登録します。

操作例

1万円札を15枚、ドロアーから金庫に移す

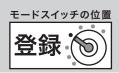
手順印字例

1 出金額を置数して 🕮 を押します。

1 5 00 00 出金

集金や、ドロアーが一杯になったときなど、売上(お釣りや両替)とは関係なく「現金をドロアーから出すとき」には、その金額を「出金」として処理します。これにより、「点検・精算」時に、ドロアー内の現金の在高を正確に把握することができます。





合計金額から 三 で値引きをする

商品の値引き、または合計の値引きが発生した場合は一で登録します。

操作例

単 価	数量	部門キー	値引き金額	預かり金	
¥1,000	1	部門 1 + 1	VE00	VE 000	
¥2,500	1	部門3×3	¥500	¥5,000	

部門キーの代わりにフラット PLU ポイント キーを使うことができます。

手順 印字例

7 商品を登録します。

1 0 0 0 + 1

2 5 0 0 ×

2 小計を押します。

小計

3 値引きをします。

500 -

4 レシートを発行します。

「小計】5 ┃ 0 ┃ 0 ┃ □ □ /預



・
一 に、あらかじめ「値引き金額」を設定しておくことができます。なお、値引き金額を入れると設 ・」に、のちがしい。 によらず、その金額で値引きを行ないます。

一への値引き金額の設定(65ページ)を参照してください。

割引きをする

モードスイッチの位置

商品ごとに割引きをする

商品の割引きが発生した場合は、割引き対象商品登録のすぐ後に %- を操作します。

操作例

単価	数量	郊門土—	割引率	預かり金
+	- 双里	בנוחם	דונים —	リスカーフ 並
¥1,000	1	部門 1 + 1	5%(設定済み)	¥5,000
¥2,500	1	部門3×3	7.5%	¥5,000

部門キーの代わりにフラット PLU キーを使うことができます。

手順 印字例

【 ∞− を押して直前の登録金額から割引き計算をおこないます。

1 0 0 0 + 1

|%-

2 %- の直前に割引率を入力することもできます。

2 5 0 0 × 3

7 | • | 5 | % –

3 レシートを発行します。

「小計】5 ┃ 0 ┃ 0 ┃ □ □ □ /預

「合計金額から割引きをする」(下記)を参照してください。

201	6年07月31日	12:20 000095
部門 01 %- 部門 03 %-	-5% -7.5%	1,000 -50 2,500 -188
内税対象計 内税	8.0%	¥3,262 (¥242)
合 計 お預り お 釣		¥3,262 ¥5,000 ¥1,738
l	······	······································

合計金額から割引きをする

合計金額の割引きが発生した場合は、 「小計 のすぐ後に 「%-」を操作します。

操作例

単 価	数量	部門キー	割引率	預かり金	
¥1,000	1	部門 1 (+ 1)	1.00/	¥5,000	
¥2,500	1	部門3×3	10%	¥5,000	

部門キーの代わりにフラット PLU ディント キーを使うことができます。

印字例 手順

商品を登録します。

1 0 0 0 + 1

2 5 0 0 × 3

2 小計 を押してから %- を押します。

小計 1 0 %-

3 レシートを発行します。

小計 5 0 0 0 0 環/預

%─ への割引き率の設定 (67 ページ)、%─ の端数処理の設定 (113 ペー ジ)を参照してください。

0.00		
2:22 000096	016年07月31日	
1,000 2,500 ¥3,500 -350	-10% *	部門 01 部門 03 小計 %-
¥3,150 (¥233)	8.0%	内税対象 内税
3,150 5,000 1,850		合 計 お預り お 釣
2,500 ¥3,500 -350 ¥3,150 (¥233 3,150 5,000		部門 03 小% – 内税 内内 合 お 類り

∞− には、あらかじめ「割引き率」を設定できます。また、割引き計算の円未満の端数は標準では「四捨五入」 ですが、「切上げ」または「切捨て」に設定することもできます。

さかのぼり訂正の使い方



登録中に何行か前のまちがいを訂正する

登録の途中で、同じレシートの中の何行か前の登録を訂正する(さかのぼり訂正する)場合、 戻 を使います。

操作例

単 価	数量	部門キー/フラット PLU キー	預かり金	☆ 部 目	門キーの代わりにフラット
¥960	1	部門4÷4	¥4,000	~\ `\/`_uo	
¥2,800	1	部門4:4	1 4,000	- PL	U キーを使うことができます。

手順印字例

1 商品を登録します。

990 + 4

2800 ÷ 4

2 最初に登録した商品の単価のまちがいに気づき、さかのぼり訂正をします。

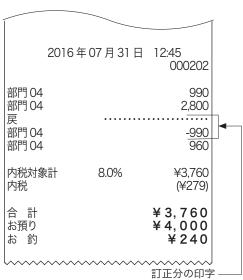
展 9 9 0 ÷ 4

3 正しい単価で登録し直します。

960 + 4

4 レシートを発行します。

小計 4 0 0 0 環/預



さかのぼり訂正は、 $\mathbb R$ を押したあとにまちがえた登録内容と同じ操作をします。その後、正しい登録 をします。

10円丸め・5円丸めの使い方



10円丸めする(合計の10円未満の端数を丸める)

合計金額を、「10円単位」に丸めて《自動値引き》します。「5円単位」の丸めも可能です。

操作例

< 10円未満の端数値引き > で、下記の商品を売る

単価	数量	部門キー/フラット PLU キー	預かり金
¥1,281	1	部門4÷4	
¥1,502	1	部門 1 + 1	¥10,500
¥2,380	1	部門2-2	

部門キーの代わりにフラット PLU キーを使うことができます。

手順

1 例に合わせて商品を登録します。

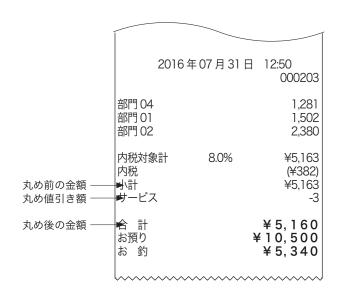
1281÷4

1502+1

2380-2

2 端数を丸めて合計処理をします。

小計 万円 5 0 0 環/預



印字例

「10円丸め」は、1円の位が「1~9→0円」に丸められます。「5円丸め」は、1円の位が「1~4 \rightarrow 0円」に、「5~9→5円」に丸められます。どちらの場合も、丸められた差額が「自動値引き」され、レシートに「サービス金額」として印字されます。また点検/精算レポートに「丸め合計」に集計されます。なお、差額がないときは「サービス金額」は印字しません。

「5円丸めまたは 10円丸めの設定」(67ページ)、日計明細で丸め合計の印字の設定(97ページ)を参照してください。

商品券/クレジットの売上



商品券で売り上げる

商品券(券売り)での売上は、参び登録します。

操作例

下記の商品を 5,000 円(500 円×10 枚)に < 商品券 > の支払いがあった

単 価	数量	部門キー/フラット PLU キー	預かり金	
¥2,380	2	部門 2 - 2	¥500 × 10 枚の商品券	4

(夢 には ¥500 が設定済み)

部門キーの代わりにフラット ੰਊ₁ォィント PLU キーを使うことができ ます。

手順

印字例

¶ 例に示した商品を登録します。

2 3 8 0 [-2]|-2||小計

2 商品券額を入力して <u>*</u> を押します。乗算処理もできます。

1 0 ×/_{日時} 券

お店でよく使われる商品券の券面金額を、あらかじめ (券) に設 定しておくと、上記例の操作ができます。なお、金額を入力して から、
巻 を押すと、その金額が預かり商品券の金額になります。

夢 へよく使われる商品券の券面金額の設定(67ページ)を参照してくだ さい。



クレジットカードまたは iD で売り上げる

クレジットカードなどの売上は 愛愛 を押します。iD の売上は iD を押します。

操作例

下記の商品を < クレジットカード > で売る

単価	数量	部門キー/フラット PLU キー	預かり金
¥35,000	1	部門 1 + 1	なし(クレジット)

部門キーの代わりにフラット ディント PLU キーを使うことができます。

手順 印字例

¶ 例に示した商品を登録します。

3 5 0 0 0 + 1 小計

2 が を押します。

『※※』(KT-10 が接続されていなければ、これで終了です) iD の場合は 🥍 の代わりに iD を押します。(KT-10 が 接続されていない場合、iDはお取り扱いできません) KT-10 が接続されている場合は、KT-10 取扱説明書を参 照してください。

2016年07月31日 13:40 000210 部門 01 35,000 8.0% ¥35,000 内税対象計 内税 (¥2,593)信用売り-わじがか ¥35,000

A 注意

- ・KT-10 が接続されていない場合は、別途インプリンタなどを用いてクレジット処理をしてください。
- ·KT-10 の接続には、KT-10 本体およびクレジット決済に関する契約が必要です。
- ・KT-10 が接続されている場合は、レシートの前にクレジット伝票を発行します。

混在する支払い方法の売上



一部を商品券・残り現金で売り上げる

合計金額の一部を現金や商品券で分けて支払うことができます。現金、商品券と信用売りの組み合わせが可能です。

操作例

下記の商品を < 分割処理 > で売る

単価	数量	部門キー/フラット PLU キー	預かり金
¥2,350	1	部門 2 - 2	商品券 ¥5,000
¥3,820	1	部門 1 + 1	現 金¥1,500

∵ ∰ポインI 部門キーの代わりにフラット PLUキーを使うことができます。

手順

表示例

印字例

1 例に示した商品を登録します。

2350-23820+1

小計



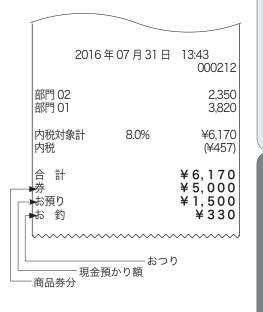
5000 券

3 現金の預かり金額を入力して 「^{劉/}類 を押します。

1 5 0 0 環/預







現金払いだけのお店の場合、現金の預かり不足を知らせる設定(111ページ)をして、操作ミスを防いでください。

奉仕料を徴収する



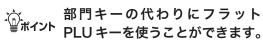
奉仕料を含めた計算をする

奉仕料計算が必要なお店は、「奉仕料を計算する」に設定します。同時に奉仕料の料率や端数処理方法なども設定します。(お買い上げの状態では、奉仕料は計算しません)

操作例

下記の商品を**奉仕料を計算して**登録する(客数を2名とする)

単 価	数量	部門キー/フラット PLU キー	奉仕料	預かり金
¥5,500	2	部門 1 + 1	10%	¥20,000
¥3,500	1	部門2-2	(設定済み)	+ 20,000



手順印字例

1 客数を入力します。

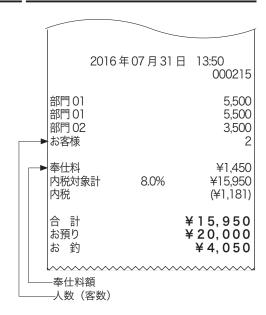
2 客数

2 商品を登録します。

5500+1+13500-2

3 奉仕料が自動的に計算されます。

小計 2 00 00 現/預



▲注意 登録された客数は、日計明細レポート上に集計されます。客数を入力しなくても、奉仕料計算できます。

「奉仕料率を設定する」(115 ページ)、客数の入力を忘れないための客数入力強制の設定は 96 ページを参照してください。

在高申告をする



在高申告とは、点検や精算の前にドロアー内の金銭の合計額を勘定してレジスターに申告(登録)することです。点検や精算レポートを見る前に申告することで、ドロアーにある金額とレジで登録された合計の差額をピンハネするような不正操作を防ぐことができます。

在高を申告する

在高申告は、現金/商品券/掛け売り伝票などの金種ごとに行ないます。それぞれの金種ごとの合計額を登録しますが、現金は、1万円札枚数、5千円札枚数、・・100円硬貨枚数、・・・1円硬貨枚数の順に枚数で登録します。(設定によって、明細を入力せずに合計金額だけ登録することもできます)

操作例

以下の在高申告を行なう

金種	数量	金種	数量	金種	数量
現金1万円札	15	現金 500 円硬貨	14	現金5円硬貨	3
現金5千円札	4	現金 100 円硬貨	30	現金1円硬貨	0
現金2千円札	0	現金 50 円硬貨	28	商品券合計 5000 円	1
現金千円札	30	現金 10 円硬貨	53		

<u>手順</u>

表示例

印字例

1 印象を押します。

在高申告

2 ガイダンスに従って、1万円札 の枚数を入力します。



3 🗓 を押します。

[現/預]

- **4** ステップ2と3を1円硬貨まで 繰り返します。
- **5** 商品券合計金額を入力し、参 を押します。

5000 券

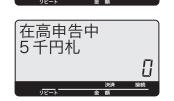
6 音 を押します。

在高申告



1万円札







			_
	2016年0	7月31日	13:50 000215
	9札 9札 9札 0円玉 0円玉 9玉 5	 15枚枚 0枚枚 14枚枚 30枚枚 28枚枚 53枚枚 0枚	¥150,000 ¥20,000 ¥0,000 ¥30,000 ¥7,000 ¥3,000 ¥1,400 ¥530 ¥15 ¥0 ¥5,000
現計 商品券	*計		¥211,945 ¥5,000
L	·····	·····	

▲注意 在高申告の結果は、日計明細レポート上に印字されます。

飲食店向け機能の使い方



本レジは、テーブル別売上管理機能(チェックトラッキング機能)を持っています。テーブルごとのオーダー登録や追加登録、仮締め、伝票の分割(別々会計)ができます。(飲食店向けの機能を使う場合は、いるいろな設定が必要になりますので、販売店にご相談ください)

新しく伝票を登録する

新しくテーブルに着いたお客様から注文を受けた場合、伝票番号キーで新しい伝票番号を指定してから、 登録を始めます。(伝票番号として、従来からお使いの紙に印刷された伝票個々の番号やお店のテーブ ルに振られた番号が使用できます)

操作例

新規のお客様を 伝票番号 1234 でオーダーを登録した

単価	数量	部門キー/フラット PLU キー	預かり金
¥10,000	1	部門 1 + 1	仮締め

手順 印字例

1 伝票番号を入力します。

1 2 3 4 伝票

2 オーダーを登録します。

1 00 00 + 1

3 仮締めを押します。

仮締め



伝票に追加登録する

お客様からの追加注文を受けた場合、伝票番号キーでお客様の伝票番号を指定して登録した内容を呼出 し、追加登録したり支払いを行ないます。

操作例

伝票番号 1234 のお客様の追加オーダーを登録し、取引を終了した

単価	数量	部門キー/フラット PLU キー	預かり金
¥20,000	1	部門2-2	¥30,000

手順 印字例

1 伝票番号を入力します。

1 2 3 4 伝票

2 オーダーを追加します。

2 00 00 - 2

3 取引を終了します。

3 00 00 現/預

2016年(07月31日	13:50 000215
伝票 No.: 12	3 4	000215
小計		¥10,000
部門 02		20,000
内税対象計 内税	8.0%	¥30,000 (¥2,222)
合 計 お預り お 釣		¥30,000 ¥30,000 ¥0
L	·····	·····

モードスイッチの位置

000215

10,000

20,000

30,000

30,000

¥90,000

@15,000

飲食店向け機能の使い方

別々会計(伝票分割)をする

1枚の伝票を複数人で支払う場合に別々会計を使います。

操作例

伝票番号 4321 のお客様の登録のうち、①と③のアイテムの支払いを先に行なう

	単価	数量	部門キー/フラット PLU キー	支払い
1	¥10,000	1	A ランチ	先に支払い
2	¥20,000	1	B ランチ	仮締め
3	¥15.000	2	C ランチ	1個だけ先に支払い
4	¥30,000	1	D ランチ	仮締め

手順

表示例

印字例

伝票 No.: 4321

2点

Αランチ

B ランチ

Cランチ

Dランチ

仮締め

- 1 右の別々会計前の登録が行なわれました。
- 2 伝票番号を入力します。

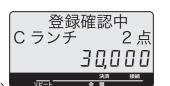
4 3 2 1 景々

3 ①のアイテムを分割します。

別々会計

4 ②のアイテムを表示しているので、 て次の③アイテムを表示します。

登録確認



登録確認中

登録確認中

10.000

20,000

1点

- **5** ③のアイテムを表示しているので、 てこのアイテムを分割します。
 - 1 別々会計

(先の置数は分割される個数です)



6 (仮締め) を押して、別々会計から抜けます。

仮締め



- 7 分けた①と③の取引を終了します。
 - 3万円 現/預



右の別々会計後のレシートが発行されます。

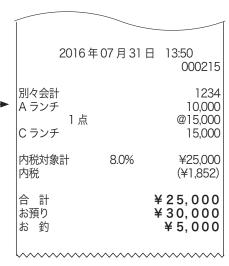
8 同じ伝票の次の支払いのために

②

当を押します。

^{別々} (この場合は、伝票番号の入力は不要です)

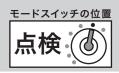
同じ伝票のすべての支払いが済むまで、繰り返します。



2016年07月31日 13:50

(別々会計) 前の登録)

(別々会計後) のレシート)



点検とは、営業中にその日の途中経過を確認する操作です。

- ・モードスイッチの位置を「点検」にすると、表示窓に「点検」が表示されます。
- ・レポートに印字される"X"は「点検」を意味します。
- ・点検をしても、それまでのデータは消去(ゴハサン)されません。

点検時のモードスイッチ位置



レポート名称と内容

●日計明細

1日の最後に必ず精算してください。日計明細には以下の項目が含まれています。

固定合計器:売上総額やドロアー内の現金在高、税額総計などを集計できます。

取引キー:現金、掛け、商品券、クレジット等や割引き、値引き、入出金などを集計できます。

部門:部門キーや数個のフラット PLU キー (PLU) を部門にまとめた合計を集計できます。

グループ:数個の部門またはフラット PLU キー(PLU)をグループにまとめた合計を集計できます。

時間帯:どの時間帯に売上が集中しているかを集計できます。

PLU: フラット PLU キー (PLU) / スキャニング PLU 個々の商品別の売上金額と売上数量を集計できます。

●月間日別

1ヶ月の売上を、日付別に集計できます。

●担当者

担当者別の売上、現金在高などを集計できます。

●期間集計1

週単位や月単位など、一定期間の売上を累積できます。「期間」は、レジに何かの値を設定するのではなく、期間集計 1 を精算して以降の売上を、自動で累積し続けます。週単位であれば「週末の閉店後」、月単位であれば「月末の閉店後」などの運用ルールを決め、定期的に期間集計 1 を精算してください。

●期間集計2

期間集計 1 とは別に、もう 1 つ期間集計できます。例えば、キャンペーン期間中や半年分など、期間集計 1 とは異なる期間の集計にご使用ください。操作方法は期間集計 1 と同じです。

●個別点検(部門/ PLU)

知りたい部門や PLU を指定して集計できます。個別点検できるのは、各部門キー、各 PLU アイテム、各フラット PLU キー (PLU)、各スキャニング PLU アイテムです。

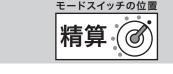
●グループ別 PLU 点検

PLU をあらかじめ設定したリンクグループに分けて売上金額を印字します。あるグループ(商品群)を指定して、売上動向を見ることができます。

·グループ集計は「部門」または「フラット PLU キー(PLU)」にあらかじめグループ番号を設定する 必要があります。

・各項目の「構成比」を求める場合は、「売上構成比の印字」を「印字する」に設定します。

「部門キーにリンクグループを設定する」(104ページ)、「PLU /フラット PLU に部門リンク・グループリンクを設定する」(107ページ)、「売上構成比の印字の設定」(93ページ)を参照してください。



精算とは、閉店後に売上データを集計してレポート印字したあと、元になったデータを消去(ゴハサン)にする操作です。

- ・モードスイッチの位置を「精算」にすると、表示窓に「精算」が表示されます。
- ・レポートに印字される"**Z**"は「精算」を意味します。
- ・日計明細を精算すると日計明細のデータが、部分累計の精算をすると部分累計のデータがそれぞれ消 去されます。

精算時のモードスイッチ位置



レポートとキー操作

☞C を押して、「点検」または「精算」の文字が表示されることを確認します。以下の表から、希望するレポートのキー操作を実行します。(日計明細の内容は、固定合計器、取引キー、部門、グループ別、時間帯、PLU が順に印字されます)

日計明細で PLU レポートを必要としないお客様は、139 ページを参照の上、日計明細の内容を変更してください。

レポート名称	日計のキー操作		期間集計1の	期間集計2の	備考	参照ページ
	点検	点検精算		キー操作	用行	
日計明細	現/預	[現/預]	100億元/預	200 環/預		33、60
担当者	17周	999917環	117厘/預	2 1 7 및/預		60
月間日別	20 現/預	999920環境	なし	なし		61
売上/在高	×/ _{日時}		なし	なし		58
部門個別	点検したい	点検したい部門キーを押す、最後に <u>小計</u>		なし	点検のみ	58
フラット PLU 個別	点検したい 最後に 小計	点検したいフラット PLU キーを押す・・・、 最後に 小計		なし		59
PLU 個別	点検したい す・・・、:	PLU のコードを置数し PLU を押 最後に 小計	なし	なし		59
スキャニング PLU 個別	点検したい 後に 小計	点検したいアイテムをスキャン・・・、最 後に ҈ा		なし		58
グループ別 PLU		続いて点検したいグループ番号 、最後に 小計	なし	なし	点検のみ	59

※長いレポートを途中で止めたい場合は…

(強制) を2回押します。(止まるまで数秒かかるときもあります。)



売上/在高の点検

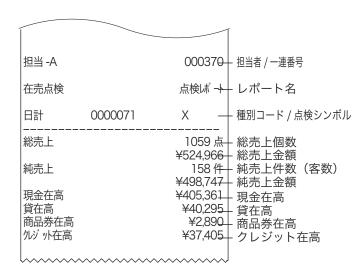
手順

1 モードスイッチの位置を「点検」にします。

2 🦄 を押します。

[X/_{日時}]

印字例



スキャニング PLU 個別の点検

手順

- 1 モードスイッチの位置を「点検」にします。
- **2** 点検するスキャニング PLU をスキャンする、また はコード番号を入力して「PLU を押します。
- **3** 小計 を押します。

小計

部門個別の点検

操作例

部門1、3、4の売上金額を確認する

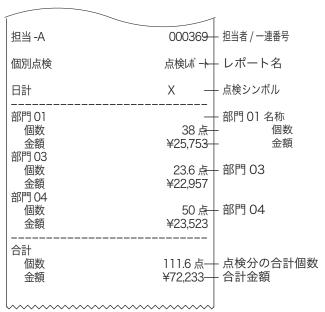
手順

- ┚ モードスイッチの位置を「点検」にします。
- 2 点検する部門キーをを押します。

3 小計 を押します。

小計

印字例



「構成比」は、それぞれの総合計に占める個々 ・ 「中水」」 で、これでは、 の割合のことです。計算結果の小数第3位以 下は切捨てです。

モードスイッチの位置

フラット PLU キー個別の点検

操作例

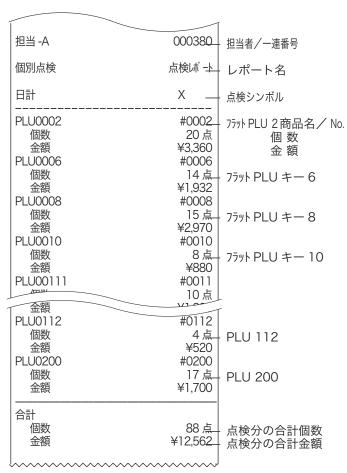
フラット PLU キー 2、6、8、10、および PLU 番号 111、112、200 の売上金額を確認する

手順

- ₹ モードスイッチの位置を「点検」にします。
- 点検したいフラット PLU キーを押します。 ||8
- 🗿 PLU コードを入力して 🖭 を押します。次の PLU を 点検するときはコードを入力せずに「PLU を押します。
 - 1 1 1 PLU | PLU
 - 2 0 0 PLU
- 4 小計 を押します。

小計

印字例



※ PLU No. は、設定により印字します。

グループ別 PLU の点検

操作例

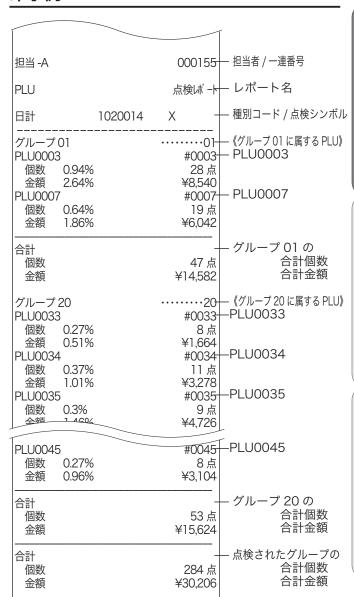
グループ番号 01、20 の売上金額を確認する

手順

- モードスイッチの位置を「点検」にします。
- グループ別 PLU の点検コード「66」を入力し、

 『別別 を押します。
- 3 点検するグループ番号を入力し、
 5 を押します。 0 1 | 現/預 2 0 | 現/預
- **4** 小計 を押します。 小計

印字例





日計明細の点検・精算

手順

- 1 モードスイッチの位置を「点検」または「精算」にします。
- 2 次の操作をします。

日計は

[現/預]

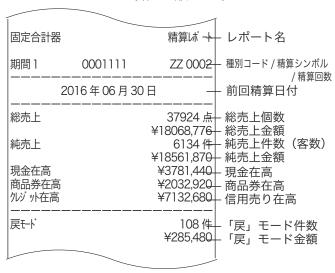
期間集計1は

1 0 0 環/預

期間集計2は

印字例

(始めの部分のみ)



日計明細の印字例は33ページを参照してください。

※期間集計 1 および期間集計 2 の印字は、精算(点検) シンボルが、「XX」または「ZZ」になります。(以外 の印字は変わりません。)

担当者の点検・精算

手順

- **1** モードスイッチの位置を「点検」または「精算」にします。
- **2** 次の操作をします。

日計点検は

日計精算は

9 9 9 9 1 7 型⁄預

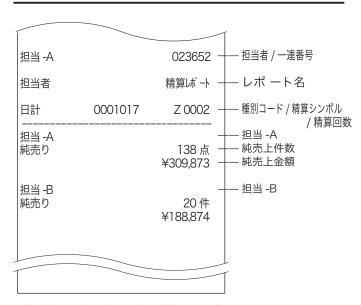
期間集計1は

1 1 7 型

期間集計2は

2 1 7 現/預

印字例



※件数や金額が0の担当者は印字をスキップします。 お買い上げの状態では担当者は使用できません。

モードスイッチの位置 モードスイッチの位置

売上の点検と精算

月間日別集計の点検・精算

手順

- **1** モードスイッチの位置を「点検」または「精算」にします。
- 2 次の操作をします。

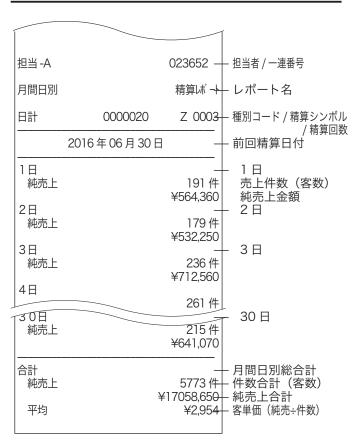
日計点検は

2 0 現/預

日計精算は

9 9 9 9 9 2 0 環境

印字例

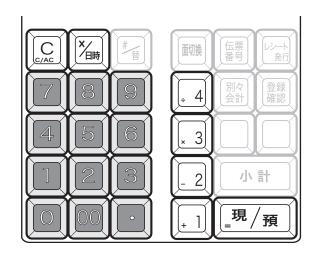


- ※件数や金額が0の担当者は印字をスキップします。
- ※月間日別集計は、日計でも「前回精算日付」を常に 印字します。

電卓機能の使い方



モードスイッチの位置を「電卓」にすると、下図のキーで電卓と同様に計算できます。そのほかにも便 利な機能があります。ご活用ください。



6	6	14	22
[5	13	21
2	1	12	20
3	3	11	19
	2	10	18
		9	17

▲注意 10 桁(負数のときは9桁)を超えるとエラーになります。

・計算命令キーは、上記のほか 🦳 が減算に、🚈 が乗算に使用できます。

・可寿叩って で、<u>エルマンス</u> ・電卓モード中は、^{#/歯} を押すとドロアーが開きます。

税抜き金額・税額を計算する

クレジット /決定

1,500円の税抜き金額と内税額は?(「税1テーブル」が税率8%、内税、端数四捨五入の場合)

手順 表示例

1 モードスイッチの位置を「電卓」にします。

1 5 0 0 かり /決定

(続けて)

1389.

税抜き金額

111

内税額

230円、780円のそれぞれの内税額の合計は?(「税1テーブル」が税率8%、内税、端数四捨五入の場合)

手順表示例

▼ モードスイッチの位置を「電卓」にします。

2 3 0 クレジット クレジット /決定 + 1

7 8 0 グレジット クレジット 現/預

17

内税額

75.

税額合計

A注意 税計算は、「税 1 テーブル」に設定されている税率、計算方式、端数処理方法が使用されます。設定内容によって、求められる答は異なります。

電卓機能の使い方



%-- %+ を使って計算する

%+**|**%-

※+ ※− を使うと下表の計算が簡単にできます。

	演算内容	キー操作	数式
割合計算	a円のb%を求める	a × 3 b %-	a*b/100
割増計算	a円のb%増しを求める	a × 3 b %-+ 1	a + (a*b/100)
割引計算	a円のb%引きを求める	a × 3 b %	a - (a*b/100)
比率計算	a円はb円の何%かを求める	a 🔄 4 b %-	a/b*100
増減比率計算	b円から a 円に変化したときの b円に対する変化率を求める	a — b %—	(a - b)/b*100
売価設定計算	原価 a 円の商品を利益率 b %で 販売するときの売価を求める	a + 1 b %-	a/(1 - b/100)

呼び出し機能を使って計算する



操作例

以下の商品の売上合計を 4 人で割り勘にする

- ・部門 1 で単価 930 円の商品を 4 個お買い上げ
- ・部門 2 で単価 1,240 円の商品を 1 個お買い上げ

手順 表示例

- **1** モードスイッチの位置を「登録」にします。商品を登録します。
 - 4 % 9 3 0 + 1

3,720

1240-2

1240

2 小計 を押します。

小計

4960 合計金額

3 モードスイッチの位置を「電卓」にします。 (全) を押すと、 手順 2 の小計の値を呼び出します。

入金

4960 呼

呼び出された合計金額

4割り勘の計算をします。

÷ 4 4 ^現/預

1240.

1人当たり割り勘額

5 モードスイッチの位置を「登録」にします。商品を登録します。小計を押すと、元の状態(手順 2)に戻ります。

小計

4960

合計金額

電卓機能の使い方



A注意

- ・電卓時に呼び出せる数値は、最終登録時の合計金額 (小計 を押したときに表示される数値)です。また、登録中に呼び出せる数値は、電卓時の最終の答 (「イコール」で求められた数値)です。
- ・小数点以下がある「電卓」時の答を「登録」中に持ってくると、小数点以下が切り捨てられます。また、マイナスや "O" の答を持ってくるとエラーになります。

消費税改定による新単価を計算する

消費税が改定される際は、事前に商品の単価を見直す必要があります。 「税込み商品(内税)の単価が、税率改定によっていくらになるか?」 今まで説明したキー操作を組み合わせることで簡単に求めることができます。

操作例

現在、税込1万円(内税8%)の商品が、税率10%になるといくらになるか。

手順	表示例

1 モードスイッチの位置を「電卓」にします。

クレジット /決定

× 3 1 0 %-

+ 1

10000.

9259

「10000」の税抜き価格 (税率8%)

925.9

「9259」の10%分

10 1849

新税率(10%)での税込価格

時刻および日付の設定

モードスイッチの位置

時刻を設定する

操作例

午後1時05分にセットする

手順

表示例

- 1 モードスイッチの位置を「設定」にします。
- 2 設定する時刻(時、分)を入力して 🕍 を押します。

1 3 0 5 % 時

3 [MC] を押します。

 $[_{C/AC}\mathbf{C}]$



- ·時刻は 24 時間制で入力します。(00 ~ 23)
- ・時と分は必ず 2 桁ずつ入力します。(0~9→00~09)

日付を設定する

操作例

2016年7月31日にセットする

手順

表示例

- **1** モードスイッチの位置を「設定」にします。
- 2 設定する日付(年、月、日)を入力して 💯 を押します。

【1【6【0【7【3【1【※治験】

3 (ACC) を押します。

(C/AC C



2016年07月31日

13-05



- ・年は西暦年の下2桁を入力します。(2016 → 16)
- ・月と日は必ず 2 桁ずつ入力します。(1~9→01~09)
- ・日付を和暦にすることもできます。(68ページ)このとき、日付の入力も和暦年となります。

商品単価の設定



商品単価を部門キーとフラット PLU キーに設定する

操作例

部門キーやフラット PLU キーに下記の単価をそれぞれ設定する

部門	単価	フラット PLU	単価
部門 1 + 1	¥100	フラット PLU1	¥210
部門2-2	¥220	フラット PLU2	¥220
部門 4 ÷ 4	¥1,100		

手順

1 モードスイッチの位置を「設定」にします。

2 単価を入力して設定したい部門キーを押します。

100+1220-21100+4

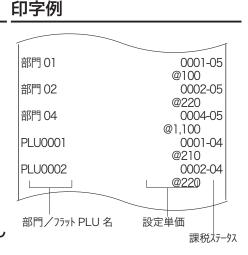
3 設定する単価を入力し、フラット PLU キーを押します。

21012202

4 小計を押して設定を終了します。

小計

単価は最大6桁(999,999円)まで設定できます。単価設定した場合の登録の操作例は、36ページを参照してください。



商品単価を PLU(スキャニング PLU)に設定する

操作例

PLU に下記の単価をそれぞれ設定する

PLU 番号	単価	リンク部門	スキャニング PLU	単価	リンク部門
PLU 番号 111	¥780	部門 1	スキャニング	¥123	部門2
PLU 番号 112	¥880	変更無し	スキャニング	¥456	変更無し
PI I I 悉号 200	¥550	郊門 2			

手順

↑ モードスイッチの位置を「設定」にします。

2 設定する PLU コードを指定し、設定する単価を入力後、リンク部門を変更する場合はリンク部門キーを押して 『帰るを押します。

1 1 1 PLU 7 8 0 + 1 現/預 8 8 0 環/預

200PLU 5 5 0 - 2 ^現預

3 スキャニングで PLU を指定後、設定する単価を入力して、リンク部門を変更する場合はリンク部門キーを押して 圏域 を押します。

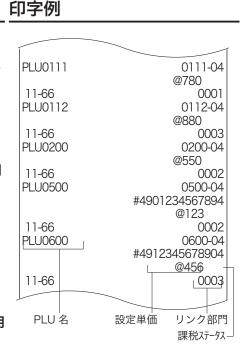
(スキャニング) 123 - 2 現/預

(スキャニング) 4 5 6 現/預

4 小計 を押して設定を終了します。

小計

単価は最大 6 桁 (999,999 円) まで設定できます。 PLU を使用 した登録の操作例は 38、39 ページを参照してください。



モードスイッチの位置

0028-02

0027-02

@50 0004-02

@500

5% *

各種レート、丸めの設定

割引き率、ドルレート等をそれぞれのキーに設定する

操作例

割引き率と値引き金額、参の金額、通貨変換(歩)をそれぞれ設定する

設定キー	設定内容	
%-	割引き率5%	
	値引き金額 ¥50	
券	商品券の金額 ¥500 1 ドルの金額 ¥112.54	
\$		

▲注意 キーボードに ∞−、 ⑤ ⑤ を設定する必要があります。

割引き率 -

値引き金額

券キー設定額

<u> % – </u>

手順 印字例

1 モードスイッチの位置を「設定」にします。

2 以下の操作をします。

5 %-

50 —

500分

112.54

3 小計 を押して設定を終了します。



- ・率は 0.01%~ 99.99%まで設定できます。小数の入力には **●** を使用します。割引き率や値引き金額を設定した操作例は 47 ページを参照してください。
- ・・参には、お店で一番多く使用される「商品券」の額面を設定しておきます。参に金額を設定した操作例は、50ページを参照してください。

5円丸めまたは 10円丸めを設定する

5円丸めまたは10円丸めを設定できます。

操作例

「10円丸め」を設定する

手順 印字例

1 モードスイッチの位置を「設定」にします。

2 以下の操作をします。

1 0 発行

3 小計 を押して設定を終了します。

・丸め金額を "10" にすると「10 円丸め」になり、"5" を入れると「5円丸め」になります。 ・丸め金額を "0" にすると丸めは行なわれません。ご購入時の設定は "0" です。



領収書とレシートの設定



但し書き、年号、メッセージ印字などを設定する

操作例

領収書の但し書き部に「お品代」を常に印字する

手順 印字例

1 モードスイッチの位置を「設定」にします。

2 以下の操作をします。

10100小計 ガイドが表示されますので、ガイドに従って操作します

○ 現/預 西暦を使用するか、和暦を使用するかを決定します。西暦 = 0、和暦 = 1

○ 現/預 領収書のタイトルを領収書とするか領収証とするかを決定します。領収書 = 0、領収証 = 1

1 $\frac{1}{2}$ $\frac{1}{2}$

○ 現/預 /非課税シンボル「非」を印字するか否かを決定します。印字する = 0、印字しない = 1

年号指定 西暦 い-ト時刻印字 印字 領収書 領収書キャラクター 領収書但し書き お品代 沙小印字 通常印字 圧縮印字 ジャー加印字 非課税シンボル 印字 非課税合計 印字 レシートコマーシャルメッセージ 非印字 レシートボートムメッセージ 非印字

レシートの背景を印字する

お買上レシートに "Thank you" の薄い文字を背景として印字できます。

手順印字例

1 モードスイッチの位置を「設定」にします。

2 以下の操作をします。

10200小計 背景印字の見本を印字します。印字の場合 1、印字しない場合 0を入力します

1 現/預



領収書の背景を印字する

領収書に格子模様を背景として印字できます。

1 モードスイッチの位置を「設定」にします。

2 以下の操作をします。1 0 3 0 0 小計

(背景印字の見本を印字します。印字の場合 1、印字しない場合 0を入力します

見見 現/預



レシートの背景印字、領収書の背景印字の有無を選びます。"O"を指定すると背景印字しません。ご購 **1 入時の設定は"O"です。

課税方式(内税/外税/複数税率/非課税)の設定



ここでは、各キーを内税、外税、複数税率、非課税に設定する方法を説明します。

すべての商品を非課税扱いとする

すべての商品を「非課税扱い」とするお店は、部門キー、いくつかの PLU および 一、%- に「非課税」を設定します。

手順

印字例

- **1** モードスイッチの位置を「設定」にします。
- 2 設定1モードにします。

1 小計

- **3** #/樹 を押します。 #/樹
- **4** 非課税にする部門、 ___、 %-_ を押します。

 $(+1)(-2)(\times 3)(\div 4) \cdot (-)(\%-)$

5 小計 を押します。

小計

PLU をご使用の場合は、続けて次の操作も行ないます。

6 #/* を押します。

#/替

7 非課税にする最初の PLU のコードを入力して、本数分の PLU を 押します。

1 PLU PLU PLU PLU ~ PLU PLU

8 小計を押して設定を終了します。

小計

フラット PLU キーには以下の手順で設定します。

9 #/* を押します。

[#/替]

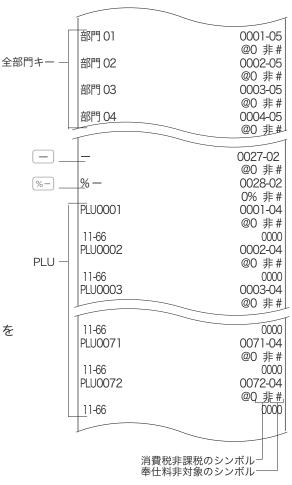
10 非課税にするフラット PLU キーを押します。

 $\begin{bmatrix} 1 \end{bmatrix} \begin{bmatrix} 2 \end{bmatrix} \begin{bmatrix} 3 \end{bmatrix} \sim \begin{bmatrix} 72 \end{bmatrix}$

11 小計 を押して設定を終了します。

小計

・「すべての商品を税 1 内税」を設定するには、手順 3、6 の #/* の代わりに 🔎 を押します。 🕆 ボーント・「すべての商品を税 1 外税」を設定するには、手順 3、6 の #/* の代わりに 🕮 を押します。



課税方式(内税/外税/複数税率/非課税)の設定



課税方式の設定

ご購入時の状態から税1外税、非課税、税1内税を下記のように設定する

操作例

課税方式(使用するキー)	設定するキーおよび PLU	
税1外税(四金)	× 3	
非課税 (#/#)	÷ 4、 −、 PLU65 ~ 72	
税1内税(②金)	残りの部門、PLU、‰-	

手順 印字例

┚ モードスイッチの位置を「設定」にします。

2 設定1モードにします。

1 小計

出金を押します。

出金

4 税1外税にする部門キーを押します。

× 3

#/樹 を押します。

#/替

非課税にする部門キー、 — を押します。また PLU を指定します。

÷ 4 | -

6 5 PLU PLU PLU PLU PLU PLU PLU PLU PLU

PLU を8回押します。

7 小計 を押して設定を終了します。

小計

フラット PLU キーを使って **5、6** の代わりに、以下の手順で設定する ことも可能です。

8 #/* を押します。

#/替

9 非課税にするフラット PLU キーを押します。

(65)(66)(67)·····(72)

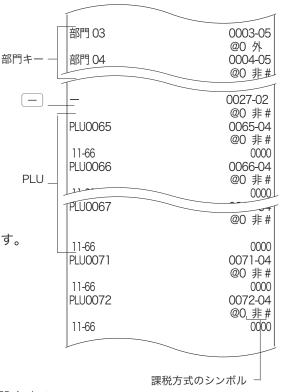
10 小計を押して設定を終了します。

小計

・税 1 内税を設定するには、手順 3 の 🕮 の代わりに 🔎 を押します。

してください。

- ・税 2 内税を設定するには、手順 3 の 🕮 の代わりに 🍵 または 🎇 を押します。
- ・税 2 外税を設定するには、手順 3 の 🕮 の代わりに 🚟 を押します。



モードスイッチの位置

消費税率の設定

課税方式の一括設定

すべての商品の課税方式を一括で変更します。

手順

- 1 モードスイッチの位置を「設定」にします。
- 2 設定コードを入力して 小計 を押します。

11300小計

- 3 設定する課税方式の番号を押します。
 - 税1内税を設定するときは…0
 - 税 1 外税を設定するときは…1
 - 税2内税を設定するときは…2
 - 税2外税を設定するときは…3
- 4 関係を押します。

現/預

消費税率の設定

ご購入時、税率は一律8%に設定されています。

将来の複数税率に対応するため、「税1」と「税2」の2種類の税率が設定可能です。通常設定では「税1」のみを使用します。複数税率については、「複数税率への対応」(77ページ)を参照してください。

現在の税率を確認する

「現行税率の設定確認」(124 ページ)を参照してください。

すぐに税率を変更する

手順

- 1 モードスイッチの位置を「設定」にします。
- 2 設定コードを入力して 小計 を押します。

1 1 2 0 0 小計

- **3**「税 1」の税率(A)を入力して 💹 を押します。(Aを入力せずに 💹 だけを押すと、既存の設定のままです。) A 現/酒
- **4** 「税2」の税率(B)を入力して $\mathbb{F}_{\overline{\mathbb{R}}}$ を押します。(「税2」を変更しないときは、 小計 を押します。) \mathbf{B} $\mathbb{E}_{\overline{\mathbb{R}}/\overline{\mathbb{R}}}$

税 1	内税	税率(A)
	外税	
税2	内税	· 税率(B)
	外税	

「税 1 内税」と「税 1 外税」を 10%にしたいときは、A 💯 を 🚺 🖸 💯 と入力します。「税 2 内税」と「税 2 外税」を 8 %にしたいときは、B 💯 を 🛭 💯 と入力します。

消費税率の設定



税率改定の予約機能を設定する

税率改定当日に、自動で新しい税率に変更するよう事前に予約できます。この機能を使うと、設定日の 午前0時以降モードスイッチをいったん OFF にすると、設定された税率に変更します。

手順

- **1** モードスイッチの位置を「設定」にします。
- 2 設定コードを入力して 小計 を押します。

11100小計

YYMMDD [現/預]

- **4**「税 1」の税率(A)を入力して 💹 を押します。(Aを入力せずに 💹 だけを押すと、既存の設定のままです。) A 🗒/預
- $oldsymbol{5}$ 「税2」の税率(B)を入力して $\mathbb{F}_{\mathbb{R}}$ を押します。(「税2」を変更しないときは、 $\mathbb{F}_{\mathbb{R}}$ を押します。) \mathbf{B} $\mathbb{F}_{\mathbb{R}}$

▲注意 変更日になっても税率が変更されないときは、レジスターの電源を一度 OFF にして再度 ON にしてく ださい。

税率改定の予約機能を無効にする

上記「税率改定の予約機能を設定する」で設定した内容を無効にします。

手順

- 1 モードスイッチの位置を「設定」にします。
- **2** 設定コードを入力して 小計 を押します。

1 1 1 0 0 小計

3 改定年月日をクリア (○) して 場 を押します。

0 現/預

モードスイッチの位置

消費税率の設定

複数税率への対応

「一般の消費税率」と「軽減税率(食料品の税率を小さくするなど)」2種類の税率が併用されることを、「複数税率」と呼びます。本機では複数税率に対応するため、「税1」と「税2」の2種類の税率を設定できます。(通常の設定では「税1」のみ使用します。)

「税 1」の外税ははじめに \square 。 内税は \square を押したあと、該当する部門、キー、PLU を設定します。 「税 2」の外税ははじめに \square 。 内税は \square (または \square)を押したあと、該当する部門、キー、PLU を設定します。

設定の詳細は、「課税方式(内税/外税/複数税率/非課税)の設定」(70ページ)を参照してください。

		設定時に押すキー
税1	内税	(CAL)
	外税	出金
税2	内税	クンシット または 貸
	外税	<u>第7 正</u> 中止

課税方式の予約機能を設定する

税率改定当日に、自動で商品の課税方式を変更するよう事前に予約できます。予約項目設定とセットで設定します。

操作例

部門3を「税1内税」から「税2内税」、部門4を「税1内税」から「税2外税」に変更するよう予約する 手順

- **1** モードスイッチの位置を「設定」にします。
- 2 設定コードを入力して 小計 を押します。

1 1 7 0 0 小計

^{[クレシット} または〔貸〕(× 3)

設定する課税方式のキー 🏭 を押して、部門 4 🗐 4 を押します。

訂正 ÷ 4

5 小計 を押して設定を終了します。

小計

		設定時に押すキー
税1	内税	(cAL 金
	外税	出金
税2	内税	クレシット または 貸
	外税	<u>新正</u> 中止
非課税		非課税

- 実行するときは「税予約項目の設定」(75ページ)で課税方式の予約を有効にしてください。本設定と セットで設定が必要です。
- ※ 1 すでに課税方式の予約機能を設定していた場合は、以前設定した状態から変更する設定となります。その場合は、初期状態からではなく 1 圏 を押して以前設定した状態から変更するを選択してください。

消費税率の設定



単価の予約機能を設定する

税率改定当日に、自動で商品の単価を変更するよう事前に予約できます。予約項目設定とセットで設定します。

操作例

部門に下記の単価の予約を設定する

部門	単価
部門2	810

手順

- **1** モードスイッチの位置を「設定」にします。
- **2** 設定コードを入力して 小計 を押します。 1 1 8 0 0 小計
- **3** 初期状態(すべて単価 0 円)の設定から変更するか、現在設定されている単価から変更するか選択します。 初期状態(すべて単価 0 円)の設定から変更する… ○ 型類 現在設定されている単価の設定から変更する … 1 型類 ※ 1
- 4 設定する単価を入力して、部門222を押します。

8 1 0 - 2

5 小計 を押して設定を終了します。

小計

- 実行するときは「税予約項目の設定」(73ページ)で単価の予約を有効にしてください。本設定とセットで設定が必要です。
- ※1 すでに課税方式の予約機能を設定していた場合は、以前設定した状態から変更する設定となります。その場合は、初期状態からではなく を押して以前設定した状態から変更するを選択してください。

モードスイッチの位置

消費税率の設定

税予約項目の設定

設定した税予約機能を実行するよう設定します。単価と課税方式の予約を有効にするには、ここで設定 を変更します。

操作例

税率改定の予約と課税方式の予約を実行するに設定する

項目	設定内容
税率改定の予約	変更する
単価の予約	変更しない
課税方式の予約	変更する

手順

1 モードスイッチの位置を「設定」にします。

2 設定コードを入力して 小計 を押します。

1 1 9 0 0 小計

3 設定する項目の番号を押します。

税率改定のみ… 0 税率改定と単価… 1 税率改定と課税方式… 2 税率改定と単価と課税方式… 3

4 型物 を押して設定を終了します。 現/預

ご購入時の設定は以下です。

項目	設定内容
税率改定の予約	変更する
単価の予約	変更しない
課税方式の予約	変更しない

·��_{ポイント} 税率改定の予約機能、課税方式の予約機能、単価の予約機能とセットで設定してください。

消費税率の設定



税額の円未満の端数処理方法を設定する

操作例

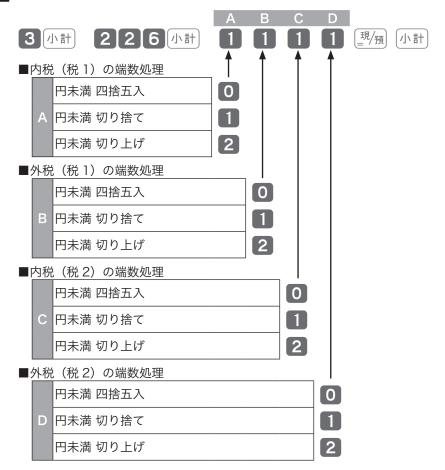
消費税額の円未満の端数を「切捨て」とする

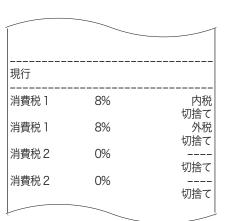
手順

_ 印字例

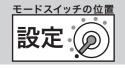
1 モードスイッチの位置を「設定」にします。

2 以下の操作をします。





ディント ご購入時の設定は"0000"です。(すべて四捨五入)



本機は、数字や記号だけでなく、漢字やカナを含む文字をきれいな活字(JIS 第一・第二水準の文字)で印字・表示できます。あらかじめ部門キーや PLU に個々の商品名を設定して、レシートの印字や本体表示窓の内容をわかりやすくしたり、お店からお客様へ向けたメッセージをレシートに印字できます。必要に応じて設定してください。

文字の入力には2つの方法があります。

- ①レジに組み込まれている「商品名リスト」「メッセージリスト」から、使用する文字を選択してコードを指定します。(78 ~ 90 ページ)
- ②1文字ずつ入力して、かな・カナ・漢字・英字・記号に変換します。(携帯電話の文字入力に似た操作です。)(82ページ~)
- ※①で選択した文字列を、②の方法で一部を書き換えることもできます。

デポイント

- ・商品名リストにある商品名が設定できるのは部門および PLU です。また、メッセージリストから設定できるのはレシートメッセージ(ボトムメッセージ)です。リストにない商品名やメッセージを設定される場合や、取引キー、担当者などの名称の設定は後に述べる 1 文字ずつ手入力して漢字変換する方式で設定してください。
- ・電子店名スタンプが届く前にレシートに店舗名や所在地を印字する場合も同様です。商品名リストやメッセージリストにあるものを一部変更して設定したい場合は、リストを用いて設定した後で、不要の文字を1文字ずつ消去し、必要な文字を1文字ずつ入力してください。

「商品名リスト」から商品名を 選択して部門キーに設定する

「商品名リスト」は次ページを参照してください。

操作例

部門 01 (1-1) に『初・再診料』、部門 02 (1-2) に『医学管理等』と設定する

手順

┦ モードスイッチの位置を「設定」にします。

2 以下の操作をします。

2 小計

1 (「初・再診料」のコードは商品リストから 1)

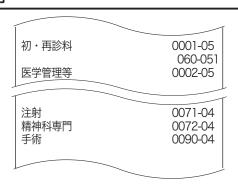
(× 3)

3 (「医学管理等」のコードは商品リストから3)

6

小計 (設定終了)

印字例



PLU の商品名をリストから 選択して設定する

「商品名リスト」は次ページを参照してください。

操作例

PLU 番号 71 に「注射」、PLU 番号 72 に「精神 科専門」、PLU 番号 90 に「手術」と設定する

手順

┦ モードスイッチの位置を「設定」にします。

2 以下の操作をします。

2 小計

7 1 PLU (PLU71 を指定します)

8 (「注射」のコードは商品リストから8)

[現/預] (指定したキャラクタを設定します)

| 現/預| (続いて次のメモリに設定します)

#/替 1 0 (「精神科専門」のコードは商品リストから 10)

現/預

9 0 PLU (PLU90 を指定します)

#/替 1 2 (「手術」 のコードは商品リストから 12)

現/預

小計 (設定終了)



商品名リスト

業種	商品名	コード	業種	商品名	コード	業種	商品名	コード
	初・再診料	001		酔い止め	052		飲料	103
	入院料等	002		整腸剤	053		お米	104
	医学管理等	003		生薬	054		お惣菜	105
	在宅医療	004		虫さされ	055		おにぎり	106
	検査	005	薬局/	内服薬	056		加工食品	107
	画像診断	006	薬店	皮膚治療薬	057		菓子	108
	投薬	007		鼻炎薬	058		菓子パン	109
	注射	008		婦人薬	059		果物	110
	リハヒ゛リテーション	009		目薬	060		香辛料	111
	精神科専門	010		薬剤	061		サンドイッチ	112
	処置	011		アイスクリーム	062		嗜好品	113
	手術	012		アルコール	063		ジュース類	114
	麻酔	013		一品料理	064		食パン	115
	放射線治療	014		ウィスキー	065		食料品	116
	食事療法	015		お酒	066		寿司	117
医院/	歯冠修復等	016		お食事	067		スナック菓子	118
歯科医院	歯科矯正	017		おつまみ	068	会 业口	生鮮	119
	調剤技術料	018		お通し	069	食料品	精肉	120
	薬学管理料	019		お飲み物	070		鮮魚	121
	薬剤料	020		お持ち帰り	071		その他	122
	特保医療材料	021		カクテル	072		中華	123
	選定療養等	022		喫茶	073		調味料	124
	療養担当手当	023		ケーキ	074		調理パン	125
	その他	024		コーヒー	075		乳製品	126
	処方せん	025		サワー	076		パン	127
	保険給付外	026		ジュース	077		ファーストフート゛	128
	保険給付内	027		セット	078		ベーカリー	129
	自費	028		セットメニュー	079		弁当類	130
	文書料	029	喫茶/	ソフトクリーム	080		麺類	131
	証明書	030	軽食	ソフトト゛リンク	081		野菜	132
	未収金	031	牲及	テイクアウト	082		洋菓子	133
	容器代	032		定食	083		冷凍食品	134
	アレルギー薬	033		ディナー	084		レトルト食品	135
	かぜ薬	034		デザート	085		和菓子	136
	ケア用品	035		トースト	086		アクセサリー	137
	せき止め	036		トッピング	087		衣料品	138
	ドリンク剤	037		ドリンク	088		衣類	139
	歯ブラシ	038		生ビール	089		傘	140
	ベビー用品	039		日本酒	090		靴	141
	胃腸薬	040		ノンアルコール	091		子供服	142
薬局/	医薬品	041		発泡酒	092	服飾	紳士服	143
薬店	医療用品	042		ビール	093		装飾品	144
朱冶	衛生用品	043		フード	094		履物	145
	介護用品	044		ブランデー	095		バッグ	146
	解熱鎮痛剤	045		モーニング	096		婦人服	147
	外傷薬	046		洋食セット	097		ベビー服	148
	外用薬	047		ランチ	098		帽子	149
	漢方薬	048		ワイン	099		アクセサリー	150
	関節・筋肉痛	049		和食セット	100	雑貨	小物	151
	湿布薬	050	食料品	アイス	101	作只	雑貨	152
	小児用薬	051	X TETTER	インスタント食品	102		生花	153

梱包用品

作業用品

203

204



業種	商品名	コード	業種	商品名	コード	業種	商品名	コード
	箱代	154	八庄	写真	205	八正	クリーニング	256
雑貨	輸入雑貨	155			206		現像料	257
	オプション	156		寝具	207		限定品	258
	家電製品	157		スポーツ用品	208		工事	259
	携带電話	158		タバコ	209		 工賃	260
	サプライ	159		釣り用品	210		サービス料	261
	情報機器	160		デ [*] コレーション	211		材料費	262
	消耗品	161		時計	212		修理	263
	設定料	162		塗料	213		受講料	264
家電	テープ	163		日用品	214		小人	265
	電球・蛍光灯	164		農業用品	215		商品券	266
	電池	165		農薬	216		処分料	267
	電池交換	166	その他/	バラエティ	217		進物	268
	配線	167	物販	肥料	218		セール	269
	別売品	168		物品販売	219			270
	メディア	169		部品	220		送料	271
	CD	170		ペット	221		中古品	272
	DVD	171		ペット用品	222		中人	273
	アルバム	172		防災用品	223		注文品	274
	ゲーム	173		メガネ	224	その他	調整料	275
	コミック	174		木材	225		デ ジ カメプ リント	276
	雑誌	175		輸入家具	226		手数料	277
	参考書	176		ラッピング代	227		手付金	278
+ 体 /	事務用品	177		旅行用品	228		電話代	279
書籍/	趣味・娯楽	178		レンタル用品	229		登録料	280
文具	書籍	179		カット	230		特注品	281
/ AV	新書	180		カラー	231		塗装	282
	新聞	181			232		特価品	283
	専門誌	182		シャンプー	233		取付料	284
	図書カード	183		スキンケア	234		入園料	285
	ビデオ	184		セット	235		入場料	286
	文具	185	理容/	トリートメント	236		引取料	287
	文芸	186		トリミング	237		フィルム	288
	文庫	187	美容	パーマ	238		プ リヘ゜イト゛カート゛	289
	DIY用品	188		フェイス	239		容器代	290
	アウトト・ア用品	189		ブロー	240		リサイクル費用	291
	園芸	190		ヘアカラー	241		レンタル料	292
	園芸用品	191		ベビー	242		割増	293
	カー用品	192		ボディ	243		焼き増し	294
	家具	193		メイク	244		前金	295
	楽器	194		DPE	245		土産品	296
スの少し	家庭田品	195		一式	246		利用料	297
その他/	金物	196		一般	247		その他	298
物品販売	玩具	197		印刷	248	ご購入時	PLU	299
	キッチン用品	198		延長	249	の設定*	部門	300
	ギフト券	199	その他	大人	250	*:PLU	」 」や部門の後に番号に	 は付かない
	 キャラクタ−商品	200		お直し	251			
	工具	201		カード	252			
	コンタクト	202		技術料	253			
		000	1 1	1				

254

255

キャンセル料

クーポン



¥3,000

¥13,794

コード

「メッセージリスト」からメッセージを選択してレシートに印字す

合計金額の一部を現金や商品券で分けて支払うことができます。現金、商品券と信用売りの組み合わせ が可能です。

操作例

ボトムメッセージ1行目に「またのご来店を」、2行目に「お待ちしております」と設定する

手順 印字例

モードスイッチの位置を「設定」にします。

以下の操作をします。

2 小計

1 3 3 2 小計 (ボトムメッセージ1行目の種別コードを指定します)

(「またのご来店を」のコードはメッセージリストから2)

現/預 (指定したキャラクタを設定します)

(続いて次のメモリに設定します)

|#/替||4 「お待ちしております」 のコードはメッセージリストから 4)

小計 (設定終了)

・メッセージが設定されていない行は空白行になります(空白で ではなります(空白で 行送りされます)。

・設定したメッセージを印字するには設定の変更が必要です。(99 ページ)

お預り ¥15,000 お釣 ¥1,206 * * ボ * * ボ トム 2 行 目 * 種別コード:1532 -* * * ボ トム 行 目 * * ボ + トム 目 行 * *種別コード: 1732 +* * * ボ 種別コード: 1832 +* * * ボ トム 5 行 トム 6 行目

0013-32

0014-32

1小計

非課税合計

合 計

またのご来店を

お待ちしております

種別コード:1632 -

メッセージ内容	コード	メッセージ内容	コード	メッセージ内容
またのお越しを	001	保管して下さい	021	新規会員募集中!
またのご来店を	002	開封後の返品・交換は	022	メール会員募集中!
またのご利用を	003	お受けできません	023	お早めにお召上がり下
お待ちしております	004	返品はレシートを添えて	024	各種宴会ご予約承りま
お買い上げいただき	005	お持ちください	025	完全予約制
ご来店いただき	006	返品・交換はできません	026	着付けご予約承りま
毎度ご来店いただき	007	受付時間のご案内	027	記念写真ご予約受付
ありがとうございました	800	営業時間のご案内	028	ケーキ予約受付中
毎度ありがとうございます	009	診療時間のご案内	029	ご予約承ります
有難うございます	010	今月は休まず営業します	030	配達承ります
お買い上げの商品価格には	011	年中無休	031	お問合せはサービスカウンター
消費税等を含みます	012	ポイントは次回のお買い物に	032	定期点検を忘れずに
レシートは税込み価格で	013	ご使用ください	033	お大事にどうぞ
表示しております	014	キャンペーン実施中!	034	どうぞお大事に
レシートの再発行はできません	015	クリアランスセール実施中!	035	月初めは保険証を
レシートの再発行は	016	決算セール実施中!	036	ご呈示下さい
致しかねます	017	ご紹介キャンペーン実施中!	037	お薬は用法用量を
レシートは大切に保管ください	018	サービスデー実施中!	038	守ってご使用くださ
印刷面を内側に折って	019	バーゲンセール実施中!	039	携帯電話からアクセスでき
レシートは大切に	020	カード会員募集中!	040	(空白)

/ グラビークド3台	
新規会員募集中!	041
メール会員募集中!	042
お早めにお召上がり下さい	043
各種宴会ご予約承ります	044
完全予約制	045
着付けご予約承ります	046
記念写真ご予約受付中	047
ケーキ予約受付中	048
ご予約承ります	049
配達承ります	050
お問合せはサービスカウンターまで	051
定期点検を忘れずに	052
お大事にどうぞ	053
どうぞお大事に	054
月初めは保険証を	055
ご呈示下さい	056
お薬は用法用量を	057
守ってご使用ください	058
携帯電話からアクセスできます	059
(空白)	060
(空白)	060

モードスイッチの位置

商品名やメッセージの設定



1 文字ずつ入力し、かな・カナ・漢字・英字・記号に変換して設定する方法を説明します。

文字入力の方法

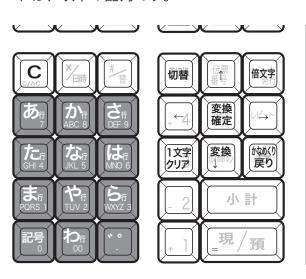
携帯電話の文字入力に似た、「かなめくり方式」で入力します。入力した文字の種類(ひらがな・カタカナ・英文字・数字)などを < 切替 > キーで切り替え、50 音などに基づいた文字を置数キーで入力します。 ひらがなで入力した文字は、続けて < ↑ > キー、 < 変換 > キーを押して、単漢字または単語ごとのかな漢字変換ができます。(内蔵のかな漢字変換辞書の登録語数に制限があるため、ご希望の漢字変換がで

漢字変換ができます。(内蔵のかな漢字変換辞書の登録語数に制限があるため、ご希望の漢字変換ができない場合があります。その場合は、変換したい漢字の読み(音読み/訓読み)を変えて入力し、変換してください。)

注意:内蔵するかな漢字変換辞書の登録語数に制限があるため、お客様の希望する漢字への変換ができない場合があります。そのときは、入力したい漢字の読み(音読み・訓読み)を変えて入力し、変換してください。

文字設定時のキーボード

文字設定時のキーボードは、以下の配列です。



1	2	3	4	5	6	7
9	10	11	12	13	14	15
15	18	15	2(2.	22	23

半角文字、全角文字、倍文字、縦倍文字について

文字の大きさには4種類あります。

半角文字(普通の登録金額の文字)、

全角文字(漢字、半角文字の倍の横幅)、

倍文字(半角文字や全角文字の横幅を倍に引き延ばしたもの)、

縦倍文字(半角文字や全角文字の高さを倍にした文字、レシートのみ可能)。

倍文字と縦倍文字を組み合わせると4倍文字になります。

なお、圧縮文字はジャーナルのみに印字できる、通常の文字の半分の高さの文字です。



各キーの機能

<切替> 文字入力モードを

全角ひらがな入力(状態表示「漢あ」)→半角がかけ入力(状態表示「かかけ」)→半角英字入力(状態表示「ABab」)→半角数字入力(状態表示「1234」)→ 全角ひらがな入力(状態表示「漢あ」)→ の順番に切り替えます。

<文字入力> それぞれの文字入力モードで、表中の文字を順に指定します。

· ~ 」 / (/)		.,, _	「(、我」の人」と順に旧たしのう。
入力モード <キー>	ひらがな・カタカナ	数字	英字
<あ行>	あいうえおあいうえお	7	7
<か行>	かきくけこ	8	ABCabc8
<さ行>	さしすせそ	9	DEFdef9
<た行>	たちつてとっ	4	GHIghi4
<な行>	なにぬねの	5	JKLjkl5
<は行>	はひふへほ	6	MNOmno 6
<ま行>	まみむめも	1	PQRSpqrs1
<や行>	やゆよやゆよ	2	TUV t u v 2
<ら行>	らりるれろ	3	WXYZwx y z 3
<わ行>	わをん		
<記号>	、。ー・!? (スペース)	0	.@- /:!?()*#+,^;<=>\$\f\&[]'`{}_0
			育
<, >	» 0		.,- '!?

<倍文字> 倍文字設定する文字、または倍文字から元の大きさに戻す文字の前に入力します。

・全角ひらがなでは、全角横倍「漢」→全角「漢あ」を切り替えます。

・半角カタカナでは、全角「カナ」→全角横倍「**ノ**」→半角「カタカナ」を切り替えます。

・半角英字では、全角「Aa」→全角横倍「 🕰 」→半角「ABab」を切り替えます。

・半角数字では、全角「12」→全角横倍「 1 」→半角「1234」を切り替えます。

<↑> 入力した文字列を単漢字変換します。変換中に前候補を表示します。

<↓変換> 入力した文字列を漢字変換します。変換中は次候補を表示します。

<←> 文字設定のカーソルを一文字左に動かします。

<→> 文字設定のカーソルを一文字右に動かします。

<1 文字クリア > 入力中に入れまちがった文字や、確定した漢字 1 文字をクリアします。

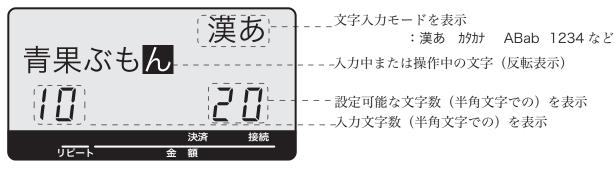
<C> すでに設定された文字など指定された文字列全体をクリアします。

<変換確定> 文字列の変換が確定したとき、またはその文字列を無変換にするときに押します。

< かなめくり戻り >かなめくり中の文字を 1 つ戻します。(あ→い→う→かなめくり戻りで「い」になる)

文字設定時の本体表示窓

文字設定時の本体表示窓は、以下の内容です。



きードスイッチの位置 設定

商品名や分類名を部門キーに設定する

操作例

部門 + 1 に『雑貨』、 2 に『食品 A』、 + 4 に『ETC』と設定する

手順印字例

1 モードスイッチの位置を「設定」にします。

2 以下の操作をします。

雑貨

食品 A ETC 060-051 0002-05 061-051 0004-05 063-051

0001-05

2 小計

+ 1

(部門 01 を指定します)

 $\left[_{\text{C/AC}}\overline{\mathbf{C}}\right]$

<文字列クリア>

(部門01に設定されていた商品名を消します)

「さ」 <さ> 「ざ」 <゛。>

「か」 <か>

< ↓変換><変換確定>

(<→変換>は「雑貨」が出るまで繰り返します)

(これで『雑貨』が部門 01 に設定されます)

(部門 02 を指定します**1)

現/預 c/AC C

現/預

<文字列クリア>

(部門02に設定されていた商品名を消します)

「し」 <さ><さ>

「ょ」 < ヤ×ヤ×ヤ×ヤ×ヤ×ヤ

「く」 <か><か><か> 「ひ」 <は><は>

「ん」〈わ〉〈わ〉〈わ〉

< → 変換 > < 変換 > < 変換確定 > (< → 変換 > は「食品」が出るまで繰り返します) < 切替 >< 切替 >< 倍文字 > (切替キーで半角英字、倍文字で全角英字にします)

「A」 <か> (英文字Aを指定します)

現/預

(これで『食品A』が部門02に設定されます)

(部用の4 をおけ) ユユ※2)

÷ 4

(部門 04 を指定します**2)

[c/AC]

(部門 04 に設定されていた商品名を消します)

(全角英字のまま、使います)

「E」 <さ><さ>

「T」 <や>

 $\lceil C \rfloor < h >< h >< h >$

<文字列クリア>

現/預

(これで『ETC』が部門 04 に設定されます)

(設定終了)

小計

(议止於)

- ・部門キーへは、半角で最大 20 文字(全角では 10 文字)が設定できます。
- ※1連続した部門の設定をする場合は、

 『沙園 を押すと次の部門に移動します。

 「小計 を押すと設定を終了します。
- ※2連続していない部門の設定をする場合は、設定する部門キーを直接押して指定します。 (小計) を押す と設定を終了します。



入力途中で文字を訂正する

操作例

部門 🛛 に『乾物』を設定する途中でまちがった文字を訂正する

手順

1 モードスイッチの位置を「設定」にします。

2 以下の操作をします。

2 小計

× 3

(部門 03 を指定します)

(直前の「の」を消します)

(正しい文字を入れ直します)

(「も」を消します)

 (c/AC C)
 < 文字列クリア >

(部門03に設定されていた商品名を消します)

「か」 <か>

「ん」 <わ><わ><わ>

[6] < \$ \times \$ \tim

「ふ」 <は><は><は>

「バ、 < "。 >

「つ」 <た><た><た>

< ↓変換 >< 変換確定 >

(< ↓変換 > は「乾物」が出るまで繰り返します) (これで「乾物」が部門 03 に設定されます)

(設定終了)

現/預

小計

84

モードスイッチの位置

0071-04

0072-04

0090-04

商品名や分類名を PLU に設定する

操作例

フラット PLU71 に半角で『カラー Y シャツ』、PLU 番号 72 に『ジーンズ』、PLU 番号 90 に『サービス品』 と設定する

手順 印字例

1 モードスイッチの位置を「設定」にします。

2 以下の操作をします。



<文字列クリア>

<切替>

<か> ΓĐι < 6 >

<記号><記号><記号>>

<切替>

「Y」 <6×6×6>

<切替><切替><切替>

<さ><さ>

Гу」 <た><た><た>



<文字列クリア>

<倍文字> 「シ」 <さ><さ>

「ジ」 <゛ >

「一」 <記号 >< 記号 >< 記号 >

「ン」 <わ><わ><わ> 「ス」 <さ×さ×さ>

「ズ」 < ゙

現/預 9 0 PLU

(これで『ジーンズ』が PLU72 に設定されます)

(PLU90 を指定します^{※2})

(PLU90 に設定されていた商品名を消します)

カラーYシャツ

ジーンズ サービス品

(フラット PLU71 に設定されていた商品名を消します)

(これで『カラ-Yシャツ』がフラット PLU71 に設定されます)

(PLU72 に設定されていた商品名を消します)

(フラット PLU71 を指定します)

(半角カタカナに切り替えます)

(半角英文字に切り替えます)

(PLU72 を指定します^{*1})

(全角カタカナに切り替えます)

(半角カタカナに切り替えます)

C/AC C

現/預

小計

<文字列クリア>

「サ」 <さ>

<記号><記号><記号>

「ヒ」 <は><は>

< ` >

<さ×さ×さ>

<変換確定×切替×切替×切替>(「サービス」を確定し、全角ひらがなに切り替えます)

「ひ」 <は><は>

「ん」 < わ >< わ >< わ >

< ↓変換 >< 変換確定 >

(「品」が出るまで繰り返します)

(これで『サービス品』が PLU90 に設定されます)

(設定終了)

- ・PLU には、半角で最大 20 文字(全角では 10 文字)が設定できます。
- ・PLU には、十円 、取八 とし へっ 、エハ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・スキャニング PLU(41 ページ参照)は PLU 番号で指定できます。スキャナで指定することもできます。
 - ※1連続した PLU の設定をする場合は、契例を押すと次の PLU に移動します。 (小計) を押すと設定を 終了します。
 - ※ 2連続していない PLU の設定をする場合は、フラット PLU キーを押す、または設定する PLU 番 号に続けて [PLU] を押して指定します。 小計 を押すと設定を終了します。
 - ・PLU キーは「キー配列を変更する」(116ページ)を参照してください。



0003-03

050-003

0001-07

取引キーの印字文字を設定する

操作例

ありますが、ありますが、またいではでは、またいでは、またいではでは、またいではでは、またいではでは、またいではでは、またいではでは、またいではでは、またいではでは、またいではではでは、またいではでは、またいではではでは、またいではでは、またいではではではでは、またいではではではでは、またいではではではではではではでは、またいではではで

手順 印字例

┚ モードスイッチの位置を「設定」にします。

2 以下の操作をします。

2 小計

券 $[_{C/AC}C]$

現/預

小計

(券売キーを指定します)

(すでに設定されている文字を消します) <文字列クリア>

「し」 <さ><さ>

「ょ」 < ヤ×ヤ×ヤ×ヤ×ヤ×ヤ

「う」 <あ><あ><あ>

「ひ」 <は><は>

「ん」 < わ >< わ >< わ >

< ↓変換 > (<↓変換>は「商品」が出るまで繰り返します)

「け」 < か >< か >< か >< か >(「商品」が確定します)

「ん」 < わ >< わ >< わ >

< ↓変換 >< 変換確定 > (< ↓変換 > は「券」が出るまで繰り返します)

(これで『商品券』が券売キーに設定されます)

商品券

(設定終了)

取引キーへは、半角で最大 12 文字(全角では 6 文字)が設定できます。名前の変更ができるのは、世/樹、 取りオープトは、十四、取ハーニス」、「ロスプログラントです。 ポイント ※十、※一、一、 ②金、 出金、 iD、 ②変数、 質、 券、 関/類 の各キーです。

レジ担当者の名前を設定する

操作例

担当者 01 の担当者名を『鈴木』にする

手順 印字例

₹ モードスイッチの位置を「設定」にします。

2 以下の操作をします。

2 小計

0 1 0 7 小計

(担当者 01 を指定します)

C/AC C <文字列クリア>

(担当者01に設定されていた担当者名を消します)

「す」 <さ×さ×さ> $\langle \rightarrow \rangle$

(同じ行なのでカーソルを右に動かします)

「す」 <さ><さ><さ>

「ず」 <゛゜

「き」

<か><か>

鈴木

(<↓変換>は「鈴木」が出るまで繰り返します) < ↓変換 >< 変換確定 > (これで『鈴木』が担当者 01 に設定されます)

現/預 小計

・担当者名は、半角で最大 12 文字(全角では 6 文字)が設定できます。 ・担ヨ有句は、十四、取ハ・2 へ。、二、2 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ お買い上げ時の担当者名と操作コードは、114ページを参照してください。



グループレポート上の商品グループの名前を設定する

操作例

グループ番号 01 に『化粧品』を、グループ番号 04 に『ヘアケア用品』を設定する

┚ モードスイッチの位置を「設定」にします。

フ 以下の操作をします。

0001-06 化粧品 ヘアケア用品 0004-06 食品 0005-06

2 小計

0 1 1 0 6 小計

(グループ番号 01 を指定します)

[C/AC C

(グループ番号 01 に設定されていたグループ名を消します) <文字列クリア>

「け」 < か >< か >< か >< か >

「し」 <さ><さ>

「ょ」 < ヤ×ヤ×ヤ×ヤ×ヤ×ヤ

「う」 <あ><あ><あ>

「ひ」 <は><は>

「ん」 < わ >< わ >< わ >

<→変換><変換確定>(<→変換>は「化粧」が出るまで繰り返します)

< ↓変換 >< 変換確定 > (< ↓変換 > は「品」が出るまで繰り返します)

(これで『化粧品』がグループ番号 01 に設定されます)

0 4 0 6 小計

(グループ番号 04 を指定します)

C/AC C

現/預

(グループ番号 04 に設定されていたグループ名を消します) <文字列クリア>

<切替> (半角カタカナに切り替えます)

<倍文字> (全角カタカナに切り替えます)

「へ」 < は >< は >< は >< は >< は >

「ア」 <あ>

「ケ」 < か >< か >< か >< か >

「ア」 <あ>

< 切替 >< 切替 >< 切替 >< 切替 >(全角ひらがなに切り替えます)

< や>< や>< や>

「う」 < あ >< あ >< あ >

「ひ」 < は >< は >

「ん」 < わ >< わ >< わ >

< → 変換 >< 変換確定 > (< → 変換 > は「用品」が出るまで繰り返します)

現/預

(これで『ヘアケア用品』がグループ番号 04 に設定されます)

小計

(設定終了)

・グループ名は、半角で最大 12 文字(全角では 6 文字)のキャラクタが設定できます。

・フルーノロは、十月 (取八 12 へ) 、エハ (13 で) で付けた数値が、グループ名キャラクタの設 ・グループ番号 "01"、"02"、"03" の番号の後に "06" を付けた数値が、グループ名キャラクタの設 定コードとなります。



レシートメッセージを設定する

レシートには以下の3種類のメッセージを印字することができます。

1. 店名ロゴ代わりに印字する「ロゴメッセージ」 最大 6 行

2. 店名ロゴの下部に印字する「コマーシャルメッセージ」 最大 6 行

3. レシートの最後に印字する「ボトムメッセージ」

最大6行

各メッセージは1行あたり半角で最大32文字(全角で16文字)が設定できます。

メッセージの設定コードは、ロゴメッセージは(0132~0632)、コマーシャルメッセージは(0732~1232)、ボトムメッセージは(1332~1832)、軽減税率メッセージは(8432)です。

操作例

ロゴメッセージに右記、コマーシャルメッセージに『朝市を開催します』 のメッセージを設定する 毎度ありがとうございます カシオ商店

手順

1 モードスイッチの位置を「設定」にします。

2 以下の操作をします。

印字例

0001-32 毎度ありがとうございます 0002-32

2 小計 0 1 3 2 小計 c/AC C

<文字列クリア>

(ロゴメッセージ1行目を指定します) (設定されていたメッセージを消します)

「ま」〈ま〉

「い」 <あ><あ>

「ど」 < "。> < ↓変換>

(< ↓変換 > は「毎度」が出るまで繰り返します)

(「毎度」が確定します)

「あ」 <あ>

「か」 <か>

「が」 < "。>

「う」 <あ >< あ >< あ ><

「こ」 <か><か><か><か>

「ご」 < "。>

「さ」 <さ>

「ざ」 < "。>

「い」 <あ><あ>

「ま」 <ま>

「す」 <さ×さ×さ>

[現/預][現/預]

(1 行目を確定し、続いてロゴメッセージ 2 行目を指定します**1)

C/AC C

<文字列クリア>

<切替><倍文字><倍文字>

 $< \rightarrow >< \rightarrow >$

(設定されていたメッセージを消します)

(全角倍角カタカナに切り替えます)

(文字を行の中心へ寄せるため入力開始位置 を半角2文字分右へ移動します)

「力」 <か>

「シ」 <さ><さ>

「オ」 <あ><あ><あ><あ><

<切替><切替><切替><好替>>

「し」 <さ><さ>

「ょ」〈ヤ×ヤ×ヤ×ヤ×ヤ×ヤ

(全角倍角ひらがなに切り替えます)



「う」 < あ >< あ >< あ > 「て」 < た >< た >< た >< た > 「ん」 < わ >< わ >< わ > < ↓変換 >< 変換確定 >

現/預

(< ↓変換 > は「商店」が出るまで繰り返し ます)

(これで『カシオ商店』がロゴ2行目に設定 されます)

(コマーシャルメッセージ 1 行目を指定します)

(設定されていたメッセージを消します)

(< ↓変換 > は「朝市」が出るまで繰り返し

(全角ひらがなに切り替えます)

(「朝市を」が確定します)

0 7 3 2 小計

C/AC C

<文字列クリア>

<倍文字>

「あ」 <あ>

「さ」 <さ>

「い」 <あ><あ>

「ち」 <た><た>

「を」 <わ><わ> < ↓変換 >

「か」 <か>

「い」 <あ><あ>

「さ」 <さ>

「い」 <あ><あ>

「し」 <さ><さ>

「ま」 <ま>

「す」 < さ >< さ >< さ > < ↓変換 >< 変換確定 >

(<↓変換>は「開催」が出るまで繰り返し ます)

(これで『朝市を開催します』がコマーシャル 1 行目に設定されます)

(設定終了)

ます)

現/預

小計

・ロゴ、コマーシャル、ボトムの各メッセージはそれぞれ、印字/非印字の設定ができます。 ・ロコ、コメーンドル、ハームンログ・フェー・コーンに設定された内容は印字されません。
・電子店名スタンプを装着すると、ロゴメッセージに設定された内容は印字されません。

※1連続したメッセージ行の設定をする場合は、『炯』を押すと次のメッセージ行に移動します。 小計 を 押すと設定を終了します。

レシートメッセージの印字/非印字の設定(99ページ)を参照してください。



レシートに住所や電話番号を設定する

電子店名スタンプには、レシートに印字する住所や電話番号が入ります。電子店名スタンプの納入前や、 住所変更による電子店名スタンプの作り直しなどで電子店名スタンプを装着できない場合、レジスター にこの内容を設定します。

レシート用住所・電話番号として印字する行

メッセージは 1 行あたり半角で最大 32 文字(全角では 16 文字)が設定できます

メッセージの設定コードは、3432~3632です。

操作例

電話番号を『電話:03-1212-3434』に、住所を『東京都渋谷区本町』に変更する

手順 印字例

┚ モードスイッチの位置を「設定」にします。

2 以下の操作をします。

2 小計

C/AC C

3 4 3 2 小計

<文字列クリア>

0035-32

0034-32

東京都渋谷区本町

電話:03-1212-3434

(レシート用住所・電話番号1行目を指定します)

(設定されていたメッセージを消します)

「て」 < た >< た >< た >< た >

「で」 < "。>

「ん」 < わ >< わ >< わ >

 $\langle \rightarrow \rangle$

「わ」 <わ>

< ↓変換 >< 変換確定 > <切替 >< 切替 >< 倍文字 >

(<↓変換>は「電話」が出るまで繰り返します) (全角英文字に切り替えます)

「:」 <0><0><0><0>

<切替>

(半角数字に切り替えます)

< 0 >

< 3>

< 切替 >< 切替 >< 切替 >

(半角英文字に切り替えます)

(半角数字に切り替えます)

< 0 >< 0 >< 0 > <切替>

「l」 < l>

^[2] < 2>

رړ٦ < 1>

< 2>

<切替><切替><切替>

(半角英文字に切り替えます)

r₋₁ < 0 >< 0 >< 0 >

<切替>

^[3] < 3>

[「]4」 < 4> ^[3] < 3>

Г4」 < 4>

現/預][現/預

(半角数字に切り替えます)

(1 行目を確定し、続いてレシート用住所・ 電話番号を2行目を指定します*1)



 $[_{C/AC}\mathbf{C}]$

<文字列クリア>

(設定されていたメッセージを消します)

(全角ひらがなに切り替えます)

「と」 <た><た><た><た>

「う」 < あ >< あ >< あ >

「き」 <か><か>

「ょ」〈や×、や×や×や×や

「う」 <あ><あ><あ>

< ↓変換 >< 変換確定 > (<↓変換>は「東京都」が出るまで繰り返します)

「し」 <さ><さ>

「ふ」 <は><は><は>

「ぶ」 <゛゜

「や」 <や>

「く」 <か><か><か>

(<↓変換>は「渋谷区」が出るまで繰り返します) < ↓変換 >< 変換確定 >

「ほ」 < は >< は >< は >< は >< は ><

「ん」 < わ >< わ >< わ >

「ま」 <ま>

「ち」 <た><た>

< ↓変換 >< 変換確定 > (<↓変換>は「本町」が出るまで繰り返します)

現/預

(これで『東京都渋谷区本町』が2行目に設定されます)

小計

(設定終了)

・電子店名スタンプを装着すると、この節で設定した内容は印字されません。

・電士店石スプレノで衣有すると、この品、版へという。 ***イント ※1連続したメッセージ行の設定をする場合は、②烟 を押すと次のメッセージ行に移動します。小計を 押すと設定を終了します。



0001-01

文字設定できるその他の項目

本機では、品名、メッセージ、部門/取引キー名称、担当者名のほか、

- ・固定合計器レポート上の項目(総売、純売など)
- ・日計明細や時間帯などのレポートタイトル
- ・特殊キャラクタ (¥マーク、小計/預かり印字など)

の印字・表示の変更ができます。

固定合計器の項目名やレポートタイトルを設定する

操作例

「総売」を『総売上』ににする

手順

1 モードスイッチの位置を「設定」にします。

2 以下の操作をします。

2 小計

[0]1]0]1]小計

(C/AC C <文字列クリア>

<文字入力>

(下記設定コード)

(すでに設定されている文字を消します)

印字例

総売上

(部門などの設定を参照してください)

現/預

小計

(設定終了)

固定合計器項目名の設定コードとその内容:

合計器項目の内容	設定コード	ご購入時の設定	合計器項目の内容	設定コード	ご購入時の設定
総売上	0101	総売上	印紙なし領収書	3901	領収書
純売上	0201	純売上	内税対象額(内税 1)	4101	内税対象計
現金在高	0301	現金在高	内税額(内税1)	4201	内税
貸売在高	0401	貸在高	外税対象額(外税1)	4401	外税対象額
商品券在高	0501	商品券在高	外税額(外税1)	4501	外税額
信用売在高	0601	クレジット在高	内税対象額(内税2)	4701	内税対象計※
戻モード	2701	戻モード	内税額(内税2)	4801	内税※
万円券枚数	3401	万円	外税対象額(外税2)	5001	外税対象額※
5 / 10 円丸め	3501	サービ、ス	外税額(外税2)	5101	外税額※
取引中止	3601	取引中止	消費税合計	5301	消費税合計
電卓操作回数	3701	電卓	非課税合計	5401	非課税合計
印紙付き領収書	3801	領収書 印紙	奉仕料	5501	奉仕料

レポートタイトルの設定コードとその内容:

レポートの内容	設定コード	ご購入時の設定	レポートの内容	設定コード	ご購入時の設定
固定合計器レポート	0124	固定合計器	担当者レポート	0624	担当者
取引レポート	0224	取引	時間帯レポート	0824	時間帯
PLU レポート	0324	PLU	月間売上レポート	0924	月間日別
部門レポート	0424	部門	在売点検レポート	1624	在売点検
グループレポート	0524	グループ	アイテム個別	2424	個別点検



取引シンボル(固定キャラクタ)を設定する

操作例

- ①レポート上の個数シンボルを「個」から「件」にする
- ②乗算シンボルの「点」を「L」にする

<u>手順</u>

1 モードスイッチの位置を「設定」にします。

2 以下の操作をします。

2 小計

0 1 2 3 小計

印字例

¥@個 /* **Ŀ** 使用中 0001-23 0003-23

<→> (5回押す)

(「個」シンボルのメモリ番号+23) (変更する「個」を反転表示します)

「け」 < か >< か >< か >< か >

「ん」 <わ><わ>

< ↓変換 > <変換確定 >

(「件」が出るまで繰り返します)

現/預

0 3 2 3 小計

(「点」シンボルのメモリ番号+23)

< 1 文字クリア > (「点」を消します)

<切替×切替×倍文字>(切替キーで半角英字、倍文字キーで全角英字にします)

「L」 <な><な><な>

現/預

小計

(設定終了)

取引シンボルの設定コードとその内容:

シンボルの内容	設定コード	ご購入時の設定	シンボルの内容	設定コード	ご購入時の設定
円、単価、件数、個数(2ずつ)	0123	¥@件/**	電卓、練習モード(4ずつ)	0923	電卓練習 MGR
は。一十上の点数、客数、枚数(2ずつ)	0223	点名枚 **	預かり時合計印字(8)	1023	合 計
乗算(2)	0323	点 使用中	現金預かり印字(8)	1123	お預り
税シンボル1、2(2ずつ)	0423	外※※	釣り銭印字(8)	1223	お釣
非奉仕対象、非課税(2ずつ)	0523	# 非*	後レシート合計印字(8)	1323	合計
登録、戻、レジ マイナスモード (4ずつ)	0723	戻 REG-	小計印字(8)	1823	小計
設定、点検、精算モード(4ずつ)	0823	P 点検精算	AM、PM 印字(3ずつ)	1923	AM PM

() は半角文字で設定できる文字数を示す



レジ番号を設定する

お店に2台以上のレジスターがある場合や店舗の区別を付けたい場合にレジ番号を設定します。

操作例

レジ番号"123"を設定する

手順1 モードスイッチの位置を「設定」にします。
2 以下の操作をします。
A
3 小計 2 2 2 小計 1 2 3 現/預 小計
■レジ番号

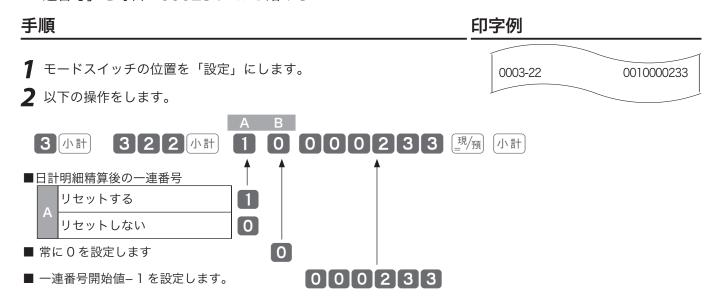
・ご購入時の設定は "0000" です。(レジ番号は印字されません) ・レジ番号の印字例は 21 ページを参照してください。

一連番号を設定する

レシート等に印字する一連番号を、毎日ある一定数値から始める(日計明細の精算後にリセットする)か、連続番号にする(日計明細の精算後にリセットしない)のかを設定します。

操作例

「一連番号」を毎日 "000234" から始める



☆ポイント ご購入時の設定は "0 0 000000" です。毎日 1 から始める場合は "1 0 000000" を設定します。

⚠注意 一連番号の開始値−1を設定します。

モードスイッチの位置

その他の設定

印字項目を設定する

印字項目を設定します。

操作例

レシートのお買い上げ点数と課税対象額を「印字する」に、点検・精算時の売上構成比を「印字する」に設定する

手順 印字例 ┚ モードスイッチの位置を「設定」にします。 0005-22 0000011002 **2** 以下の操作をします。 3 小計 5 2 2 小計 0 0 $\left[\mathbf{0}\right]$ 0 0 [現/預] • ■ 常に 0 を設定します ■課税対象額、税率の印字/非印字 課税対象額 税率 印字する 0 印字する 印字しない 2 印字する 印字しない 3 印字しない ■ ジャーナルへの明細印字(ジャーナルスキップ) 印字する 0 印字しない (ジャーナルスキップする) 0 0 ■ 常に 00 を設定します ■ 売上げ構成比の印字/非印字、日計精算書の出力枚数、税の再計算 〈 / Z で部門、PLU の売上げ構成比を 日計明細精算での出力枚数 1枚 印字する 2枚(ダブルレポート) 3 0 1枚 印字しない 2枚(ダブルレポート) 2 ■買い上げ点数、税シンボルの印字/非印字、ジャーナル圧縮印字 買い上げ点数 税シンボル 圧縮印字 圧縮印字 1 印字する 5 通常印字 印字する 圧縮印字 3 印字しない 7 通常印字 0 圧縮印字 印字する 4 通常印字 印字しない 2 圧縮印字 印字しない 通常印字 6

☆ポイント ご購入時の設定は "0 0 0 0 0 0 0 0 2" です。

■ 常に 002 を設定します

▲注意 販売店に設定をお任せになっている場合、他の設定がされている場合があります。ご自分で変更せず に販売店にお問い合わせください。

002



強制機能や演算方式を設定する

強制機能や演算方式を設定します。

操作例

「戻」モードの登録回数を「1回のみ」に、「戻」モードの件数を「レジマイナス」に設定する

手順 印字例 1 モードスイッチの位置を「設定」にします。 0006-22 0410001000 2 以下の操作をします。 A B C D E F G H



・ ご購入時の設定は "0 0 0 0 0 0 0 00" です。

▲注意 販売店に設定をお任せになっている場合、他の設定がされている場合があります。ご自分で変更せず に販売店にお問い合わせください。

点検または精算時に印字するレポートの、個々の印字項目を設定します。

操作例

値引き合計と戻しキー合計を「印字する」に、丸め合計も「印字する」に設定する

戻 合計

0

2

0

手順 印字例

1 モードスイッチの位置を「設定」にします。

2 以下の操作をします。

0008-22 0621000140

モードスイッチの位置

3 小計 8 2 2 小計

■ 常に 06210 を設定します_

他国通貨在高

■純客数、客単価の印字/非印字

	純客数	客単価
	印字する	印字する
В	印子9つ	印字しない
	旧字しない	印字する
		印字しない

値引き合計

■ 他国通貨在高、値引き合計、戻し合計の印字/非印字

	のウォフ	印字する	印字する	0
			印字しない	4
C	印字する 	印字しない	印字する	2
			印字しない	6
	印字しない	印字する	印字する	1
			印字しない	5
		印字しない	印字する	3
			印字しない	7

■万券枚数、丸め合計、取引中止合計の印字/非印字

万券枚数	丸め合計	取引中止合計	
	印字する	印字する	0
印字する		印字しない	4
日子みの	印字しない	印字する	2
		印字しない	6
	印字する	印字する	1
		印字しない	5
日子のない	印字しない	印字する	3
		印字しない	7
	印字する	印字する 印字しない 印字する 印字する 印字する	印字する 印字する 印字する 印字する

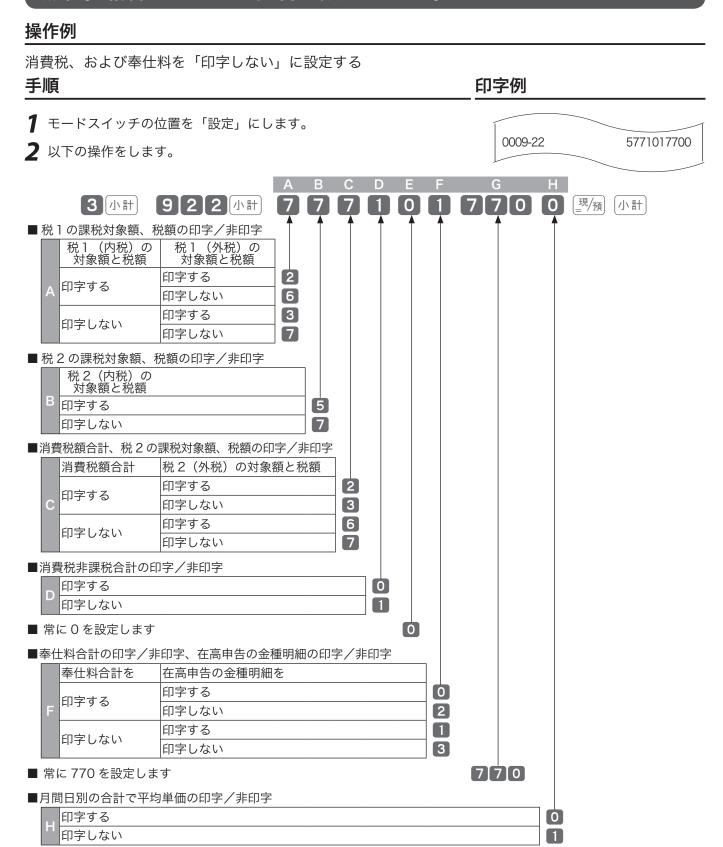
■電卓モードでの計算回数、領収書発行合計の印字/非印字

	領収書合計	電卓モード		
	印字する	印字する		
E		印字しない		
	印字しない	印字する		
		印字しない		

■ 常に0を設定します



点検/精算レポートの内容を設定する 2/2



☆ ご購入時の設定は "2520017700" です。

レシートの印字内容を設定する

レシートに印字するメッセージの内容を設定します。

操作例

レシートのコマーシャルメッセージを「印字する」に設定する

手順 印字例

1 モードスイッチの位置を「設定」にします。

2 以下の操作をします。

0017-22 0000000002

モードスイッチの位置



■ 常に 0 を設定します

■ロゴメッセージ・コマーシャルメッセージ・ボトムメッセージの印字/非印字

		, , _ , _ ,	- 1 /// / -		
		ロゴメッセージ	コマーシャル メッセージ	ボトムメッセージ	
		設 定 さ れ た メ ッ セージを印字する	印字する	印字する	7
				印字しない	3
			印字しない	印字する	5
	С			印字しない	1
		電子店名スタンプ の店名口ゴまたは 御計算書を印字する		印字する	6
				印字しない	2
				印字する	4
			印子	けんしゅい	印字しない

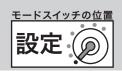
☆ で購入時の設定は "0 0 0 0" です。

▲注意

・レシートへの時刻の非印字を "P01" の簡易設定 (68 ページ) で行なった場合は、この設定の項目 "B" では "5" または "7" を設定してください。

0

・販売店に設定をお任せになっている場合、他の設定がされている場合があります。ご自分で変更せず に販売店にお問い合わせください。



強制解除キーを設定する

領収書に印字される内容を設定します。(印紙貼付が必要な合計金額、但し書きの内容、領収書用一連 番号の扱いなど)

操作例

登録中の強制解除を「現金売り」にする

手順 印字例 ┚ モードスイッチの位置を「設定」にします。 0025-22 000000010 **2** 以下の操作をします。 0 0 0 0 0 0 1 0 現/預 [3][小計] [2][5][2][小計] ■登録中の強制終了を 「現金での売上げ」とする 0 4 「取引中止」とする ■ 常に 0000010 を設定します [0]0]0]0]0]1]0]

· 🍚 ポイント ご購入時の設定は "4 0000010" (取引中止) です。

A注意

販売店に設定をお任せになっている場合、他の設定がされている場合があります。ご自分で変更せず に販売店にお問い合わせください。

モードスイッチの位置

領収書の内容を設定する

領収書に印字する内容を設定します。

操作例

領収書の但し書きへ「お食事代として」を印字し、領収書用一連番号は、日計明細の精算でも "0" にし ない

手順 印字例 1 モードスイッチの位置を「設定」にします。 0027-22 0210050000 **2** 以下の操作をします。 3 小計 2 7 2 2 小計 2 N 0 [0]5]0]0]0]0] ■但し書き部分への印字 非印字 0 「お品代」を印字 2 「お食事代」を印字 ■日計明細精算後の領収書用一連番号の処理 領収書用一連番号 0 B リセット ノンリセット ■領収書名、レシートー連番号と税額の印字/非印字 領収書/領収証 レシートー連番号 税額の印字 印字する 0 印字する 印字しない 1 領収書 2 印字する 印字しない 3 印字しない C 4 印字する 印字する 5 印字しない 領収証 6 印字する

■収入印紙の必要額(円単位)を6桁で設定します

印字しない

・収入印紙必要額は、必ず6桁で設定します。

印字しない

A 注意

- ・金額を指定した領収書発行(28ページ)では、領収書上の税額は設定にかかわらず印字しません。
- ・簡易設定(68ページ)で領収書の但し書きやタイトルを指定している場合は、この設定の後でもう

7

0 5 0 0 0 0

一度簡易設定をしてください。



印字濃度と背景印字を設定する

ロールペーパーを交換して文字が濃すぎたり薄すぎた場合、この設定で濃さを変更します。また、レシートや領収書の背景印字パターンを設定します。

操作例

印字濃度を"やや濃く"に設定する



▲注意

- ・簡易設定(68 ページ)でレシートおよび領収書への背景印字を指定している場合は、この設定の後でもう一度簡易設定をしてください。
- ・電子店名スタンプ(別売オプション)の中にサーマルポップが入っていればレシート上に印字されます。項目 A の設定は、レシートロゴは電子店名スタンプを使いながらサーマルポップの印字を止めるときに使用します。



本体表示のバックライトを設定する

本体表示のバックライトを使用するかどうか、使用する場合はバックライトの点灯時間を設定します。

操作例

バックライトを使用し、10分間点灯すると設定する

手順 印字例 1 モードスイッチの位置を「設定」にします。 0034-22 0000000010 **2** 以下の操作をします。 3 4 2 2 小計 0 3 [小計] 0 現/預 小計 ■本体表示のバックライトを 使用する 0 2 使用しない

0

00~59

〜 で購入時の設定は "0 0 20" です。点灯時間を "00" に設定するとバックライトは消灯しません。

メッセージとロゴを設定する

■ C バックライトの点灯時間(分単位)

軽減税率メッセージと点検/精算レポートの口ゴを設定します。

操作例

点検/精算レポートにロゴを印字する

■ 常に0を入力します

手順

- **1** モードスイッチの位置を「設定」にします。
- $oldsymbol{2}$ 以下の操作をします。





0001-05

0002-05

0003-05

グループリンク

0100

0400

0200

部門キーにリンクグループを設定する

部門キーのそれぞれに《グループ番号》を設定して、「グループ別集計」を求めることができます。こ の指定を「グループリンク」と言います。

操作例

部門キーを以下のようなグループに分ける

部門キー	リンク先	入力コード
+ 1	グループ 01	0100
- 2	グループ 04	0400
× 3	グループ 02	0200



印字例

部門 01

11-66

部門 02

11-66

部門 03

11-66

手順

- ┚ モードスイッチの位置を「設定」にします。
- 2 設定3でリンクグループ番号設定コードを入力します。
 - 3 ||小計|| 1 || 1 || 6 || 6 ||小計|
- 3 グループ番号を入力し、該当キーを押します。
 - 0 1 0 0 + 1 0 4 0 0 - 2 0 2 0 0 × 3
- **4** 小計 を押します。

小計

·グループ番号は 01 ~ 20 まで設定できます。

・フルーノ曲っぱら、 ここの Succession では、 では、 ここの Succession では、 では、 ここの Succession では、 ここの Success

<u>部門キー/フラット PLU キーに単品現金売りを設定する</u>

部門キー、フラット PLU キーを押すだけでレシートを発行(取引終了)したいときは「単品現金売り」 を部門/フラット PLU キーに設定します。このとき預かり金の入力や釣り銭計算はできません。

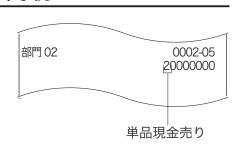
操作例

部門 - 2 に単品現金売りを設定する

手順 印字例

- ┚ モードスイッチの位置を「設定」にします。
- 2 以下の操作をします。





・ご購入時の設定はすべて"O"(通常のキー)です。

モードスイッチの位置

その他の設定



単価入力ミスを軽減するために、部門キー、フラット PLU キーに登録できる商品単価の最高桁数を設 定します。

操作例

部門キー つに3桁(¥1から¥999)までの桁制限を設定する

手順 印字例 1 モードスイッチの位置を「設定」にします。 部門 02 0002-05 2 以下の操作をします。 00003000 7 6 6 小計 3 小計 3 小計 桁制限 ■桁制限 0/7 ||3桁 (¥1~¥999) 3 6 入力制限無し 6桁(¥1~¥999999) 1桁(¥1~¥9) 4桁(¥1~¥9999) 4 プリセット単価のみ 8/9 A

・ご購入時の設定はすべて"0"(入力制限なし)です。

5桁 (¥1~¥99999)

・ご賄へ時の設定はすい。 しょういかはある。) ・プラット PLU キーに設定する場合、部門キーの代わりにフラット PLU キーを押します。

5

部門キー/フラット PLU キーにマイナス単価とハッシュ品目を設定する

立替金など、総売上に入らないものの登録には「ハッシュ品目」を、金額を負(マイナス)で集計した い場合は「負単価」をそれぞれ部門キー、フラット PLU キーに設定します。

操作例

2桁(¥1~¥99)

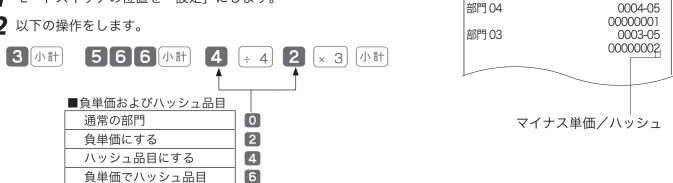
部門4年4にハッシュ品目を、部門3区3に負単価を設定する

手順 印字例

1 モードスイッチの位置を「設定」にします。

2

2 以下の操作をします。



・ご購入時の設定はすべて"O"(通常のキー)です。

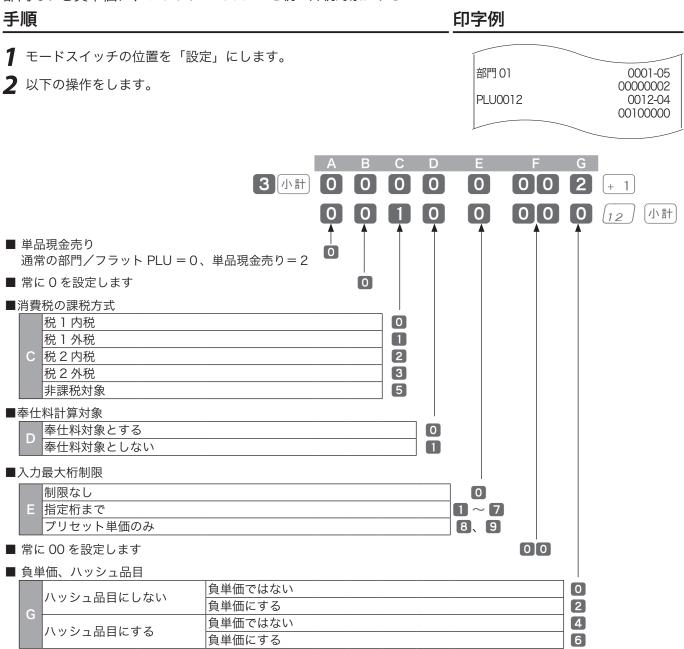


部門キー/フラット PLU キーのいろいろな項目を一括設定する

一括設定では、複数の設定項目を同時に1つの部門キー、フラット PLU キーに設定できます。

操作例

部門 01 を負単価に、フラット PLU0012 を税 1 外税対象にする



☆ポイント ご購入時は、すべての部門/フラット PLU キーの設定は "0 0 0 0 0 0 0" です。



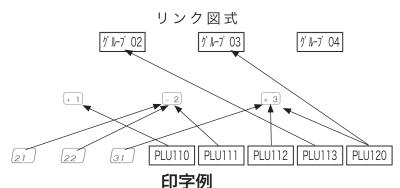
PLU /フラット PLU に部門リンク・グループリンクを設定する

PLU に集計される金額と数量を同時に「部門」にも集計したいときに、その部門を指定することを「部 門リンク」と言います。部門でなく「グループ」へ直接リンクすることもできます。

操作例

PLU を以下のように部門またはグループにリンクさせる

フラット PLU キー/ PLU 番号	リンク先	入力コード
21 22	_ 2 (部門番号 02)	2
31	∞ 3 (部門番号 03)	3
PLUNo.110	+ 1 (部門番号 01)	1
PLUNo.111	- 2 (部門番号 02)	2
PLUNo.112	∞ 3 (部門番号 03)	3
PLUNo.113	グループ 02	200
PLUNo.120	∞3 とグループ 03	303



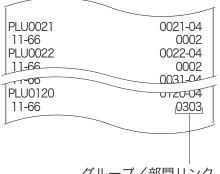
手順

- ┚ モードスイッチの位置を「設定」にします。
- 2 設定3でリンク部門グループ番号設定コードを入力します。
 - [3][小計] 1 | 1 | 6 | 6 | 小計]
- 3 リンク部門グループ番号を入力し、該当キーを押します。
 - 2 |21 | |22
 - 3 [31]
 - 1 0 PLU 1 現/預
 - 2 現/預
- (PLU 番号が続くときは) (PLU 番号指定は不要)
- /PLU 番号が続くときは \ 3 現/預 (PLU 番号指定は不要)
- 2 0 0 現/預
- (PLU 番号が続くときは) PLU 番号指定は不要) (グループ指定のときは、グル-プ番号後に 00 を入力します
- 1 2 0 PLU 3 0 3 環/預
- 4 小計 を押します。

小計

- ・リンクできる部門番号は1~4、グループ番号は01~20です。

PLU のリンク先を「部門」と「グループ」の両方に設定した場合、PLU 登録時に同じ金額、数量が AA 注意 部門とグループの両方に加算されます。





PLU に単品現金売りを設定する

PLU コードを入力して PLU キーを押すだけでレシートを発行 (取引終了) したいときは 「単品現金売り」 を PLU に設定します。このときは、預かり金の入力や釣り銭計算はできません。

操作例

手順

PLU 番号 152 と 153 に単品現金売りを設定する

1 モードスイッチの位置を「設定」にします。

2 設定3で品番 PLU 設定コードを入力します。

3 小計 1 8 6 6 小計

3 PLU 番号を入力し、設定数値を入力します。

1 5 2 PLU 2 ^{現/預}

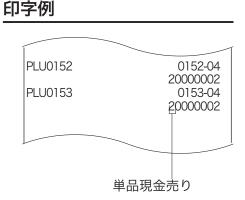
■単品現金売り

通常の PLU 0 単品現金売りにする 2

2 現/預 (PLU番号が続くときは) PLU番号指定は不要)

4 小計 を押します。

小計



PLU に品番 PLU を設定する

PLU は通常設定された単価で登録されますが、設定単価以外の単価で登録したい場合は、《品番 PLU》を設定します。品番 PLU の解説と操作例は 34、35 ページを参照してください。

操作例

PLU 番号 150 と 151 に品番 PLU を設定する

手順

1 モードスイッチの位置を「設定」にします。

2 設定3で品番 PLU 設定コードを入力します。

3 小計 4 6 6 小計

3 PLU 番号を入力し、設定数値を入力します。

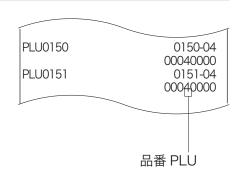
1 5 2 PLU 4 ^{現/預}

4 現/預 (PLU番号が続くときは) PLU番号指定は不要)

4 小計を押します。

小計

- 🔐 ポープ・ ご購入時の設定はすべての PLU は品番 PLU でなく PLU 指定です。



印字例



PLU にマイナス単価とハッシュ品目を設定する

立替金など、総売上に入らないものの登録には「ハッシュ品目」を、金額を負(マイナス)で集計したい場合は「負単価」をそれぞれ PLU に設定します。

操作例

PLU155 にハッシュ品目を、PLU156 に負単価を設定する

手順

- 1 モードスイッチの位置を「設定」にします。
- **2** 設定3で品番 PLU 設定コードを入力します。

3 小計 5 6 6 小計

3 PLU 番号を入力し、設定数値を入力します。

1 5 5 PLU 4 型/預

■負単価およびハッシュ 品目 通常の PLU

 通常の PLU
 0

 負単価にする
 2

 ハッシュ品目にする
 4

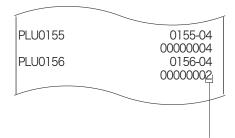
負単価でハッシュ品目 6

- 2 現/預 (PLU 番号が続くときは) PLU 番号指定は不要)
- 4 小計を押します。

小計

· 👉 ポイント ご購入時の設定はすべて "O"(通常の PLU)です。

<u> 印字例</u>



マイナス単価/ハッシュ

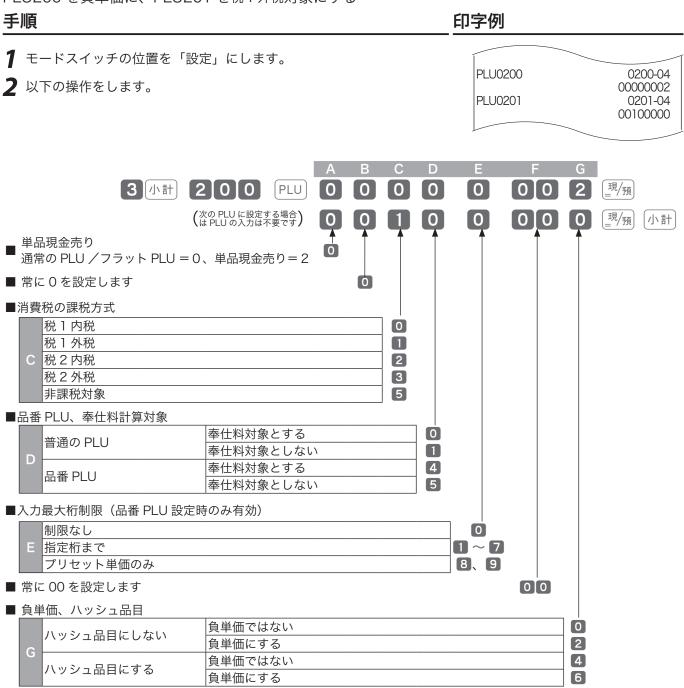


PLU のいろいろな項目を一括設定する

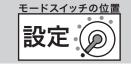
一括設定では、複数の設定項目を同時に1つのPLUに設定できます。

操作例

PLU200 を負単価に、PLU201 を税1 外税対象にする



- Ŷ_{ポイント} ご購入時の設定は "0 0 0 0 0 0 0" です。



締めキー(現金売りや券売りなど)を設定する

製物 や (券) などの「締めキー」の機能を設定します。設定できる機能には「預かり不足を報知する (51 ページ参照)」や釣銭の最大金額や預かり金入力の強制などがあります。

0

0

0

0

0

2

0

2

3

0 4 2

6

4

0

0 0

0 0

0 0

0

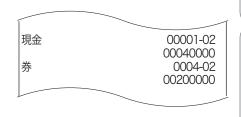
操作例

▼ での預かり入力を「強制する」に、
▼ でのお釣りを「エラー」にする

手順 印字例

3 小計

- ↑ モードスイッチの位置を「設定」にします。
- **2** 以下の操作をします。



小計

‴☆ や iD はこの設定はできま

『愛 や iD はこの設定は必ず 2

[現/預]

ぜん。

を入れます。



信用売り (KT-10 を使用しない) = 2

- 常に 0 を設定します
- ■お釣りのある預かりの可/不可、内税金額の印字/非印字

•	い正月	ソのめる頂かりの円/不円、	、内忧並領の川子/井川子	
		お釣りのある預かり	内税対象額と内税額	
		可能	印字する	
	С	円形	印字しない	
		不可 (Tラー)	印字する	
			印字しない	

■預かり不足の報知、預かり金入力の可/不可、預かり入力の強制

		預かり不足	預かり入力	預かり入力の強制
		報知しない	可能	強制しない
	D		円 形	強制する
			不可	強制しない
				強制する
		報知する	可能	強制しない
				強制する
			不可	強制しない
				強制する

■預かり金額の制限

 E
 金額の左端の数値

 金額の0の個数
 0~9

■釣り銭金額の制限

F 金額の左端の数値 金額の0の個数 0~9

上記E、Fの「金額の制限」の設定数値は下記です。

設定数値例:

金額制限 10,000 円 → 数値 "14" 金額制限 7,000 円 → 数値 "73" 金額制限 2,500 円 → 設定できません

金額制限 なし → 数値 "00"

ご購入時の設定は、

<

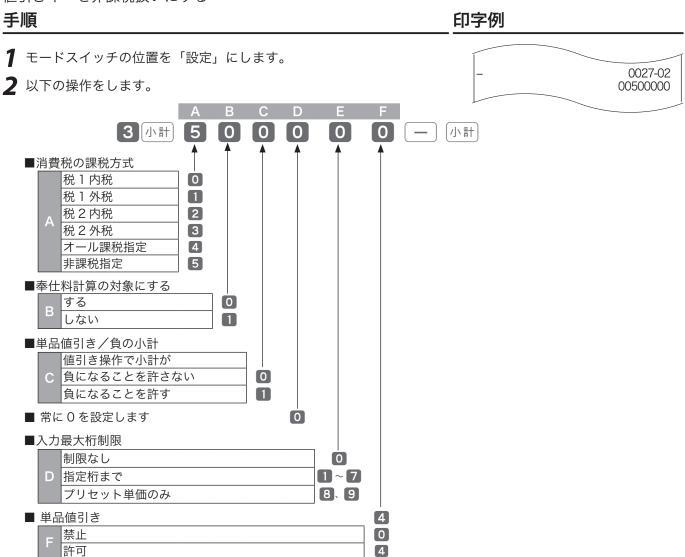


値引きキーを設定する

値引きキーに課税ステータスその他を設定します。

操作例

値引きキーを非課税扱いにする



- ・ご購入時の設定は"400004"オール課税指定(按分値引き)です。
- - ・単品値引き禁止のときは、必ず 小計 を押した後に値引き操作をしてください。



0028-02

00400200

割引きキーと割増しキーを設定する

割引きキーと割増しキーの機能を設定します(端数処理など)

操作例

∞- の円未満を「切上げ」にする

手順

印字例

%-

- ┚ モードスイッチの位置を「設定」にします。
- 2 以下の操作をします。



・ご購入時の設定は "400000" オール課 税指定(按分値引き)です。

・上記 A の「課税方式」の設定は、70ペー ジ(消費税の課税方式の設定)で設定され ます。

(操作順と端数処理) を設定する

乗算登録の場合の操作順序(数量×単価 or 単価×数量)および円未満の端数処理方法を設定します。

00

操作例

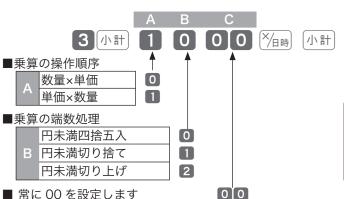
乗算登録の計算順を「単価×数量」にする

手順

1 モードスイッチの位置を「設定」にします。

2 以下の操作をします。

■ 常に 00 を設定します



印字例



ご購入時の設定は"0 0 0000" (乗算の 捨五入」)です。

A注意

乗算の計算順を「単価×数量」にした場 合は、「PLU の乗算登録」、「スキャニン グPLUの乗算登録」と「時刻・日付の表示」 ができなくなります。(37ページ参照)



入金キーと出金キーを設定する

入金キーと出金キーには、入力まちがいを防ぐための置数入力制限を設定します。

操作例

手順

5万円以上の入金と10万円以上の出金を「エラー」にする

1 モードスイッチの位置を「設定」にします。

2 以下の操作をします。

A 3 小計 5 4 入金

15 出金 小計

■置数入力金額の制限

 A
 金額の左端の数値

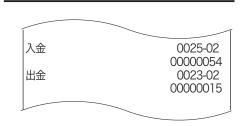
 金額の0の個数
 0~9

上記Aの「金額の制限」の設定数値は下記です。

設定数值例:

金額制限 10,000 円 → 数値 "14" 金額制限 7,000 円 → 数値 "73" 金額制限 2,500 円 → 設定できません

金額制限 なし → 数値 "00"



印字例

担当者番号を設定する

担当者機能をお使いの場合に、お買い上げの状態から変更したい場合に設定します。

操作例

担当者 -A の番号を 1111、担当者 -B の番号を 2222 とする

手順

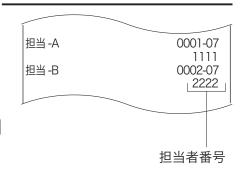
1 モードスイッチの位置を「設定」にします。

2 以下の操作をします。

3 小計 0 1 0 7 小計 (次の担当者に設定する場合)

A 11111 2222

印字例

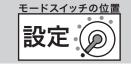


■担当者番号

1-9999

担当者ごとの操作コードとご購入時の担当者番号は下記です。

担当者	操作コード	購入時番号	担当者	操作コード	購入時番号	担当者	操作コード	購入時番号
担当 -A	0107	0001	担当 -H	0807	8000	担当 -O	1507	0015
担当 -B	0207	0002	担当 -l	0907	0009	担当 -P	1607	0016
担当 -C	0307	0003	担当 -J	1007	0010	担当 -Q	1707	0017
担当 -D	0407	0004	担当 -K	1107	0011	担当 -R	1807	0018
担当 -E	0507	0005	担当 -L	1207	0012	担当 -S	1907	0019
担当 -F	0607	0006	担当 -M	1307	0013	担当 -T	2007	0020
担当 -G	0707	0007	担当 -N	1407	0014			

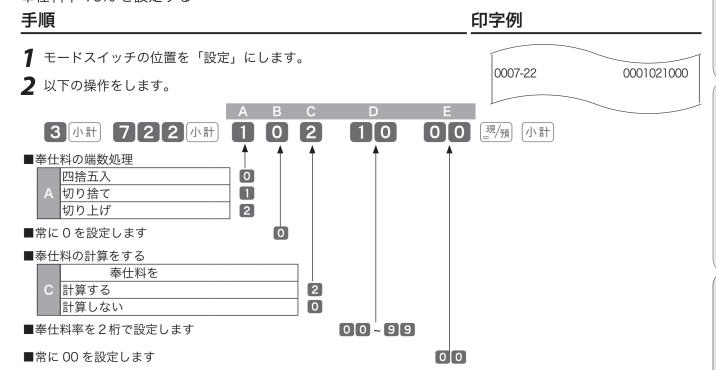


奉仕料率を設定する

奉仕料を徴収するお店では、奉仕料率や端数処理などを設定します。

操作例

奉仕料率 10% を設定する



- ・奉仕料率は、必ず2桁で設定します。。
- ・辛口科学は、シッと II. III -

A注意

販売店に設定をお任せになっている場合、他の設定がされている場合があります。ご自分で変更せず に販売店にお問い合わせください。

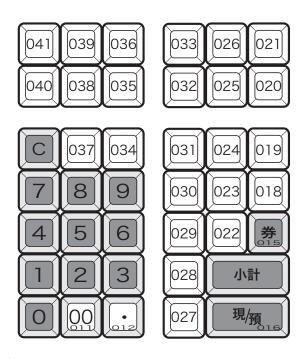


キー配列を変更する

ご購入時のキー配列を、お店に必要なキーを任意の位置に変更することができます。

キーを配列できる位置とキー番号

キーを設定できる位置は、下記イラスト内3桁の番号(キー番号)が付いているキーです。



049	057	065	073	081	089	097	105	113
048	056	064	072	080	088	096	104	112
047	055	063	071	079	087	095	103	111
046	054	062	070	078	086	094	102	110
045	053	061	069	077	085	093	101	109
044	052	060	068	076	084	092	100	108
043	051	059	067	075	083	091	099	107
042	050	058	066	074	082	090	098	106

操作例

「PLU」キーをキー番号「040」の位置に、「金額」キーをキー番号「041」の位置に設定する

手順

- 1 モードスイッチの位置を「設定」にして、設定4モードにします。
 - 4 小計
- 2 ファンクションコード (次ページ表参照) を入力し、該当キーを押します。
 - 4 8 040 4 9 041
- 3 小計を押します。

小計

▲注意 キーを設定する場合は、最初に日計明細および期間集計 1 、2の精算をしてください。変更の印字は、 キー番号の順に印字されます。

モードスイッチの位置

商品名やメッセージの設定

設定できる主なキー(取引キー)の種類とファンクションコード

	,
キーの名称	ファンクション コード
現金売り/預かり金	0 1
貸し売り	02
商品券売り	0.3
信用売り(クレジット)	0 4
仮締め	0 6
キャラクタプリント	11
万円	18
釣銭準備	19
入金	20
出金	2 1
回収	2 2
値引き(一)	2 7
割引き (%一)	28
値増し(+)	29
割増し(%+)	3 0
戻し	3 3
直前訂正/取引中止	3 4
指定訂正	3 5

キーの名称	ファンクション コード
レシート発行	3 8
不加算印字(#)	4 0
不加算印字(#)/両替	4 1
両替	4 2
客数	4 3
通貨変換(\$)	4 5
領収書発行	4 7
PLU	4 8
金額	4 9
部門	5 1
非課税	5 7
テーブル番号	5 8
在高申告	6 1
フラット PLU	6 3
面切替	6 4
桁解除(オープン)	6 7
設定解除	68
登録確認	7 1

キーの名称	ファンクション コード
担当者番号	7 2
小計	7 5
税抜き小計	8 0
乗算/日時	8 2
単位乗算/日時	8 3
新規伝票	9 1
伝票呼出	9 2
伝票番号	9 3
伝票合算	9 4
別々会計	9 5
強制解除	9 9
割り勘	102
オープンチェック	117
操作ガイド	141
接続	200
取引中止	236

同じ取引命令キーを複数設定できます。

します。

主なキーの働き(お買い上げのキーボード上にないファンクションキー)

王なキーの働	き (お買い上げのキーボード上にないファンクションキー)
貸売	᠍ ♥ ● 等と同じ締めキーで、「貸売り(掛売り)」での売上のときに使用します。
キャラクタプリント	入力されたキャラクタを厨房への連絡などのためにレシート上に印字します。
万円	本書 43 ページの使用例を参照してください。
釣銭準備	あらかじめドロアーに入れておく釣銭用のお金を登録するときに使用します。
回収	ドロアーから回収したお金を登録するときに使用します。
値引き	本書 46 ページの使用例を参照してください。
割引き	本書 47 ページの使用例を参照してください。
値増し	「値引き」の逆の機能です。
割増し	「割引き」の逆の機能です。「深夜割増し」などの割増し計算に使用します。
指定訂正	「さかのぼり訂正」の金額と件数を単独に集計したいときに使用します。
#	 # (不加算印字)と両替を別々のキーにするときに使用します。
両替	# (小加昇印子)
客数	本書 52 ページの奉仕料登録例を参照してください。
通貨変換	米ドルで支払いを受け付けるお店で使用します。
PLU	本書 38 ページの使用例を参照してください。
金額	本書 39 ページの使用例を参照してください。
非課税	次の登録を非課税登録にします。
テーブル番号	テーブル番号を入力するときに使用します。
桁解除 (オープン)	部門キー等に設定してある「桁数制限」を越えて金額を入れたい場合に使用します。
設定解除	取引命令キーに設定してある「強制操作」を解除したい場合に使用します。
登録確認 (レビュー)	締め前に登録内容を確認したい場合に使用します。このキーを押すごとに登録内容が順に表示されます。
税抜き小計	伝票の今回分の(外税や奉仕料抜きの)小計を確認するときに使用します。
単位乗算/日時	セット単価商品を「バラ売り」したい場合に使用します。
新規伝票	伝票番号キーの2つの機能(新規伝票番号定義と定義済み伝票番号呼出し)を別々のキーにするときに使
伝票呼出し	用します。
伝票合算	2枚の伝票を1つに合算するときに使用します。
割り勘	割り勘計算に使用します。
オープンチェック	終業後にまだ締められていない伝票のレポートを発行するときに使用します。
取引中止	キーの一度押しでそれまでの取引をキャンセルにします。(事態は 小町 に続けて押して取引中止)

レジ操作の練習



トレーニングを始める/トレーニングを終わる

トレーニングモードにして登録操作を練習します。「登録」と「戻」モードのトレーニングができます。 トレーニング中は合計には演算されません。

トレーニングを始める

手順 印字例

- 1 モードスイッチの位置を「点検」にします。
- **2** 以下の操作をします。

们们们们小計

3 モードスイッチを「登録」または「戻」に合わせ、登録操作の練習を します。 トレーニングモードを開始します

トレーニングを終わる

- ↑ モードスイッチの位置を「点検」にします。
- 2 小計を押します。

小計

トレーニングモードを終了します

モードスイッチの位置

レジ設定内容の確認

設定内容を確認する

設定されている内容の確認は、設定6モードで以下の種別コードを入れて設定点検します。

区分	種別コード	設定点検内容	
Α	102	値引き額、割引き率など	
(P01 (内容)	104	PLU 単価と課税方法	
人内容丿	105	部門単価と課税方法	
	204	PLU キャラクタ(文字)	
В	205	部門名	
(P02 内容)	206	グループ名	
人内容丿	207	担当者名	
	232	レシートメッセージ	

区分	種別コード	設定点検内容
	302	取引キーのプログラム
	304	PLU のプログラム
С	305	部門のプログラム
(P03 (内容)	307	担当者のプログラム
(内容)	322	全体設定のプログラム
	326	現行税率のプログラム
	327	予定税率のプログラム

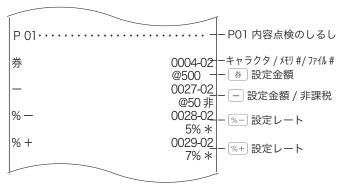
値引き金額、割引き率等の設定 確認

手順

1 モードスイッチの位置を「設定」にします。

2 以下の操作をします。 6 小計 1 0 2 小計

印字例



部門の単価と課税方法の設定 確認

手順

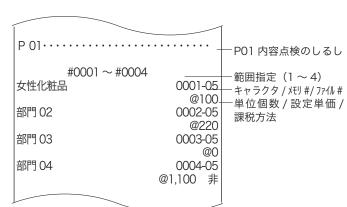
- **1** モードスイッチの位置を「設定」にします。
- 2 以下の操作をします。

6 小計 1 0 5 小計

3 開始部門番号を入力して 💹 を押し、終了部門番号を入力して 💹 を押します。

1 見/預 4 見/預

印字例



開始番号を入力しないと最初から点検します。終了番号を入力しないと最後までを点検します。

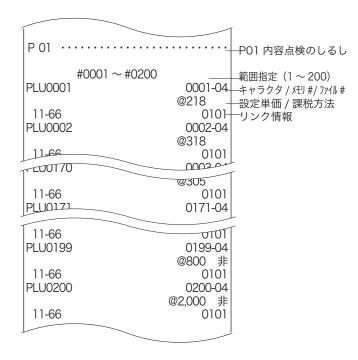


PLU の単価と課税方法の 設定確認

手順

- 1 モードスイッチの位置を「設定」にします。
- **2** 以下の操作をします。
 - 6 小計 1 0 4 小計
- - 1 現 2 0 0 現 預

印字例



開始番号を入力しないと最初から点検します。終了番号を入力しないと最後までを点検します。

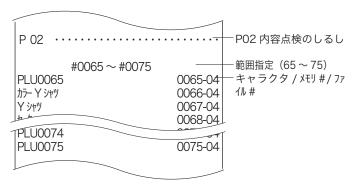
PLU に設定した商品名の確認

手順

- 1 モードスイッチの位置を「設定」にします。
- **2** 以下の操作をします。
 - 6 小計 2 0 4 小計
- **3** 開始 PLU 番号を入力して ^変短 を押し、終了 PLU 番号を入力して ^変短 を押します。

6 5 現/預 7 5 現/預

印字例



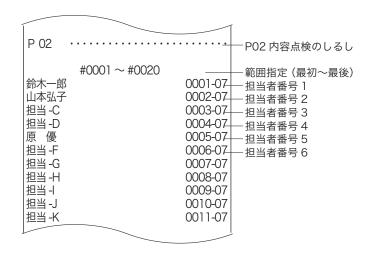
担当者名の設定確認

手順

- 1 モードスイッチの位置を「設定」にします。
- **2** 以下の操作をします。 6 小計 2 0 7 小計
- **3** 開始担当者メモリ番号を入力して 郷 を押し、終 了担当者メモリ番号を入力して 郷 を押します。

現/預 現/預

印字例



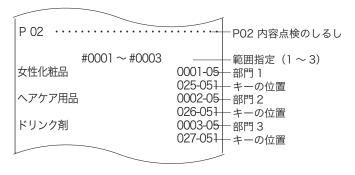
きードスイッチの位置 設定

部門名の設定確認

手順

- **1** モードスイッチの位置を「設定」にします。
- 2 以下の操作をします。
 - 6 小計 2 0 5 小計
- **3** 開始部門番号を入力して 💹 を押し、終了部門番号を入力して 💯 を押します。
 - 1 現/預 3 現/預

印字例



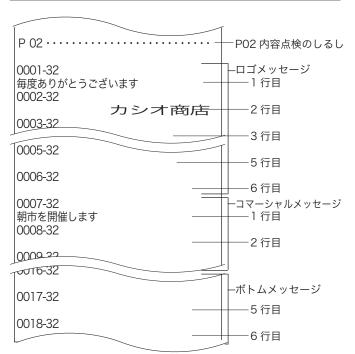
レシートメッセージの設定確認

手順

- 1 モードスイッチの位置を「設定」にします。
- **2** 以下の操作をします。

6 小計 2 3 2 小計

印字例

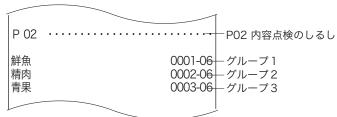


グループ名の設定確認

手順

- **1** モードスイッチの位置を「設定」にします。
- 2 以下の操作をします。
 - 6 小計 2 0 6 小計

印字例

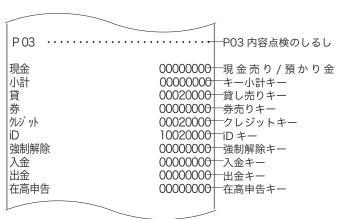


取引キープログラムの設定確認

手順

- **1** モードスイッチの位置を「設定」にします。
- 2 以下の操作をします。6 小計 3 0 2 小計

印字例



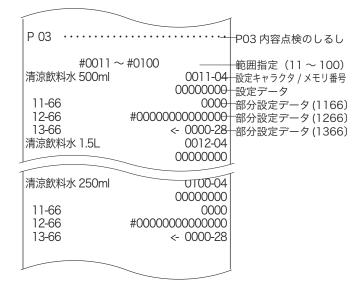


PLU プログラムの設定確認

手順

- **1** モードスイッチの位置を「設定」にします。
- 2 以下の操作をします。6 小計 3 0 4 小計
- **3** 開始 PLU 番号を入力して 💹 を押し、終了 PLU 番号を入力して 💹 を押します。
 - 1 1 環/預 1 0 0 環/預

印字例



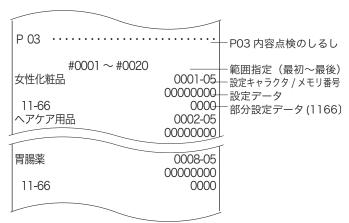
部門プログラムの設定確認

手順

- **1** モードスイッチの位置を「設定」にします。
- 2 以下の操作をします。6 小計 3 0 5 小計
- **3** 開始部門番号を入力して 💹 を押し、終了部門番号を入力して 🛂 を押します。

現/預 現/預

印字例



開始番号を入力しないと最初から点検します。終了番号を入力しないと最後までを点検します。

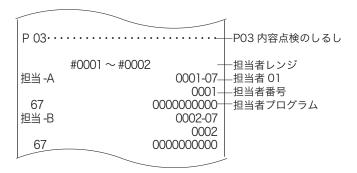
設定 シ

担当者の設定確認

手順

- **1** モードスイッチの位置を「設定」にします。
- 2 以下の操作をします。
 - 6 小計 3 0 7 小計
- **3** 開始部門番号を入力して 💯 を押し、終了部門番号を入力して 💯 を押します。
 - 1 現/預 2 現/預

印字例



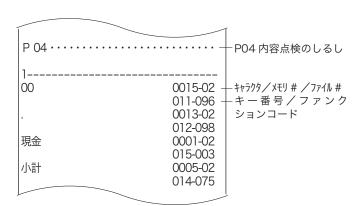
キーの種類と位置の確認

キーボードに設定されているキーの種類とその位置の設定点検をします。

手順

- 1 モードスイッチの位置を「設定」にします。
- **2** 以下の操作をします。 **4** 小計 小計

印字例



全体設定の確認

手順

- **1** モードスイッチの位置を「設定」にします。
- 2 以下の操作をします。
 - 6 小計 3 2 2 小計

印字例



全体設定は94~103、115ページを参照してください。

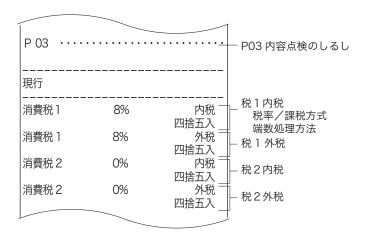


現行税率の設定確認

手順

- **1** モードスイッチの位置を「設定」にします。
- **2** 以下の操作をします。
 - 6 小計 3 2 6 小計

印字例



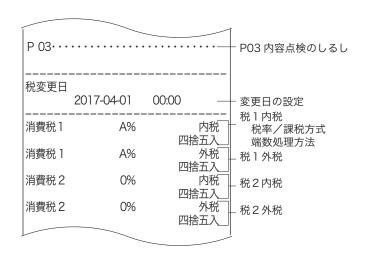
予約税率の設定確認

手順

- **1** モードスイッチの位置を「設定」にします。
- **2** 以下の操作をします。

6 小計 3 2 7 小計

印字例



予約税率と部門の予約設定確認

手順

- **1** モードスイッチの位置を「設定」にします。
- **2** 以下の操作をします。
 - 1 小計 1 2 7 0 0 小計

印字例

P 03····		
 税変更日	 2017-04-01	00:00
	10% 10% 8% 8%	内税 外税 内税 外税
単価 課税方式		変更する 変更する
単価 / 課税	允方式予約設定	
部門 01 部門 02	×	@450 @100

PLU の予約設定確認

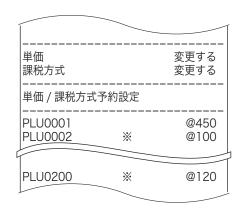
手順

- **1** モードスイッチの位置を「設定」にします。
- **2** 以下の操作をします。

1 小計 1 2 8 0 0 小計

- **3** 開始 PLU 番号を入力して <a>!!! <a>!! <a>!
 - 1 現 2 0 0 現 預

印字例



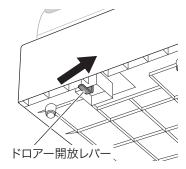
エラー音(ピー音)が鳴ったとき

《強制解除》を「取引中止」ではなく「現金売り」にしたい場合は、100ページの強制解除機能の設定で変更してください。強制解除した取引が登録モードの場合、同じ取引を戻モードで戻してください。

ドロアーが開かなくなったとき

停電や故障などでドロアーが開かなくなったときは、ドロアー底面のレバー (ドロアー開放レバー)を動かすと開きます。

ドロアーロック錠(11ページ)がかかっていると、ドロアーは開きません。ロックを解除してください。



ドロアー開放レバーの形状は実物 と異なることがあります。

操作ガイドで調べる

レジスターでよく使う操作の説明を使うには漂得を押します。

手順

1 操作ガイドキーを押します。

操作ガイド

情報センタからの操作ガイドを見る場合は、9999原標を押します。

2 発行されたレシートから、説明を受ける項目を確認します。項目番号を入力して ## を押します。

7 操作 ガイド

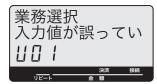
説明を受ける項目のレシートが発行されます。

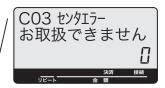
こんなときには

こんなとき	処置	参照ページ
ドロアー(引き出し)が開 かない	硬貨や紙幣が詰まっていないか、ご確認ください。 「ドロアーが開かなくなったとき」をお読みください。	125
表示がつかない	電源プラグはしっかりとコンセントに挿してありますか。 コンセントまで電気が来ていますか、別の電気器具でご確認ください。	
レシート、領収書、または	ロールペーパーにはまだ残りがありますか、ご確認ください。	132、133
ジャーナルが発行されない	(レシートが発行されない場合に)レシート発行停止になっていませんか。	13
	紙詰まりを起こしていないか、ご確認ください。	132
ジャーナルが巻き取られない	ジャーナル用紙が巻き取りホルダにきちんとセットされているか、ご確認ください。	130
	巻き取りホルダがホルダ受けに確実にセットされているか、ご確認ください。	130
	紙詰まりを起こしていないか、ご確認ください。	132、133
印字をしない 印字がうすい、ムラがある	ロールペーパーを裏表逆に取り付けていませんか、ご確認ください。	130、131
日中子か フォッグ オンかのの	カシオ推奨の感熱紙のロールペーパーをお使いください (普通紙は使えません)。	裏表紙

表示窓にEやメッセージが表示されたときには

表示窓の上側にEの文字とエラーコードや、エラーの原因や解決方法を示したガイダンス(案内表示)が出ることがあります。





左のような、金額表示の部分にUと数字が表示された場合や、一番上の左側に "C"、"G"、"S" の文字が表示されるときは KT-10 の取扱説明書のエラーメッセージ欄をご覧ください。

上記以外のメッセージが表示された場合は、下表を参照してください。

こんなとき	処置	参照ページ
E 誤操作です。	操作ミスです。取扱説明書をお読みいただき、正しい操作をお願いします。	
新規商品です。 単価を入れて部門キーを押して下さい。	スキャニングされた商品がまだレジスターに設定されていません。単価を入力して、商品を分類したい部門キーを押してください。	41
お知らせ着信 確認:<現/預> 保留:<小計>	情報センタからメッセージが届いています。ご覧になる場合 ஊ を、今はご覧にならない場合 小計 を押してください。(保留しても次の機会に再度表示します。)	
ソフトウエア更新 実行: <現/預> 中止: <小計>	レジの開設や情報センタへ接続されていません。または、データ更新のため に再度開設が必要です。レジの開設処理を行なってください。	
開設・接続して下さい。	レジスターやマルチ決済端末のソフトを更新します。先に「お知らせ着信」が来ていればそれをお読みのうえ、実行してください。(更新せずに中止した場合は翌日のレジ閉設時に再度表示します。)	22
情報センタ接続 パスワードを入力して<接続>キーを押し て下さい。	情報センタに接続します。(設定していれば接続パスワードを入力して) ^{譲続} を押してください。	22
E001 t-ド替えエラーです。t-ドスイッチの位置を 登録または戻に合わせて下さい。	登録中にモードを変更しています。元のモードにしてください。	
E003 担当者エラーです。正しい担当者で操作 して下さい。	仮締めのときに指定した担当者と違います。元の担当者を使ってください。	55

こんなとき	処置	参照ページ
E004 初期化Iラー	ご購入の販売店またはカシオレジスターお客様相談センターにご連絡ください。	
E008 暗証 No を入力して下さい。	担当者を使う設定になっていますが、担当者を指定していません。担当者を指定してください。	44
E012 ジャーナル用紙がなくなりました。	ジャーナル用紙がなくなりました。新しいロール紙に交換してください。	132
E014 レシート用紙がなくなりました。	レシート用紙がなくなりました。新しいロール紙に交換してください。	133
E016 モードスイッチを登録にして下さい。	続けて、返品登録を行なうことはできません。一度モードスイッチを登録に してから、もう一度戻モードに合わせて、返品登録してください。	31
E017 伝票 No を入力して下さい。	伝票番号を入力してください。伝票番号の入れ忘れを防ぐために入力をお願 いしています。	55
E018 テープル No を入力して下さい。	テーブル番号を入力してください。テーブル番号の入れ忘れを防ぐために入力をお願いしています。	
E019 客数を入力して下さい。	客数を入力してください。客数の入れ忘れを防ぐために入力をお願いしています。	52
E021 PLU にリンク部門が設定されていません。	指定された PLU にリンク部門が設定されていません。別の PLU や部門で登録後、PLU のリンク部門設定を修正してください。	107
E029 一部入金中です。締め操作を行って下 さい。	一部入金中です。締め操作(支払い操作)以外は受け付けません。	51
E031 <小計>キーを押して下さい。	(小計) を押してお買い上げ合計額を確認してください。	23
E033 お預かり額を入れて操作して下さい。	お客様からお預かりした金額を入力してから ᠍ を押してください。(ちょうどの金額のお預かりでも、入力が必要です。)	23
E035 釣銭制限額を越えています。	お預かり金額をまちがって入力していないか確認してください。釣り銭をお 店で決めた金額を越えて支払おうとしています。	
E036 ドロ内の現金を回収して下さい。	ドロアー内の現金を回収して回収額を出金登録してください。	45
E037 桁又は金額制限額を越えています。	入力された金額がまちがっていないか確認してください。お店で決めた制限 を越えた金額を登録しようとしています。	
E038 在高申告が必要です。	在高申告してください。在高申告すると次の操作が可能になります。	53
E046 登録パッファが一杯になりました。	■別などを押して取引を終わらせてください。たくさんの商品が登録されたので内部メモリが一杯になっています。	
E049 メモリオーバーです。	仮締めしている取引を ③ などを押して終わらせてください。たくさんの伝票番号が使われたため内部メモリが一杯です。	
E050 伝票明細数が一杯になりました。	仮締めしている取引を ③炯 などを使って終わらせてください。たくさんの明 細登録がおこなわれたため内部メモリが一杯です。	
E051 その伝票は使用中です。	伝票番号がまちがっていないか確認してください。使用済みの伝票番号のため新しく受付できません。	54
E053 その伝票 No は間違っています。	伝票番号がまちがっていないか確認してください。使用している伝票番号の中に、入力された伝票番号はありません。	54
E055 別々会計中です。	別々会計の処理をしています。別々会計に当たる商品を指定するか、別々会計の支払いをしてください。	55
E103 スキャニングコードが存在しません。	入力されたスキャニング PLU コードがまちがっていないか確認してください。入力されたコードの商品は設定されていません。	
E104 設定済商品です。	入力されたスキャニング PLU コードがまちがっていないか確認してください。入力されたコードの商品は設定済みのため新しく受付できません。	
E112 ジャーナル側の紙押えを戻して下さい。	ジャーナル紙押さえが開いています。きちんと閉めなおしてください。	130

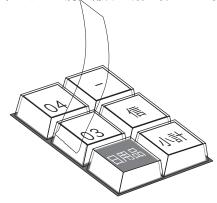
こんなとき	処置	参照 ページ
E114 レシート側の紙押えを戻して下さい。	レシート紙押さえが開いています。きちんと閉めなおしてください。	131
E115 紙詰まりです。	紙が詰まりました。ロール紙交換の操作を参考にして詰まった紙を取り除き、 再度ロール紙をセットしてください。	132 133
E127 パックアップ データ無し	ご購入の販売店またはカシオレジスターお客様相談センターにご連絡ください。 レジスターのデータ復元を試みましたが、元のデータが見つかりません。	
E139 値引金額の誤り、または税種が異なり ます。	入力された値引き金額をご確認ください。値引きで小計金額が負にならない ようにした場合、非課税商品に対して課税の値引きはできません。	46
E146 アレンジファイルが一杯になりました。	アレンジメントファイルが一杯です。設定できません。	
E200 RAC-12/13 が接続されていません。	RAC-12 または RAC-13 が装着されていないためデータバックアップができません。装着されているか確認してください。	
E201 パ ックアップ データ異常	ご購入の販売店またはカシオレジスターお客様相談センターにご連絡ください。 レジスターのデータ復元を試みましたが、元のデータに異常があります。	
E202 電子店名スタンプがありません。	電子店名スタンプ(RAC-13)が装着されていないためスタンプのデータの 読み込みができません。装着されているか確認してください。	134
E210 接続情報がありません。	RAC-12 がきちんと装着されているか確認してください。販売店または弊社 サービスにお問い合わせください。	134
E211 接続できません。	レジスターと周辺機器との接続、電源の確認をして再度接続してください。それでもエラーが発生するときは販売店または弊社サービスにお問い合わせください。	
E212 接続できません。電話回線を使いますか?実行:<現/預>中止:<小計>	インターネット接続用のメイン回線が使用できません。バックアップ用のモデムに切り替える場合は [型別] を押します。切り替えない場合は [小計] を押します。	
E213 端末認証エラーが発生しました	ご購入の販売店またはカシオレジスターお客様相談センターにご連絡ください。	
E214 パ スワード不一致	パスワードを確認の上再度入力してください。開設パスワード入力がまちがっています。	22
E215 サーピスがご利用になれません。	指定のサービスは有効ではありません。販売店または弊社サービスにお問い 合わせください。	
E216 通信エラーが発生しました。	センターとの通信でエラーが発生しました。時間を空けてから、再度お試しください。それでも直らなければ、ご購入の販売店またはカシオレジスターお客様相談センターにご連絡ください。	
E217 更新は有りません。	リモート IPL の受信操作をしましたが、更新する情報はありませんでした。 そのまま更新せずにお使いください。	
E218 開設・接続するまでご利用になれません。	レジが開設されていません。開設操作を行なってください。	22
E219 受信データが削除されました。	センタから送信したい情報があると連絡を受け、受信を試みましたが、既に そのデータは削除されていました。そのままお使いください。	
E230 決済端末通信エラーが発生しました。	決済端末との通信でエラーが発生しました。決済端末の電源やケーブルを チェックして、もう一度やり直してください。	

部門キーなどに商品名を記入する

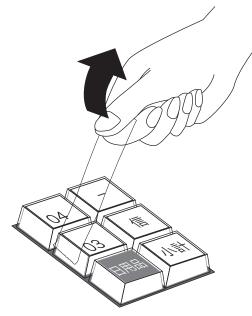
10mm 程度の幅のセロハンテープをご用意ください。

手順

1 セロハンテープを 5cm 位の長さに切り、キーキャップを外すキーの肩の部分に貼り付けます。



2 貼り付けたセロハンテープを親指と人差し指で押さえ、上に手首を回すようにして引き上げます。



3 キーキャップの片側が外れます。キー本体からキーキャップを外し、キープレートを取り出します。



4 新しいキープレートをキーキャップの中に入れ、紙の方向に注意しながらキー本体にかぶせ、押し込みます。



ロールペーパーをセットする(ジャーナル)

手順

1 モードスイッチを「登録」の位置にします。



2 プリンタカバーの後方部を持ち上げてカバーを取り外します。



3 紙押さえに写真で示すように指をかけて持ち上げ、 自然に止まるまでアームを開けます。



4 ロールペーパーの先端が下から出るように持って「ロールペーパー入れ」にセットします。



5 ロールペーパーの先端をプリンタの上に渡します。



6 ロールペーパーをローラで挟み込み、ローラの両端 が確実にロックされるまで押し込みます。



7「ジャーナル巻き取りホルダ」の溝に、ロールペーパーの先端を差し込み、2~3回巻き付けます。



8「ジャーナル巻き取りホルダ」を、「ホルダ受け」 にセットします。



9 用紙のたるみがなくなるまで (***) を押します。



10 プリンタカバー手前のツメを所定の穴に入れてから、後部を押してカバーを閉じます。



ロールペーパーをセットする際の注意事項は、131ページを参照してください。

モードスイッチの位置

消耗品のセットと交換

ロールペーパーをセットする(レシート)

手順

┚ プリンタカバーの後方部を持ち上げてカバーを取 り外します。



2 紙押さえのレバーを手前に引き、写真で示すように 指をかけて持ち上げ、自然に止まるまでアームを開けます。



3 ロールペーパーの先端が下から出るように持って 「ロールペーパー入れ」にセットします。



プリンターへ

プリンタ-





良い例

悪い例



5 ロールペーパーをローラで挟み込み、ローラの両端 が確実にロックされるまで押し込みます。



6 プリンタカバーを閉めて、余分な紙を切り取ります。



A注意

- ・必ずロールペーパーを取り付けて使用してください。ロールペーパーを取り付けないとレジスターは 動作しません。
- ・ロールペーパーの規格は紙幅 58mm ×外径 80 mm の感熱記録紙です。 ロールペーパーは当社指定 のものを使用してください。指定品以外の用紙を使用すると故障の原因となります。
- ・ロールペーパーに赤い線が出てきたら残りは約1mです。早めに新しいロールペーパーに交換してく ださい。

消耗品のセットと交換



ロールペーパーを交換する(ジャーナル)

ロールペーパーに赤い線が出てきたら、残りは約 1m です。早めに新しいロールペーパーに交換してください。下記は、印字用紙をジャーナル(営業記録)として使うときの交換方法です。

手順

1 モードスイッチを「登録」の位置にします。



2 プリンタカバーの後方部を持ち上げてカバーを取り外します。



3 変数 を押して約 20cm ロールペーパーを空送りします。



4 印字部分にかからない位置でペーパーを切り離します。

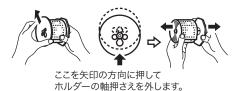


5 ジャーナル巻き取りホルダをホルダ受けから上へ、 取り外します。



6 印字済み用紙をホルダから横方向にずらして外します。





7 紙押さえに写真で示すように指をかけて持ち上げ、 自然に止まるまでアームを開けます。



8 本体内のロールペーパー入れに残ているペーパー の芯を取り除きます。



上記の手順の終了後、新しいロールペーパーをセットします。セットの手順については、130ページの手順4以降を参照してください。

消耗品のセットと交換



ロールペーパーを交換する(レシート)

ロールペーパーに赤い線が出てきたら、残りは約 1m です。早めに新しいロールペーパーに交換してください。下記は、印字用紙を「レシートとして使うときの交換方法です。

手順

プリンタカバーの後方部を持ち上げてカバーを取り外します。



2 紙押さえのレバーを手前に引き、指をかけて持ち上げ自然に止まるまでアームを開けます。



3 本体内のロールペーパー入れに残っているペーパーの芯を取り除きます。



上記の手順の終了後、新しいロールペーパーをセットします。セットの手順については、131ページの手順3以降を参照してください。

電子店名スタンプの取り付け



電子店名スタンプを取り付ける

電子店名スタンプが到着したら、下記の手順でレジスターに取り付けます。取り付け後、レシートに店名、住所などを印刷します。

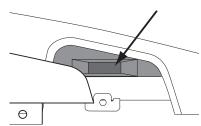
手順

1 モードスイッチを「OFF」の位置にして、表示が消えたことを確認します。



2 レジスターの向かって左側面のRACスロットカバー を開けます。(ネジ留めされていることがあります。)





RAC スロットカバー内部 (矢印部に挿し込みます)

3 インターネット接続キー(RAC-12)が取り付けられている場合は取り外します。



4 印刷面を下にして、電子店名スタンプ用スロットに 奥までしっかりとはめ込みます。



7 小計 4 1 2 4 小計 3/9 と操作します。



6 モードスイッチを「OFF」の位置にして、表示が消えたことを確認します。



7 電子店名スタンプを抜き、手順 3 で抜いた RAC-12 を取り付けます。



8 スロットカバーを閉めます。(手順2でカバーがネジ留めされていた場合は、ネジで留めます。)



スキャナーとレジスターの接続

モードスイッチの位置 **OFF・**

RAC-12 と 13 の見分け方

電子店名スタンプ RAC-13



インターネット接続キー RAC-12



(オレンジ色のスティック)

(黒色のスティック)

A注意

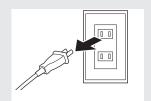
- ・電子店名スタンプ(RAC-13)やインターネット接続キー(RAC-12)の端子部には手や金属で触れないでください。
- ・電子店名スタンプの取り付け前にロゴ/コマーシャルメッセージに設定された内容は、電子店名スタンプの内容が上書きされます。

ロゴやサーマルポップが印字されないときは、設定内容(68、99、102ページ参照)を確認してください。

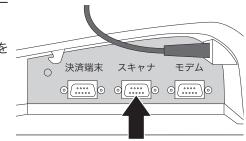
スキャナーとレジスターの接続

▲注意・スキャブ

・スキャナーをレジスターに接続するときは、電源プラグを必ずコンセント から抜いて作業してください。



- **1** モードスイッチの位置を「OFF」にして、表示が消えたらレジスターの電源プラグをコンセントから抜きます。
- **2** 右側面のコネクタカバーを外し、ハンドスキャナーの接続コネクタを 「スキャナ」コネクタに接続して両端をネジで固定します。
- **3** コネクタカバーを取り付けます。



レジスターの設定

スキャナーを接続後、スキャナーが使用できるよう下記を設定します。

手順

- 1 電源プラグをコンセントに差し込み、モードスイッチの位置を「設定」にします。
- 2 次の操作をします。

3 小計 2 9 8 小計 2 0 0 0 環/預 小計

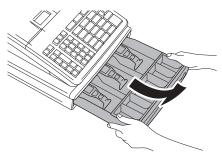
3 モードスイッチの位置を「登録」にします。

ドロアーを分離して設置する

お店のレイアウトに合わせて、ドロアーとレジスター本体を分離して設置できます。付属のドロアー延 長ケーブルとレジスター固定ゴム足をご用意ください。作業用工具としてプラスドライバが必要です。

手順

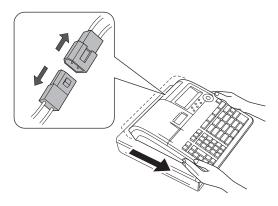
1 ドロアーの引き出し部分を、イラストのように先端を持ち上げるようにしながら取り外します。



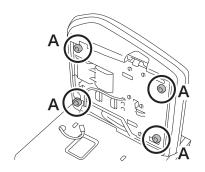
2 ドロアーの内側上面にある蝶ねじを左に回して取り 外します。



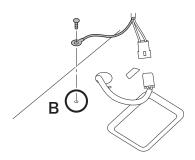
3 本体を矢印の方向にずらして持ち上げ、本体とドロアーをつないでいるケーブルのコネクターを外します。



4 レジスター底面の右図A位置に固定ゴム足をはめます。本体とドロアーを所定の位置に置きます。



5 本体とドロアーのコネクターにドロアー延長ケーブルを接続します。ドロアー延長ケーブルから出ている緑のアース線を、右図B位置のネジを使って本体とドロアーにしっかりと留めます。



6 ドロアーの引き出しと硬貨入れを元に戻します。 ドロアー上面のレジスターを固定していた穴に、必 要に応じて穴塞ぎ用シートを貼り付けます。

▲注意

- ・ドロアー内部に余った延長ケーブルを入れないでください。
- ・分離作業によって外した蝶ねじと座金は、再びレジスターとドロアーをつなげる場合に必要になります。

仕様

型式	TK-2800
キーボード部	ストロークキー/タッチキー方式 2キーロールオーバー
表示部	本体表示:キャラクタ部 16 文字×2行、数値部 10 桁 液晶表示(バックライト付き) 客用表示:数値部 8 桁 LED 表示(収納式回転機構付き)
印字部	2 シートサーマルプリンタ方式 印字速度 約 14 行/秒 印字桁数 レシート・ジャーナル各 32 桁(半角文字の場合) 記録紙 幅 57 ~ 58mm、外径 80mm 以下の感熱記録紙(消耗品欄参照) 店名口ゴ印字 縦 21mm×横 48mm の範囲でデザイン可(レシートに自動印字) 用紙カット レシートはオートカット ジャーナルは自動巻き取り 領収書発行 必要に応じて領収書の発行が可能
最大演算桁数	置数・預かり金(10 桁:0~9,999,999,999) 登録(7 桁:-9,999,999~9,999,999)合計(10 桁:-999,999,999~9,999,999) リピート(6 桁:-999,999~999,999) ノンアド(16 桁:0~9999999999999) ペレート(整数2桁+小数2桁:0.01~99.99%) 税率(整数2桁+小数4桁:0.0001~99.9999)
電卓機能	加減乗除計算 最大計算桁数は置数 10 桁 答え 10 桁 (負数のときは 9 桁)
ドロアー	紙幣3種・硬貨6種ドロアーロック錠付き、コイントレーは取り外し可
時計・日付機能	月差± 40 秒(通電状態 25°Cにおいて) 2088 年までフルオートカレンダー
メモリ保護	バナジウムリチウム充電式電池使用 記憶保持約 90 日 電池寿命約5年
電源・消費電力	AC 100V ± 10V 50 / 60Hz 11W
使用環境温度・湿度	0°C~ 40°C 10%~ 95% RH
外形寸法	幅 330mm ×奥行 360mm ×高さ 198mm(ドロアー含む) 客用表示を出した高さ 240mm
質量	約 5.5Kg(ドロアー含む)
オプション	電子店名スタンプ:RAC-13(店名ロゴ・領収書ロゴ・サーマルポップ用) 防水カバー:WT-90 ハンドスキャナ:HHS-18、HHS-19 マルチ決済端末:KT-10
消耗品	ロールペーパー:紙幅 58mm ×外径 80mm サーマルペーパー(感熱紙) ノーマルタイプTRP-5880×5(5個入り) TRP-5880-TW(20 個入り) 高保存タイプTRP-5880H×5(5個入り) TRP-5880H-TW(20 個入り)

本書の著作権およびソフトウェアに関する権利はすべてカシオ計算機株式会社に帰属します。

ソフトウェアの正常な使用またはバックアップコピーを作成する場合を除き、カシオ計算機株式会社の書面による 同意なしには、本書やプログラムの一部または全部を問わず、複製することを禁じます。

本書およびソフトウェアは、将来予告なしに変更することがあります。

本書に記載の画面やイラストは、実際の製品とは異なることがあります。キー、アイコンは簡略化して記載しています。

保証規定

本書は、TK-2800(以下「本製品」といいます)に関しての保証規定です。

お客様へのお願い

同梱の保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめの上、販売店からお受け取り ください。内容をよくお読みの上、大切に保管してください。

無償保証規定

万一、本製品を正常な使用状態でご使用中に障害が発生し、製品購入日から1年間(以下「保証期間」といいます)以内に弊社へご連絡を頂いた場合、弊社は修理、調整または代替品との交換(以下「修理等」といいます)を行うことにより、本製品を無償保証いたします。なお、修理等を行った場合であっても、当該本製品(代替品を含みます)は保証期間に限り無償保証いたします。

修理等は、故障の状態等から無償保証の対象であることを確認させて頂いたのち、弊社の裁量においていずれかの対応をいたします。なお、代替品との交換とは同等機種との交換をいい、同一機種との交換を保証するものではありません。

修理等を行った場合は本製品を初期状態にてご返却いたします。本製品に記録されている大切なデータについてはあらかじめジャーナルに印字して保管する等、お客様の責任においてバックアップを取ることをお勧めいたします。

本規定は、日本国内でのみ有効です。This warranty is valid only in Japan.

次の場合は、保証期間内であっても無償保証の対象外となり、修理等に要した費用をお客様へ別途請求いたします。

- ・誤ったご使用方法、および不当な取り扱いや改造による故障
- ・火災、地震、水害、異常電圧、および盗難などによる損傷や故障
- 移動および輸送によって生じた故障
- ・上記のほか、正常な使用状態での使用と認められない故障

本規定に基づく弊社の対応・業務は、カシオテクノ株式会社が担当いたします。

日計明細の設定内容の変更と操作

操作例

日計明細レポートから PLU レポートが印字されないようにする **手順**

- 1 モードスイッチの位置を「設定」にします。
- **2** 以下の操作をします。
 - 3 小計
 - 1 2 9 小計
 - 4 0 0 0 環/預

 - 1 2 環/預
 - 1 5 現領
 - 1 6 場類
 - 1 9 現/預

現/預

小計

以上で設定は終了です。

本書で使用している用語について、五十音順に記載しています。操作や設定方法の参照ページも記載しています。ご活用ください。

あ

後レシート発行

レシートの発行を止めているお店でお客様がレシートを要求された場合、後レシートを発行してお渡しします。(プリンターをレシートとしてお使いの場合のみ、後レシートの発行ができます)

登記 13・43 ページを参照してください。

^{ありだか} 在高

ドロアーの中にある現金や貸し売り伝票などの合計 金額のことです。

33・34・53・58 ページを参照してください。

一部現金売り

取引の支払いを現金やクレジット 1 種類ではなく、一部を現金、一部を商品券などで支払う形式のことをいいます。

愛望 51 ページを参照してください。

一連番号

レシートの番号です。レシートを発行するごとに 1 ずつ足されます。

寛照 21・94ページを参照してください。

一括取消

入力ミスなどでレシートを最初からやり直したいと きに一括取消をします。

寛照 30ページを参照してください。

内税方式(内税方式レジスター)

内掛けの消費税を計算して、お客様からの消費税の 預かり額を累計する方式にした、レジスターのこと です。

園 19・33・70 ページを参照してください。

か

開設

レジスターやマルチ決済端末を情報センタに接続して使えるようにする操作です。一日一回の操作が必要です。

ジェ 22 ページを参照してください。

期間集計

長い期間(例えば、一週間、旬日、一月など)の売上の合計を知ることができるレポートです。

◎風/ 56・57・60ページを参照してください。

客用表示

お客様に商品の登録金額や合計金額などを示すため の表示器です。背面表示としても、持ち上げてお客 様の見やすい方向に回して使うこともできます。

◎ 11・15・16ページを参照してください。

キャラクタ

部門キーや PLU、取引キーやメッセージなどに設定される文字をいいます。

15·21·77~93ページを参照してく ださい。

クレジットカード決済

クレジットカードなどで売り上げた場合、マルチ決済端末(KT-10)を利用し、情報センタを通して決済を行なうことができます。

寛照 50 ページを参照してください。

冷照 / 决済端末

券売り

商品券売りに使用します。商品券の額面金額を設定しておくことも可能です。

寛照 50ページを参照してください。

さ

さかのぼり訂正

商品登録中に、同一レシート中での登録のまちがい を訂正することです。

愛照 48 ページを参照してください。

シート(メニューシート)

タッチキーの上に被せる、面状のシートです。シートを2枚作り、片面を昼、他方を夜メニューなどとして入れ替えて使うことができます。

寛照 11・16ページを参照してください。

ジャーナル

印字で残される営業記録のことです。印字後のジャーナルはレジスター本体内に自動的に巻き取られます。 ジャーナル用にロールペーパーのセットが必要です。

11・21・130・132ページを参照してく ださい。

多照 レシート

ジャーナルスキップ

ジャーナル用紙の消費を少なくするため、商品明細 などの印字を省略して印字することです。

②照 21・95ページを参照してください。

出金

商品の売上に直接関係のないお金をドロアーから出すことです。ドロアー内の現金を回収するときなどにお使いください。

愛照 45 ページを参照してください。

純売上

商品登録の合計で、値引きや割引きをした後の金額です。外税も含みます。

登記 33・35 ページを参照してください。

乗算

同じ商品を一度にたくさんお買い上げの場合、買い上げ個数と単価を入力して(掛け算で)合計金額を 算出することです。

14・26・36・37・38・41 ページを参 照してください。

情報センタ

クレジット決済や売上集計管理サービスなどを行な うインターネット上の拠点です。

愛照 18ページを参照してください。

シンボル

表示の状態を示すインジケーターやレシート上に印字する略号です。「合計」や「お釣」を表示している 状態を示したり、内税の「内」、非課税の「非」など のことを示します。

◎風 15・21・93ページを参照してください。

スキャニング PLU

JAN コードなどが付いた商品のバーコードを別売のスキャナで取り込んで、商品登録します。スキャニング PLU の売上は PLU と同じ扱いになります。 (使用するためには、情報センタとの契約が必要です)

35・40・41・57・58 ページを参照して ください。

精算

業務の終わりに売上金額などをレポートとして発行することです。レジスターの中の売上金額などは(翌日の営業のために)ゼロになります。

33・34・35・56~61 ページを参照してください。

愛照 点検、レポート

設定

レジスターの機能を選択したり、パーセント率や単 価をレジスターに覚えさせたりすることです。 設定の仕方(65ページ)以降を参照して ください。

第四 単価設定

外税方式(外税方式レジスター)

外掛けの消費税を計算して、お客様からの消費税の 預かり額を累計する方式にした、レジスターのこと です。

愛麗/ 19・70 ページを参照してください。

◎ 非課税方式レジスター、内税方式レジスター

総売上

商品登録の合計で、値引きや割引きをする前の金額です。外税も含みません。

愛麗 33・35 ページを参照してください。

た

タッチキー

キーボードの向かって右にある、面状になったキーシートです。お買い上げの状態では、タッチキーにはフラット PLU キーが設定されています。

寛 11・13・16ページを参照してください。

登照 シートホルダ

単価設定

商品単価をレジスターに覚えさせることです。同じ単価が多く使われる場合、単価設定すると便利です。

36・38・41・66ページを参照してください。

担当者

レジスターを操作している取扱者のことです。レシート上に担当者の番号あるいは名前を印字したり、担 当者別の売上額を集計することができます。

14・21・44・60・86・96・114 ページを参照してください。

置数

数字打ちです。商品の単価や数量、お客様からの預かり金など数値を入力することです。

訂正

― レジスターに入力した事柄(数字や機能指定)がまちがっていた場合、それを取り消すことです。取消ができるときとできないときがあります。

愛望 14・30・48 ページを参照してください。

点検

業務の途中に売上金額などをレポートとして発行することです。レジスターの中の売上金額はそのまま保存されます。

●国 56~61ページを参照してください。

登題で 精算、レポート

電子店名スタンプ

別売のオプションです。レシートに印字する、店名 や所在地などを焼き付けた小さなスティックです。 同梱の「電子店名スタンプ作成注文書」でお申し込 みください。

❷■ 2・134・135ページを参照してください。

登録

レジスターにお買い上げ商品の単価や数量、預かり 金などを入力して、レシートを発行するまでの一連 の操作のことです。

23~32·36~53ページを参照してく ださい。

な

日計明細

売上金額などのレポートの一種です。その日の合計 (日計)を商品分類や取引形態などに分けて(明細) 発行します。

◎ 33・34・56ページを参照してください。

入金

商品の売上に直接関係のないお金をドロアー内に入れることです。釣銭準備などをするときにお使いください。

寛照(F) 45 ページを参照してください。

多照型 出金

値引き

商品や合計金額からある金額を差し引きます。

愛照 46 ページを参照してください。

は

背景印字

レシートや領収書に、薄い文字や模様を背景として 印字することができます。他店との差別化のため、 または特売サービス引換券などのためにお使いくだ さい。

登国 68 ページを参照してください。

パーセント計算

割引き・割増しなど、百分率を使って値引き・値増しする金額を計算する方法をいいます。

登照 47 ページを参照してください。

割引き・割増し

PLU (ピーエルユー): Price Look Up の略

プライスルックアップ(単価呼出し)のことです。 主にコード指定後のPLUキーによる単価呼出し、またはその登録のことです。PLUに設定されるのは、 主に(商品の分類ではなく)個々の商品(単品)です。

35・38 ~ 41・56・59 ページを参照してください。

品番 PLU

品番で指定される商品を登録するときに用います。

寛岡 39 ページを参照してください。

PLU (ピーエルユー)

不加算印字

商品コード、お客様番号やクレジットカード番号など、合計金額には関係しない数値を「おぼえ」のために印字することです。

日本 42 ページを参照してください。

部門

お店の商品の分類です。例えば、食料品/雑貨品/ 日用品、鮮魚/精肉/青果、お食事/お飲み物など の分類があります。

13・14・23 ~ 26・36・37 ページを参 照してください。

フラット PLU

個々の商品を PLU のようにコード指定するのではなく、一つ一つのキーに割り振ったものです。入力方式は異なりますが、フラット PLU での売上は PLU と同じ扱いになります。

13・14・24・36 ページを参照してくだ

寛照「F PLU (ピーエルユー)

返品

お客様がお買い上げの商品をお返しになったとき、 返品処理をしてください。

寛照 31・32ページを参照してください。

奉仕料

奉仕料の必要なお店では、奉仕料を自動計算することができます。

寛図 7 52・115ページを参照してください。

ま

マルチ決済端末 (KT-10)

クレジットカードや iD などの決済を行なうために磁気カードリーダや非接触 IC カードリーダを備えたこのレジスター専用の端末です。

②図で 2ページを参照してください。

②国プログレジットカード決済

丸め (5円丸め/10円丸め)

合計金額の端数(5円未満または10円未満)が出ないように、それを値引くことです。値引いた金額はお店側の負担になります。

愛望 49・67ページを参照してください。

万円キー(万券キー)

一万円札の預かり時に使用すると、日計明細レポート上に一万円札の枚数が印字されます。

寛田 43ページを参照してください。

や

呼び出し機能

割り勘のためにレシートの合計を電卓モードで使用 したり、電卓モードでの計算結果を登録に使ったり する場合に、その数値を持ってくることです。

登盟 63ページを参照してください。

5

リピート

同じ商品を一度にたくさんお買い上げの場合、その 都度商品単価を入力しないで、部門キーを買い上げ 個数分押すことです。

りま 15・25・38・39・41 ページを参照してください。

両替

本来の両替(大きなお金を細かくする)ばかりでなく、 商品取引以外にドロアーを開ける必要ができたとき に両替をします。

寛照 26ページを参照してください。

領収書

レシートとは別の書式の領収書が発行できます。 13・21・27・28 ページを参照してください。

レシート

お客様にお渡しする領収書代わりの紙券です。 このレジスターでは、ジャーナル(営業記録)を取 る代わりにレシートを発行することができます。(電 子ジャーナルを使用すると、レシート発行していて もジャーナルを取ることができます)

寛照 21 ページを参照してください。

登職で ジャーナル

レポート

お店の売上金額や客数などを集計してレジスターから出力される帳票です。点検レポートと精算のレポートがあります。

受職 33・34・56~61 ページを参照してく ださい。

②国プラ レシート、点検、精算

わ

割引き

全品一律 10%引きなどのときに使用します。全品一律でなくても、商品一つだけに対しても使用することができます。

登照 47 ページを参照してください。

さくいん

 あ・ア	_	け・ケ	
圧縮印字、圧縮文字	- 21 68 81 95	析解除	105 117
預かり金		券売り	
後レシート発行		現金在高	
在高申告	•	現金売り・預かり金	· · ·
い・イ	_	こ・コ	
一連番号	21, 94, 99, 101	コールセンタ	
一部入金		コイントレー	
一括訂正	, , , , , ,	硬貨入れ	,
印字制御	95 ~ 99, 102, 103	構成比	
う・ウ	_	5 円/ 10 円丸め 固定キャラクタ	·
内税扱い、内税方式	_ 10	ゴハサン	
ראוווע יי ראווויניז אי	19	コマーシャルメッセージ	(レシートメッセージ)
お・オ	_	混在	(税金の混在)
オールクリア	14, 29		
お客様相談センタ		さ・サ	
オプション	137	在高	
オペレータ用鍵	12	さかのぼり訂正 札押さえ	
か・カ	_	が押さん	
	_	サーマル用紙	
買い上げ点数	•		
開設	·	し・シ	
回転表示窓 貸し売り		時間帯別集計	35, 56
課税方式		時刻	
紙押さえ		四則計算	14, 62
仮締め		紙幣入れ	11
感熱記録紙		締め	23, 50, 51, 111
	_	ジャーナルスキップ	,
き・キ	_	ジャーナル印字確認窓	
キーボード	11, 13	ジャーナル送りキー	· ·
期間集計1,2		ジャーナル巻き取りホルダ	· ·
客用表示窓	11, 15	ジャーナル用紙	· · ·
キャラクタの設定	(文字の設定)	収入印紙 出金キー	· ·
強制解除	14, 125		
強制操作	96	が計キー	,
金額キー	39, 117	乗算登録	
く・ク	_	乗算/日時キー	14, 25, 44, 65
クリア	- (オールクリア)	消費税の計算 商品券	
<i>, , , ,</i> グループ別集計		問品券 情報センタ	,
グループリンク		情報センタ 信用売りキー	

さくいん

		訂正/中止	14 20
す・ス		訂正/中止 点検モード	
数点売り	24, 25		
スキャニング PLU	40	— · · · -	
スキャニングサービス	40, 41	電子店名スタンプ	
		電卓機能	
せ・セ		電卓モード	
 税関連の設定		伝票番号	14, 54 ~ 55
税金の混在			
精算モード	,	と・ト	
精算・設定・オーナー用鍵		登録モード	12, 23 ~ 30, 32
税率		登録確認	14, 55
税率 税率変更日		取引中止	30
		取引シンボル	93
設定モード	·	トレーニング	118
設定単価		ドロアー	11
設定点検		ドロアーロック錠	125
全角文字	81		
7		に・ニ	
そ・ソ		日時	・ (垂笆 /口吐+)
総売上	33, 35	· · ·	******
操作ガイド	13, 125	日計明細	
外税扱い、外税方式	19, 70	入金	13, 45, 114
		ね・ネ	
た・タ			
但し書き	21 27 68	値引き	46
縦倍文字	·		
タッチキー	·	の・ノ	
ダブライ 単価×数量		ノンアド	(不加算印字)
半価^数量 単価設定	·		
担当者		は・ハ	•
担当者キー			47.67
担当者ギー		パーセントii 昇 背景印字	•
担当省留亏 担当者別集計	·	 	·
		** ** * =	
単品売り、単品登録		端数処理	
単品現金売り	104, 108	半角文字	81
 ち・チ		ひ・ヒ	
置数キー	1.4	非課税キー	
置数訂正		非課税扱い、非課税方式	
			•
直前訂正		引き出し	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
中止	(訂正/甲止)	日付	•
		表示窓	
つ・ツ		品番 PLU	39, 108
釣り銭計算	23, 24	ふ・フ	
<u> </u>			
て・テ		不加算印字	
停止	(レシート発行停止)	部門キー	14, 23 ~ 26, 36 ~3/

さくいん

部門リンク	107	領収書一連番号	(一連番号)
プラテンアーム	(紙押さえ)	領収書発行	13, 27 ~ 28
フラット PLU	14, 24 ~ 26	リンク(部	『門リンク、グループリンク)
プリンターカバー	11		_
分割処理	51	れ・レ	_
^.^			11, 131
			13
	55		13, 21, 43
	(税率変更日)		チ 13
返品戻し	31, 32		14, 43
			21, 88 ~ 91, 99
ほ・ホ			131
防水力バー	8, 137)21, 94
ボトムメッセージ	(レシートメッセージ)		(登録確認)
ホルダ受け	(巻き取りホルダ受け)	レポート	33 ~ 35, 56 ~ 61
	11, 15		_
ま・マ		<u> </u>	
<u> </u>			130~133, 裏表紙
マイナス	(値引き)	Цコメッセーシ <i></i>	(レシートメッセージ)
マイナス単価	105, 109		_
	(ジャーナル巻き取りホルダ)	わ・ワ	
巻き取りホルダ受け	130	割引き	47, 113, 117
マシン No	(レジ番号)	割引き率の設定	67
	2	割増し	47, 113, 117
丸め	(5 円丸め/ 10 円丸め)	割増し率の設定	67
万円キー	43, 117		_
め・メ		アルファベット	_
-			14, 50
	(ジャーナルスキップ)		
	(電子店名スタンプ)		(オペレーター用鍵)
面切替	14, 24		(精算・設定・オーナー用鍵)
			35, 38 ~ 41, 59, 66
も・モ			2, 10, 134 ~ 135
モード鍵	11, 12		137, 裏表紙
モードスイッチ	11, 12	TRP-5880HTW	137, 裏表紙
戻しキー	14, 32		
戻しモード	12, 31		
文字の設定	77 ~ 93		
よ・ヨ			
凹筒用乂子	81		
り・リ			
リピート (回数、登録) -	15, 25, 38 ~ 39, 41		
	14, 26		
	21, 27, 28		
KTV H	21, 21, 20		

アフターサービスについて

<u>アフターサービス</u>

お問い合わせは

お買い上げの販売店またはお客様相談センターにお問い合わせください。カシオ製品のアフターサービス業務は、カシオテクノ株式会社が担当いたします。

消耗品のお申し込み

TK-2800 の消耗品 ロールペーパー:紙幅 58mm ×外径 80mm (感熱記録紙)

ノーマルタイプ TRP-5880-TW・TRP-5880×5 高保存タイプ TRP-5880H-TW・TRP-5880H×5

お客様相談窓口

●製品の機能、操作などに関するご質問に、お電話でお答えいたします。

●修理の受付、お電話による問診をいたします。また、必要に応じて修理の手配をいたします。

カシオレジスターお客様相談センター



0570-001166

市内通話料金のみでご使用いただけます。

受付時間:月曜日~土曜日 AM9:00 ~ PM5:30(日・祝日・弊社指定休業日は除く)

携帯電話・PHS などの場合は 042-503-7215 をご利用ください。

お客様相談窓口

● 北海道 札 幌 ●関東 玉 潟 ●近 畿 都 松 埼 ● 信 越 新 ● 匹 高 京 千 野 出 ● 東 北 盛 出 長 阪 ● 九 州 福 葉 大 沢 神 戸 仙 台 東 京 北 陸 金 熊 本 宇都宮 多 ● 東 出 Щ 鹿児島 ● 関 東 海 静 ● 中 出 玉 水 戸 横 浜 島 名古屋 広 その他出張所があります。 高 崎

本製品の使用済後の取り扱いについて

「資源有効利用促進法」施行に伴い、カシオ計算機(株)では、地域環境保全と資源有効活用のために、お客様でご使用済みとなりましたパーソナルコンピュータを始めとする情報通信機器の回収・再資源化活動を行っております。お客様からの廃棄処理依頼に対し回収いたしますので、弊社の環境保全活動にご協力いただきますようお願い申し上げます。回収申込方法は、カシオホームページ http://www.casio.co.ip でご案内しております。

店名・住所

販売店(問い合わせ先)を明記しておきましょう ☎() 担当者